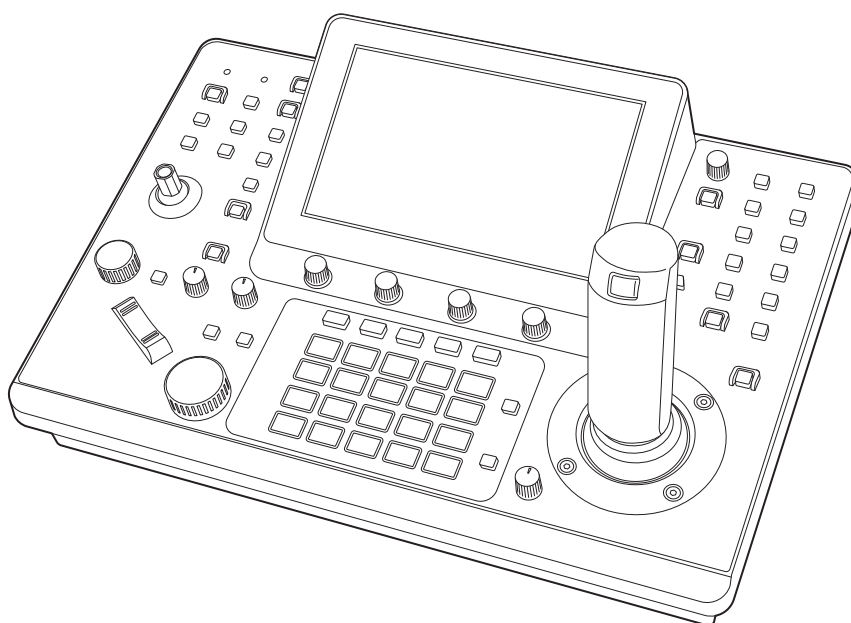


Panasonic[®]

取扱説明書

リモートカメラコントローラー

品番 **AW-RP200G**



HEVC Advance[™]
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」（5～7ページ）を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

GJ

W0226SR1076 -FJ

JAPANESE

DPQP1747YA

商標および登録商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows[®] 10、Windows[®] 11 および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPadOS、iPhone、iPad、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Chrome[™] ブラウザは Google LLC の商標です。
- Intel[®]、Intel[®] Core[™] は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- NDI[®] は映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為
は禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft Edge 日本語版を Microsoft Edge と表記しています。
- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「4K インテグレートッドカメラ」、または「回転台とカメラの組み合わせ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-RP200G	AW-RP200
AW-UE150W・ AW-UE150K	AW-UE150
AW-UE150AW・ AW-UE150AK	AW-UE150A
AW-UE160W・ AW-UE160K	AW-UE160

安全上のご注意.....	5
はじめに.....	8
特長.....	9
対応するリモートカメラ.....	9
使用上のお願い.....	10
各部の名前とはたらき.....	11
制御パネル部.....	11
背面部.....	16
設置上のご注意.....	18
接続.....	20
IP 接続例.....	20
シリアル接続例.....	23
本運用の前に.....	25
本機の基本の使いかた.....	26
メニューの基本操作.....	27
メニュー表示のしかたとメニュー構成.....	27
ステータス画面.....	30
ステータス画面の表示.....	30
画面上段 (A).....	30
画面中段 (B).....	31
画面下段 (C).....	32
マクロ機能について.....	33
本機の操作のカスタマイズ.....	34
ユーザーボタン.....	34
ファンクションバー.....	36
L/R-ロッカー・L-ジョイスティック・フォーカスダイヤル・アイリスダイヤル.....	38
操作方向.....	38
本機のネットワーク設定を行う.....	39
リモートカメラとの接続設定を行う.....	41
リモートカメラとの接続種別 (シリアル/IP/ 接続なし) を設定する.....	42
自動でIPアドレスを設定する (自動IP 設定).....	42
接続可能なカメラのIPアドレス等を自動取得しカメラ番号を設定する.....	47
接続先IPアドレス (リモートカメラ) とポート番号を手動で設定する.....	48
本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化する.....	48
オペレーションモード.....	49
カメラ選択について.....	50
プリセットメモリー制御について.....	50
マクロ制御について.....	52
オペレーションモード1.....	53
オペレーションモード2.....	54
オペレーションモード3.....	55
オペレーションモード4.....	57
オペレーションモード5.....	58
メインLCD 上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御.....	60
カメラ選択.....	61
プリセットメモリー制御.....	63
マクロ制御.....	65
ショートカットボタン.....	66
本機の映像入出力とそれを用いた機能.....	68
映像の入出力.....	68
クロップ機能.....	69
波形表示およびベクトルスコープ.....	70
リモートカメラの電源の入れかたと切りかた.....	71
リモートカメラの電源の入れかた.....	71
リモートカメラの電源の切りかた (スタンバイ状態への移行).....	72

各種データのバックアップについて	73
カメラに保存されている情報 ([SCENE]・[CAMERA ALL])	75
本機に保存されている情報 ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[STREAM DECK]・[CAM CTRL INFO])	78
各種連携機能について	81
本機のカメラ選択と当社 ROP のカメラ選択が連動する機能	81
本機からのカメラ選択とスイッチャーの指定された出力のパス切替が連動する機能	81
本機で他社製ドリー・トータム等の外部機器を制御する機能	82
本機で Elgato 社の Stream Deck と連携する機能	82
本機で Media Production Suite と連携する機能	83
メニュー	84
メニューグループ	84
PAINT	86
CAMERA SETTING	91
RP MENU	97
PMEM/TMEM/MACRO	108
CONNECT	115
Web 画面の表示	122
Web 画面へのログイン	123
Web 画面からの設定	124
Web 設定画面 [Setup Menu]	124
System	125
Connect Setting	126
Macro	137
Video Input over IP	140
User Assignment	143
Access Management	144
RP200 Network	144
Maintenance	147
メッセージ一覧	151
トラブルシューティング	152
保証とアフターサービス (よくお読みください)	153
外形寸法図	154
定格	155
外部機器の制御インターフェース	156
さくいん	159

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告

	■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する (設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。
	■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)
異常、故障時には直ちに使用を中止する	
 電源プラグを抜く	■ 異常があったときは、PoE++ 給電の LAN ケーブルおよび外部 DC 電源の電源プラグを抜く 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音などが出たとき (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒本機を電源から完全に遮断するには、PoE++ 給電の LAN ケーブル、DC コードを抜く必要があります。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ 外部 DC 電源の DC プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグは使用しないでください。 (DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)
	■ PoE++ 給電の LAN ケーブル、DC コードのほこりなどは、定期的にとる (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)
	■ 高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは、電源を切る (ペースメーカーや医療機器等の医療現場で使用するときには、本機からの電波が電子機器に影響をおよぼす場合があります、誤動作による事故の原因になります。)
	■ 外部 DC 電源は、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒詳しくは、本書の 16 ページを参照してください。 (DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)
	■ 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒詳しくは、本書の 16 ページを参照してください。 ⇒外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。

⚠ 警告 (つづき)

	■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。 ■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本機や接続ケーブルには触れない (感電の原因になります。)
 水場使用 禁止	■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)
 ぬれ手 禁止	■ ぬれた手で接続ケーブルやコネクタに触れない (感電の原因になります。)
	■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)
PoE++ 給電のLANケーブル、外部DC電源は・・・	
	■ PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、 お守りください。 ■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードには触れない (感電の原因になります。)
 ぬれ手 禁止	■ ぬれた手でPoE++ 給電のLANケーブルやコネクタに触れない (感電の原因になります。)

⚠ 注意

	■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない、通風孔やファンをふさがない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。) ■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。) ■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒本機を絶対に放置しないでください。 ■ 接続ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。 ■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
 電源プラグを抜く	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)
	■ ケーブルを接続した状態で移動しない (ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。また、ケーブルが引っかかって、けがの原因になります。) ■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。 ■ ケーブルなどを傷つけない (重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。)

はじめに

■ 概要

本機は、リモートカメラ（別売品）を制御するリモートカメラコントローラーです。

IP 接続であれば最大 200 台、シリアル接続であれば最大 3 台のリモートカメラを接続することができます。

■ 必要なパーソナルコンピュータの環境

CPU	Intel® Core™ 第 7 世代 (Kaby Lake 以降) 推奨
メモリー	【Windows の場合】 4 GB 以上 【Mac の場合】 4 GB 以上
ネットワーク機能	100BASE-T/TX または 1000BASE-T RJ-45 コネクタ
画像表示機能	解像度：1920 × 1080 ピクセル以上、 発色：True Color 24 ビット以上
対応 OS と Web ブラウザー	【Windows】 Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge（最新版） Google Chrome
	【Mac】 macOS 15 macOS 14 macOS 13 Safari Google Chrome

■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧ 本体や USB メモリー等またはパーソナルコンピュータに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。
ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピュータが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべての Web ブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第 3 者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも 3 つを含め 8 文字以上で設定してください。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 本機を廃棄・譲渡する場合は、ユーザー ID およびパスワードの情報を削除してください。

ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。

セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■ アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記の Web サイトの「サポート・ダウンロード」から入手することができます。

（日本語）

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>
（英語）

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

アップグレードの手順は、ダウンロードサイトに掲載されている手順書に従って行ってください。

特長

IP 接続とシリアル接続に対応

IP 接続

- ネットワークハブ（スイッチングハブ）を介して最大 200 台までのリモートカメラ*1 を接続することができます。
- 本機の自動 IP 設定機能で、リモートカメラ*1 の IP アドレスを自動的に割り付けて制御可能にします。

*1：「対応するリモートカメラ」（9 ページ）参照

- 最大 5 台の本機から、1 台のリモートカメラを同時に制御することができます。

シリアル接続

- 最大 3 台までのリモートカメラを接続することができます。

複数のオペレーションモードに対応

- カメラ選択やプリセットメモリー制御、マクロ制御など異なるオペレーションモードを搭載し、運用に応じて最適なモードを選択することができます。

クロッピングの操作に対応

- 本機と Cropping 機能をもつリモートカメラを接続することで、4K 映像から HD 映像を切り出す操作（Cropping 機能）を行うことができます。

リモートカメラを簡単に操作

- パン/チルト、ズーム、フォーカス进行操作する専用のジョイスティック、ロッカー、ボタン、ダイヤルを装備。さらに、それぞれに専用のスピード調整ボリュームを配置。カメラアングル調整を、迅速・確実に行うことができます。
- ホワイトバランス、ブラックバランスの自動調整を実行する AWB ボタン、ABB ボタンを装備。さらに WHITE BALANCE、GAIN、SHUTTER/ND、PED、DTL/DNR、ZOOM/OIS、PAN/TILT、PMEM に対応した機能を各ファンクションダイヤルに素早くアサインできるショートカットボタンを装備。マニュアル操作による色調整も、簡単に行うことができます。
- プリセットメモリーを多用する運用現場においても、迅速な呼び出し操作ができます。また、リモートカメラがプリセットメモリー位置まで移動する速度（プリセットメモリースピード）を、本機の各プリセットメモリー番号に記憶することができます。運用に応じて、プリセットメモリー番号によって異なる速度でリモートカメラを動作させることができ、多彩な映像演出が可能になります。
- 1 台のリモートカメラの一連の操作を記録するトレーシングメモリーを内蔵。リモートカメラの動作を再現することができます。また、複数のリモートカメラのシーケンス動作等をワンタッチで再現できるマクロ機能を内蔵。Web メニューでマクロのシーケンスを作成、マルチセレクトスイッチ等で実行することができます。
- PoE++*2 搭載により本機の電源工事が不要です。PoE++ 規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3bt 準拠）*3 に接続することによって、本機の電源工事が不要となります。

NOTE

- ソフト認証の必要な PoE++ 給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。
- 外部 DC 電源と PoE++ 給電の両方を接続した場合は、外部 DC 電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部 DC 電源を抜くと自動で再起動となります。
- PoE++ 給電に使用するケーブルは、カテゴリ 5e 以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大 100 m です。カテゴリ 5 以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターと PoE++ インジェクターをストレートの LAN ケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロス LAN ケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

*2: Power over Ethernet Plus Plus の略です。以降「PoE++」と表記いたします。

*3: 動作確認済みの PoE++ 給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

対応するリモートカメラ

● 4K インテグレートドカメラ

AW-UE150/AW-UE150A/AW-UE160 など

詳細は、下記の Web サイトもご参照ください。

（日本語）

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>

（英語）

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取り扱いにはいかに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

また、ジョイスティックやダイヤルを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

湿気、ほこりの少ないところで

湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

NOTE

- ペンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

火を近づけないでください

ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

液晶パネルについて

液晶パネルのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、映像に何ら影響を与えるものではありません。

表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。

液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。

液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。

本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

液晶パネルはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をすると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをお勧めします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる
- 使用しない場合は本体の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

PoE++ 給電について

本機は、IEEE802.3btに準拠しています。（PD Type3、Class5、40 W）

PoE++ 給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターをご使用ください。

ソフト認証（LLDP）は、IEEE802.3btに準拠していますが、ネットワーク機器の設定が必要になる場合があります。

動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

ソフト認証の必要なPoE++ 給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。

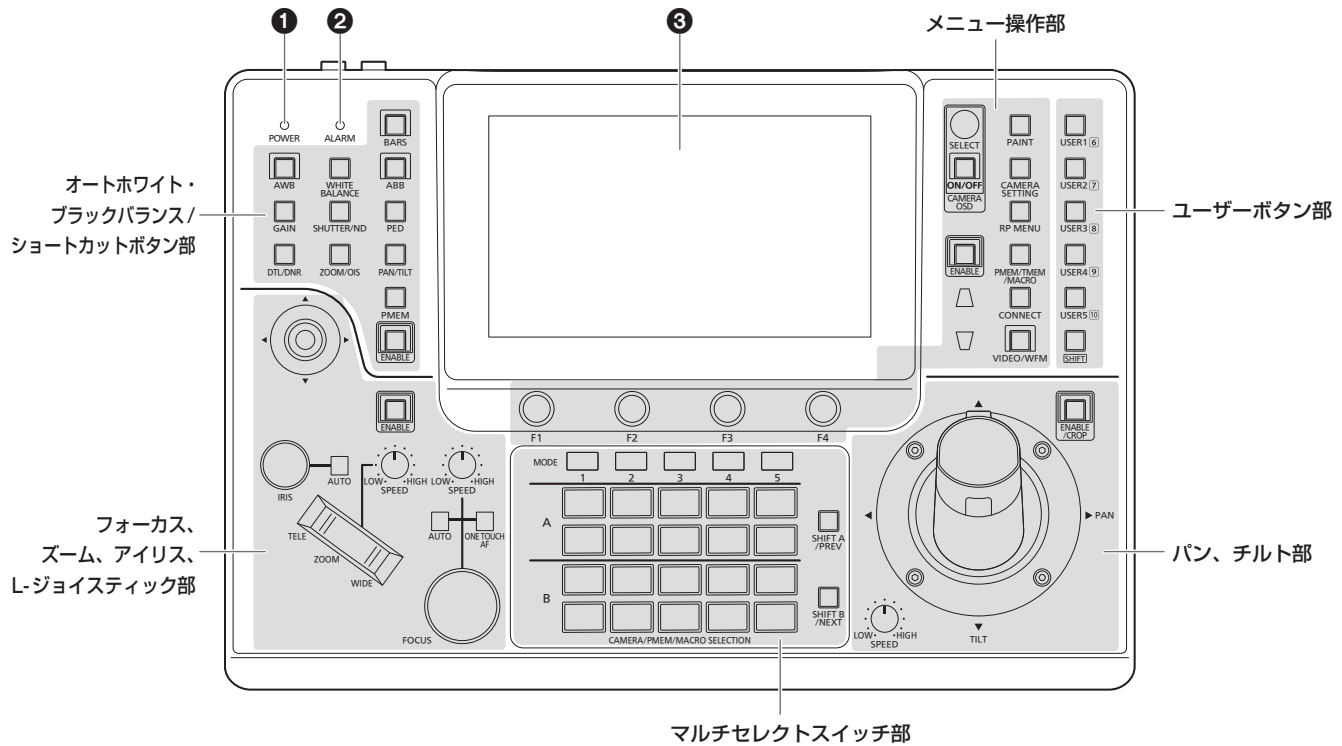
外部DC電源とPoE++ 給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像と通信が切れます。

PoE++ 給電に使用するケーブルは、カテゴリ 5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100 mです。カテゴリ 5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。

ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピュータとPoE++インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピュータで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピュータと本機間をクロスLANケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

各部の名前とはたらき

制御パネル部



1 POWER ランプ [POWER]

DC IN 端子 (背面部 2) に電源が入力または LAN 端子 (背面部 6) から電源供給されているときに、背面の POWER スイッチ (背面部 1) を ON にすると点灯します。

アンバー点灯：起動中

緑点灯：操作インターフェースキャリブレーション開始および通常動作中

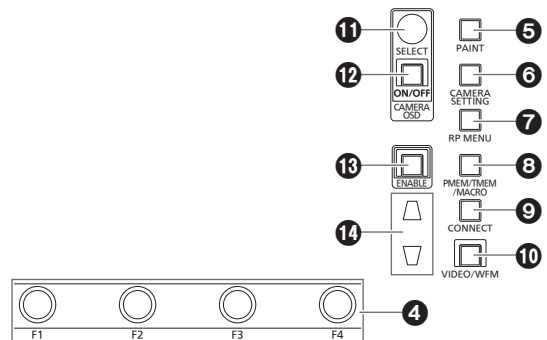
2 ALARM ランプ [ALARM]

リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー等) を受信または本機のアラーム (冷却ファンのアラーム等) を受信したときに点灯します。

3 メインLCDパネル

現在の設定状態を表示します。

メニュー操作部



4 F1 ダイヤル [F1]、F2 ダイヤル [F2]、F3 ダイヤル [F3]、F4 ダイヤル [F4] (ファンクションダイヤル)
本機の LCD パネルに表示されている項目を操作します。ステータス画面を表示している場合、LCD パネル下部に表示されている項目 (ファンクションバー) の値を操作します。メニュー画面が表示されている場合、選択したメニュー項目の値を操作します。

5 PAINT ボタン [PAINT]

PAINT のメニューを LCD パネルに表示します。

6 CAMERA SETTING ボタン [CAMERA SETTING]

CAMERA SETTING のメニューを LCD パネルに表示します。

7 RP MENU ボタン [RP MENU]

RP MENU のメニューを LCD パネルに表示します。

⑧ PMEM/TMEM/MACRO ボタン [PMEM/TMEM/MACRO]

PMEM/TMEM/MACRO のメニューを LCD パネルに表示します。

⑨ CONNECT ボタン[CONNECT]

CONNECT のメニューを LCD パネルに表示します。

⑩ VIDEO/WFM ボタン [VIDEO/WFM]

本機に入力されている SDI 入力または IP 入力映像を LCD パネルに表示したり、そのときの映像の波形やベクトルスコープを LCD 上に表示します。

状態遷移には上下ボタン (14) を使用します。

⑪ (カメラ OSD メニュー操作)

CAMERA OSD SELECTダイヤル [CAMERA OSD SELECT]

CAMERA OSD ON/OFF ボタンが点灯しているときに、ダイヤルを回してメニューを選択し、押して決定します。

⑫ (カメラ OSD メニュー操作)

CAMERA OSD ON/OFF ボタン [CAMERA OSD ON/
OFF]

カメラのOSDのON/OFFを切り替えます。

⑬メニュー操作ENABLEボタン[ENABLE]

メニュー操作部、カメラ OSD メニュー部、LCD パネルの操作の有効と無効を切り替えます。

長押しすると、LCDパネルを消灯します。

点灯時：メニュー操作部、カメラ OSD メニュー部、LCD パネルの
操作が有効

消灯時：メニュー操作部、カメラ OSD メニュー部、LCD パネルの操作が無効

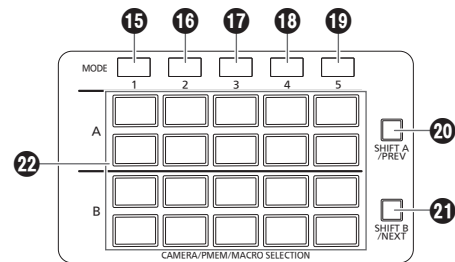
⑭ 上下ボタン

メニュー画面表示時 : メニュー画面のカーソルを上下に 1 行移動
します。

ステータス画面表示時：LCD パネル上でのカメラ選択、プリセット
メモリー制御、マクロ制御を切り替えます。

[VIDEO/WFM]=ON 時：波形表示やベクトルスコープの画面を遷移します。

マルチセレクトスイッチ部 (オペレーションモード部)



⑮ MODE 1 ボタン [1]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択×20に切り替えます。

16 MODE 2 ボタン [2]

マルチセレクトスイッチをプリセットメモリー制御×20に切り替えます。

⑰ MODE 3 ボタン [3]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択×10・プリセットメモリー制御×10に切り替えます。

⑱ MODE 4 ボタン [4]

マルチセレクトスイッチをマクロ制御×20に切り替えます。

19 MODE 5 ボタン [5]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択×10・マクロ制御×10に切り替えます。

②① SHIFT A/PREV ボタン [SHIFT A/PREV]

MODE1・3・5：マルチセレクトスイッチ部上段 (A) に表示するカメラグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ (22) に表示にする

MODE2 : マルチセレクトスイッチ部 (22) に表示するプリ
セットメモリーデータを遷移する (前頁に切り替
える)

MODE4 : マルチセレクトスイッチ部 (22) に表示するマクロデータを遷移する (前頁に切り替える)

② SHIFT B/NEXT ボタン [SHIFT B/NEXT]

MODE1 : マルチセレクトスイッチ部下段 (B) に表示するカメラグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ (22) に表示にする

MODE2 : マルチセレクトスイッチ部 (22) に表示するプリ
セットメモリーデータを遷移する (次頁に切り替
える)

MODE3 : マルチセレクトスイッチ部下段 (B) に表示するプリセットメモリーグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ (22) に表示にする

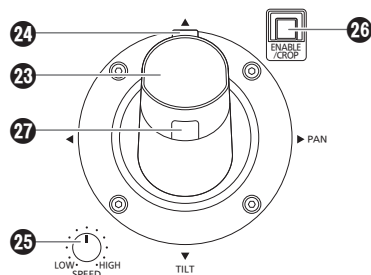
MODE4 : マルチセレクトスイッチ部 (22) に表示するマクロデータを遷移する (次頁に切り替える)

MODE5 : マルチセレクトスイッチ部下段 (B) に表示するマ
クログループを選択する画面をマルチセレクトス
イッチ (22) に表示にする

22 マルチセレクトスイッチ [CAMERA/PMEM/MACRO
SELECTION A. B]

MODE 1 ～ 5 に応じた機能 / 表示に割り当てられます。

パン、チルト部



23 R-ジョイスティック

現在選択されているリモートカメラの向きを制御します。
ジョイスティックを倒す角度により、動作スピードが変わります。

左右に倒す：左右方向に動作

前後に倒す：上下方向に動作

クロップを選択中 (PAN/TILT ENABLE/CROP ボタン (26) が緑色に点灯しているとき) は、カメラのクロップ位置の制御を行います。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

24 R-ロッカー

フォーカスまたはズーム機能等を割り当てて制御することができます。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

25 PAN/TILT SPEED ダイヤル [SPEED]

R-ジョイスティック操作に対する動作スピードの変化量を調整します。

時計方向に回す：高速で動く (HIGH)

反時計方向に回す：低速で動く (LOW)

26 PAN/TILT ENABLE/CROP ボタン [ENABLE/CROP]

R-ジョイスティック (23) や R-ロッカー (24) を有効にします。

点灯：R-ジョイスティックや R-ロッカーの操作が有効 (アンバー色)

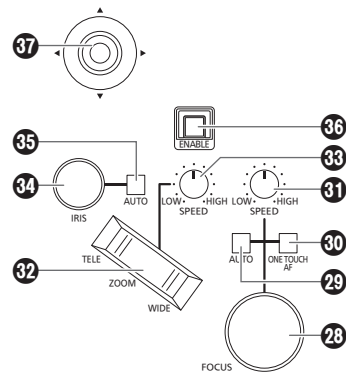
消灯：R-ジョイスティックや R-ロッカーの操作が無効 (ボタンを長押し)

- このボタンを押して緑色に点灯させると、切り出し枠の操作に切り替わります。

27 R-ジョイスティック USER ボタン

R-ジョイスティックユーザーボタンに割り当てた機能を呼び出します。

フォーカス、ズーム、アイリス、L-ジョイスティック部



28 FOCUS ダイヤル [FOCUS]

手動でフォーカス制御を行います。

オートフォーカス中 (オートフォーカスボタン (29) が点灯しているとき) は、操作が無効となります。

時計方向に回す：フォーカスが遠距離側に動く

反時計方向に回す：フォーカスが近距離側に動く

29 オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を「自動 (オートフォーカス)」に設定します。

オートフォーカス中は、FOCUS ダイヤル (28)、ワンタッチオートフォーカスボタン (30) の操作が無効となります。

点灯：オートフォーカス

消灯：マニュアルフォーカス

30 ワンタッチオートフォーカスボタン [ONE TOUCH AF]

マニュアルフォーカス中 (オートフォーカスボタン (29) が消灯しているとき) に押すと、一瞬ボタンが点灯してオートフォーカス動作を行い、焦点を合わせます。

このボタン以外にも、メインLCD上で画面全体に映像を表示しているときに、LCDをタッチすることでワンタッチオートフォーカスが動作します。詳細は「波形表示およびベクトルスコープ」(70ページ)を参照してください。

31 FOCUS SPEED ダイヤル [SPEED]

FOCUS ダイヤル (28) の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す：高速で動く (HIGH)

反時計方向に回す：低速で動く (LOW)

- R-ロッカーが FOCUS に割り当てられているときには、この設定で動作します。

32 L-ロッカー [ZOOM]

レンズのズームを調整します。

ボタンを押し込む度合いによって、ズーム動作のスピードが変わります。

TELE 側を押す：望遠側に動く

WIDE 側を押す：広角側に動く

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

③③ L-ロッカー SPEED ダイヤル [SPEED]

L-ロッカー (③②) の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す : 高速で動く (HIGH)

反時計方向に回す : 低速で動く (LOW)

- R-ロッカーが ZOOM に割り当てられているときには、この設定で動作します。

③④ IRIS ダイヤル [IRIS]

マニュアルアイリス中 (オートアイリスボタン (③⑤) が消灯しているとき) に手でレンズ絞りを制御します。

オートアイリス中 (オートアイリスボタン (③⑤) が点灯しているとき) は、リモートカメラのオートアイリスの収束レベルを調整します。

時計方向に回す : レンズ絞りが開く方向に動く

反時計方向に回す : レンズ絞りが閉じる方向に動く

③⑤ オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を「自動 (オートアイリス)」に設定します。

点灯 : オートアイリス

消灯 : マニュアルアイリス

③⑥ FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLE ボタン [ENABLE]

FOCUS ダイヤル (②⑧)、L-ロッカー (③②)、IRIS ダイヤル (③④)、L-ジョイスティック (③⑦) の操作の有効と無効を切り替えます。

点灯 : FOCUS ダイヤル、L-ロッカー、IRIS ダイヤル、L-ジョイスティックの操作が有効

消灯 : FOCUS ダイヤル、L-ロッカー、IRIS ダイヤル、L-ジョイスティックの操作が無効

- メニューで各インターフェースが ENABLE ボタンの設定に従うかどうか設定できます。詳細は [RP MENU]>[CONTROL I/F]>[SYNC ENBL BTN] を参照してください。

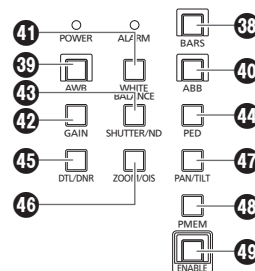
③⑦ L-ジョイスティック

マルチセレクトスイッチや LCD パネルで選択中以外のカメラの PAN/TILT や、本機の LCD 上でのメニュー操作等が割り当て可能です。

NOTE

- 電源を ON にしたときは、LCD パネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部



③⑧ BARS ボタン [BARS]

リモートカメラから出力される映像信号を切り替えます。

ボタンを押すごとに、「カメラが撮影している映像信号」、「カラーバー信号」が切り替わります。

消灯 : カメラが撮影している映像信号を出力

点灯 : カラーバー信号を出力

③⑨ AWB ボタン [AWB]

ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整結果をリモートカメラのメモリー A やメモリー B に登録します。

ホワイトバランスの調整中は AWB ボタンが点灯し、正常に調整されたときに消灯します。

調整できなかった場合は、点滅します。

- ホワイトバランスの自動調整が終了すると、R GAIN、B GAIN の値は±0 になります。
- リモートカメラからカラーバー信号が出力されているとき (BARS ボタン (③⑧) が点灯) や、ATW が選択されているときに AWB ボタンを押すと、調整されずに点滅します。
- 調整できなかったときは、光源、レンズ絞り、被写体等を変えて調整し直してください。

④⑩ ABB ボタン [ABB]

ブラックバランスの自動調整を実行します。

ボタンを押すと自動的にアイリスが絞られ調整が実行されます。

ブラックバランスの調整中は ABB ボタンが点灯し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかった場合は点滅し、ブラックバランスの設定は変わりません。

- 調整できなかったときは、カメラやレンズのケーブルの接続を確認し、調整し直してください。

④⑪ WHITE BALANCE ボタン [WHITE BALANCE]

ショートカットボタンとして、LCD にホワイトバランス関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

④⑫ GAIN ボタン [GAIN]

ショートカットボタンとして、LCD にゲイン関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

④⑬ SHUTTER/ND ボタン [SHUTTER/ND]

ショートカットボタンとして、LCD にシャッター、ND フィルター関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

④⑭ PED ボタン [PED]

ショートカットボタンとして、LCD にペデスタル関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

④5 DTL/DNR ボタン [DTL/DNR]

ショートカットボタンとして、LCD にディテール、デジタルノイズリダクション関連の機能呼び出します (F1 ～ F4 ダイヤルで操作します)。

④6 ZOOM/OIS ボタン [ZOOM/OIS]

ショートカットボタンとして、LCD にズーム・OIS 関連の機能呼び出します (F1 ～ F4 ダイヤルで操作します)。

④7 PAN/TILT ボタン [PAN/TILT]

ショートカットボタンとして、LCD に PAN・TILT 操作をする際の制御設定関連の機能呼び出します (F1 ～ F4 ダイヤルで操作します)。

④8 PMEM ボタン [PMEM]

ショートカットボタンとして、LCD にプリセットメモリーの制御設定関連の機能呼び出します (F1 ～ F4 ダイヤルで操作します)。

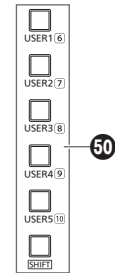
④9 オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン ENABLE ボタン [ENABLE]

オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部の操作の有効と無効を切り替えます。

点灯：オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部の操作が有効

消灯：オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部の操作が無効

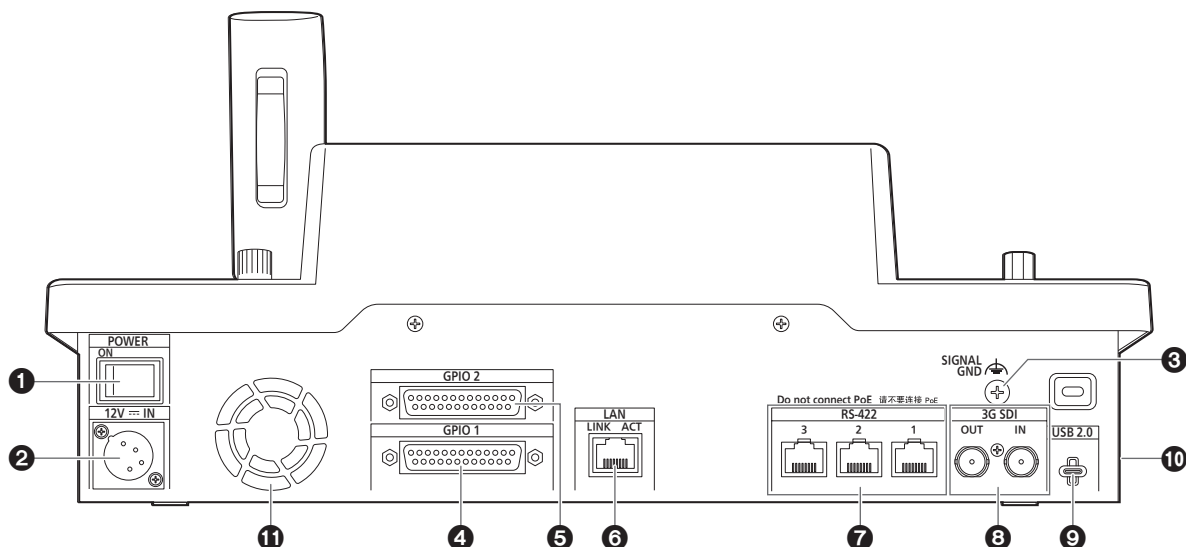
ユーザーボタン部



⑤0 USER ボタン [USER 1/[6]] ～ [USER 5/[10]]、[SHIFT]

USER 1 ～ USER 10 に割り当てた機能呼び出します。
SHIFT ボタンにより USER 1 ～ 5、6 ～ 10 を切り替えます。

背面部



① POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ(制御パネル部①)がアンバーに点灯し、その後緑色に点灯後、LCD上にステータス画面が表示されたあと、本機を操作することができます。

② DC IN端子 [12V IN] (DC 12 V) (XLRコネクター)

外部DC電源を接続します。

- DCコードは、最長2 m (AWG16コード使用時)のコードを使用してください。

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力÷電圧

本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。
誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

12V IN	
1	GND
2	—
3	—
4	+12 V
XLR-4-32-F512 ITTキャノン製	

③ グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

④ GPIO 1 端子 [GPIO 1]

JST製：JBY-25S-1A3F(LF) (SN)

外部機器と接続して、タリ情報や、カメラ選択、カメラ選択状態の送信、プリセットメモリー再生等を行うことができます。
端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

⑤ GPIO 2 端子 [GPIO 2]

JST製：JBY-25S-1A3F(LF) (SN)

外部機器と接続して、タリ情報や、カメラ選択、カメラ選択状態の送信、プリセットメモリー再生等を行うことができます。
端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

⑥ LAN 端子 [LAN] (RJ-45) 1000BASE-T

IP接続対応のリモートカメラ等をLANケーブル(カテゴリー 5e以上、STP (Shielded Twisted Pair)、最大100 m)で接続します。

NOTE

- PoE++ 給電のLANケーブルはこの端子に接続してください。

⑦ RS-422 1 ~ 3 端子 [RS-422 1 ~ 3] (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブル(カテゴリー 5e以上のシールドケーブル)で接続してください。

NOTE

- これらの端子には、PoE++ 給電用のケーブルを接続しないでください。

⑧ 3G SDI 端子 [3G SDI]

SDI信号の入出力に使用します。

- 本機の電源がOFFのときは、OUT端子から信号が出力されません。

⑨ USB 端子 (Type-C コネクタ) [USB2.0]

本機と USB メモリーを接続し、ファームウェアのアップデートが可能です。

また、設定データ等のダウンロード・アップロードが可能です。

- USB2.0 HOST、USB バスパワー機能あり

⑩ USB 端子 (Type-A コネクタ) [USB2.0]

本機と USB メモリーを接続し、ファームウェアのアップデートが可能です。

また、設定データ等のダウンロード・アップロードが可能です。

- USB2.0 HOST、USB バスパワー機能あり

⑪ 冷却ファン

冷却ファンの通風孔をふさぐと故障の原因となります。

通風孔周囲には、十分な空間を確保してください。

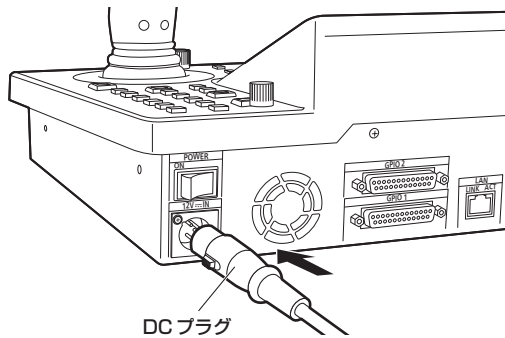
設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

電源の接続について

- 外部DC電源のDCプラグは、ロックするまで奥に差し込んでください。



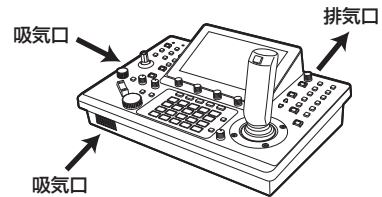
- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、外部DC電源のDCプラグを抜いてください。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 安定した場所に設置して使用してください。
- 本機の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように100 mm以上の空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 直射日光の当たるところへの設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。



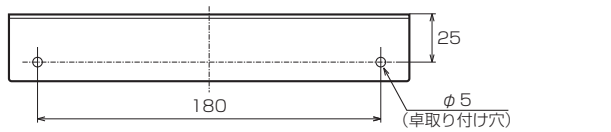
卓埋め込み時の取り付け例

本機を卓に埋め込んで使用する場合は、下記の手順を参考にしてください。

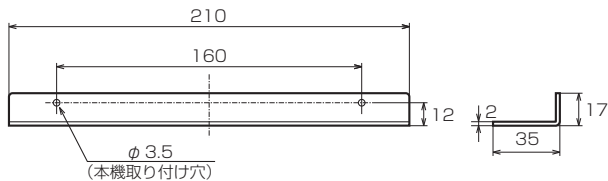
1. 設置場所に応じたマウントアングルを製作する

<マウントアングル例>

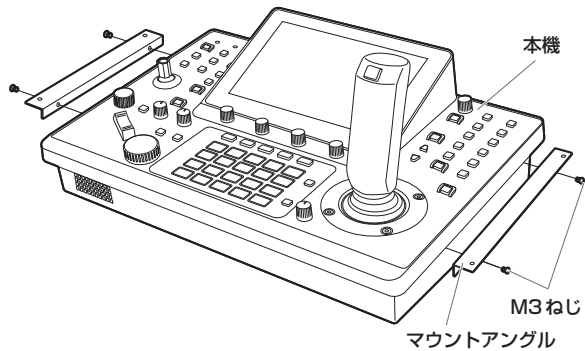
● 卓取り付け側



● 本機取り付け側



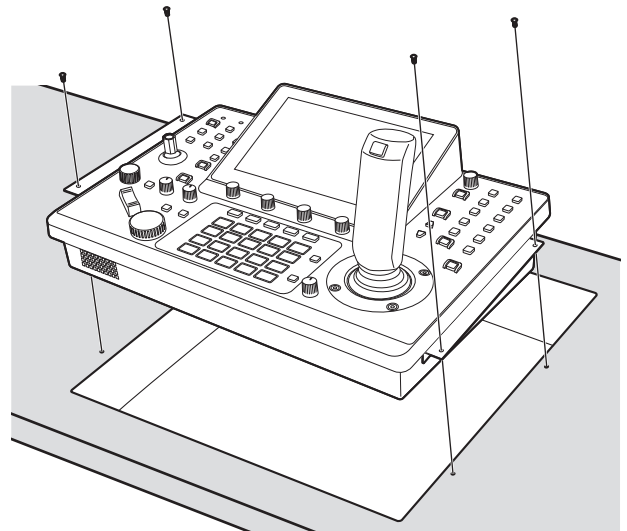
2. マウントアングルを本機の側面に取り付ける (M3ねじ 長さ6 mm以下、4本)



NOTE

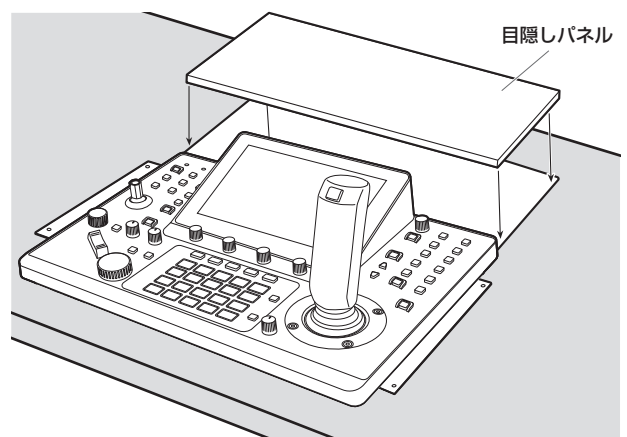
- 本機へのマウントアングル取り付け時の寸法の詳細については、「外形寸法図」(154ページ)を参照してください。

3. 卓の開口部に本機をはめ込み、固定する(ねじ4本)



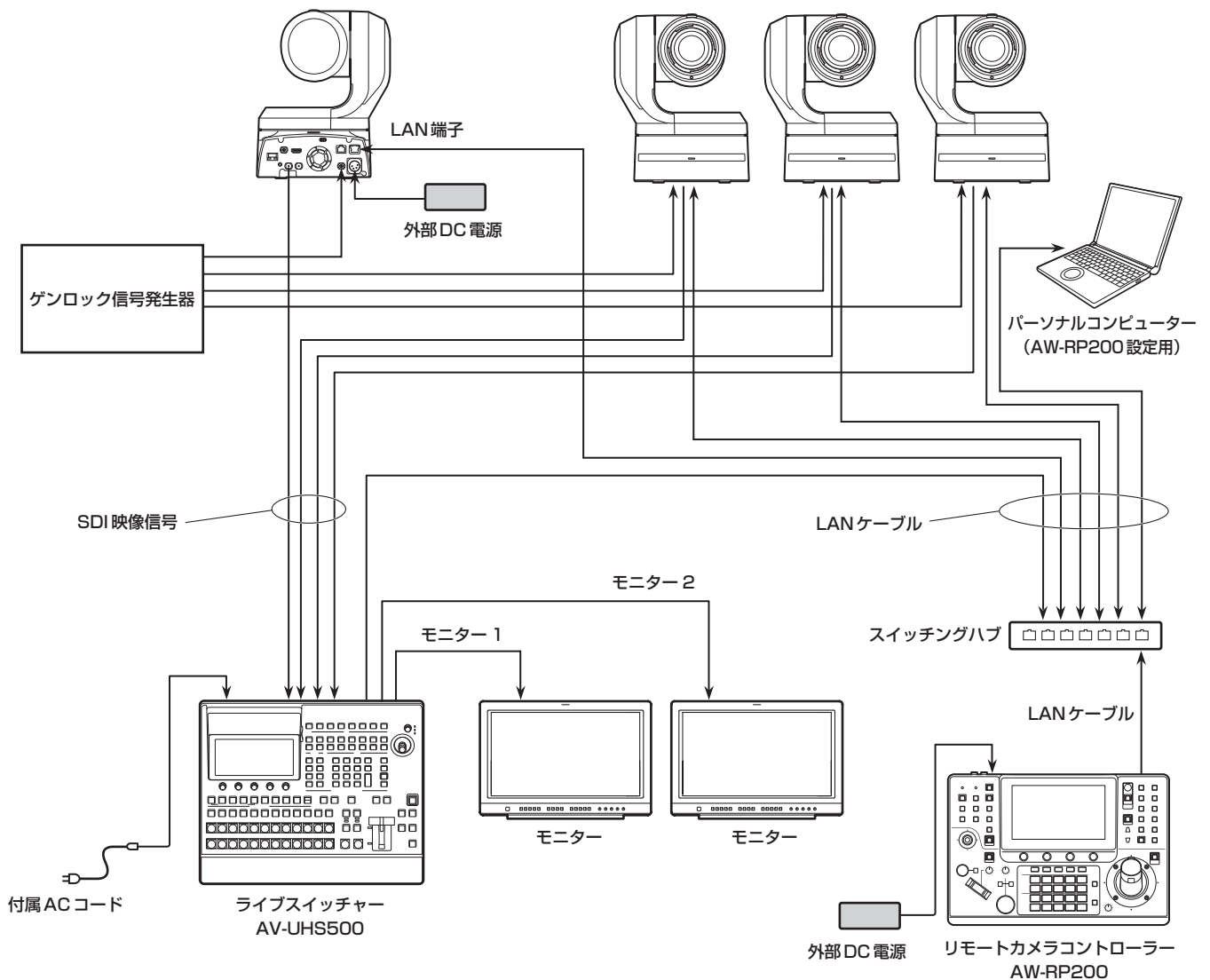
- 卓取り付け穴のサイズ(例: $\phi 5$ mm)に適合するねじをご準備ください。

4. 必要に応じて目隠しパネルを製作し、卓にはめ込む



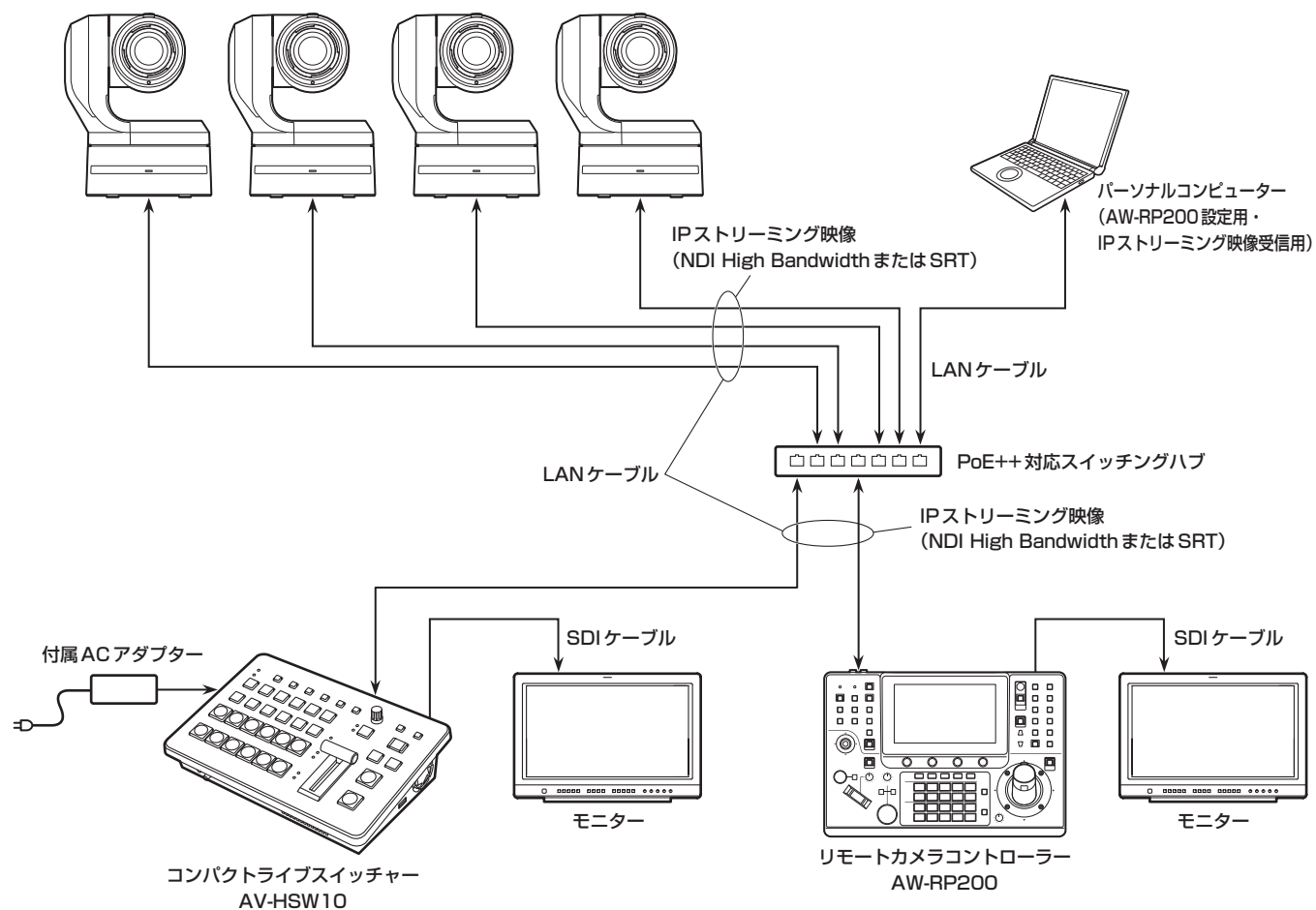
IP 接続例

■ リモートカメラとの IP 接続 (SDI 映像運用)



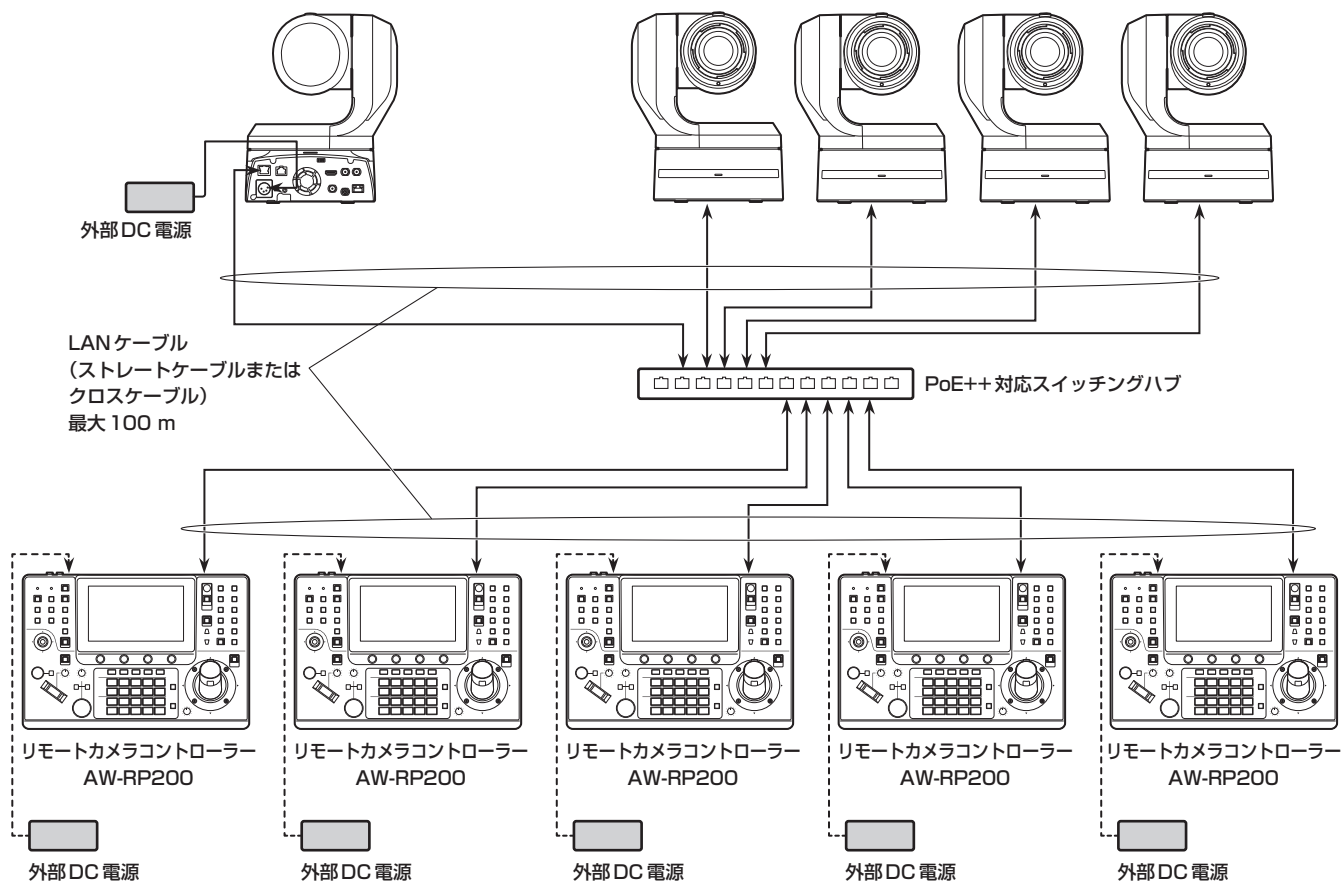
- LANケーブルは、カテゴリー 5e以上のケーブルを使用してください。
- シリアル接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機 1 台に、IP 接続、シリアル接続を合計して最大 200 台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ リモートカメラとのIP接続 (IP映像運用)



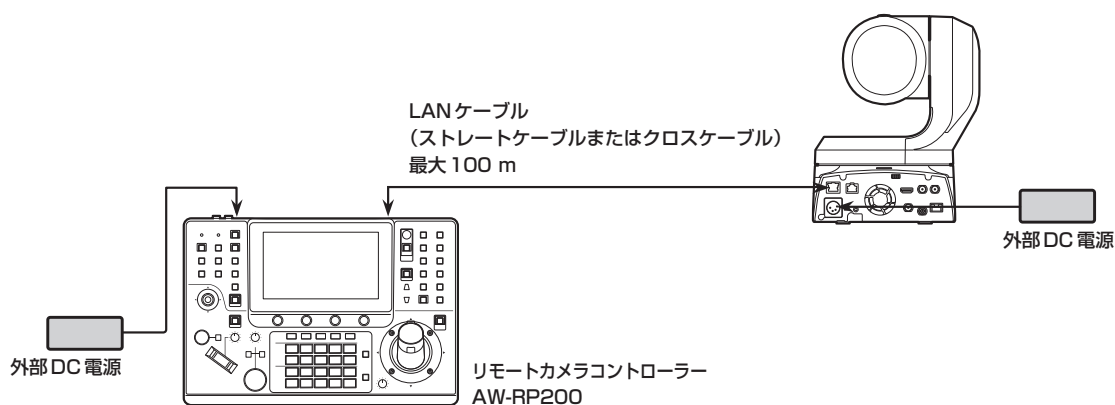
- スwitchングハブはGbE対応かつ、システムの全体の系の電力要求を満たすものを使用してください。
- LANケーブルはカテゴリ 5e以上のケーブルを使用してください。

■ 複数台の本機とリモートカメラとの IP 接続



- LAN ケーブルは、カテゴリ 5e 以上のケーブルを使用してください。
- 1 台のリモートカメラを最大 5 台の本機から同時に操作することができます。(IP 接続時)

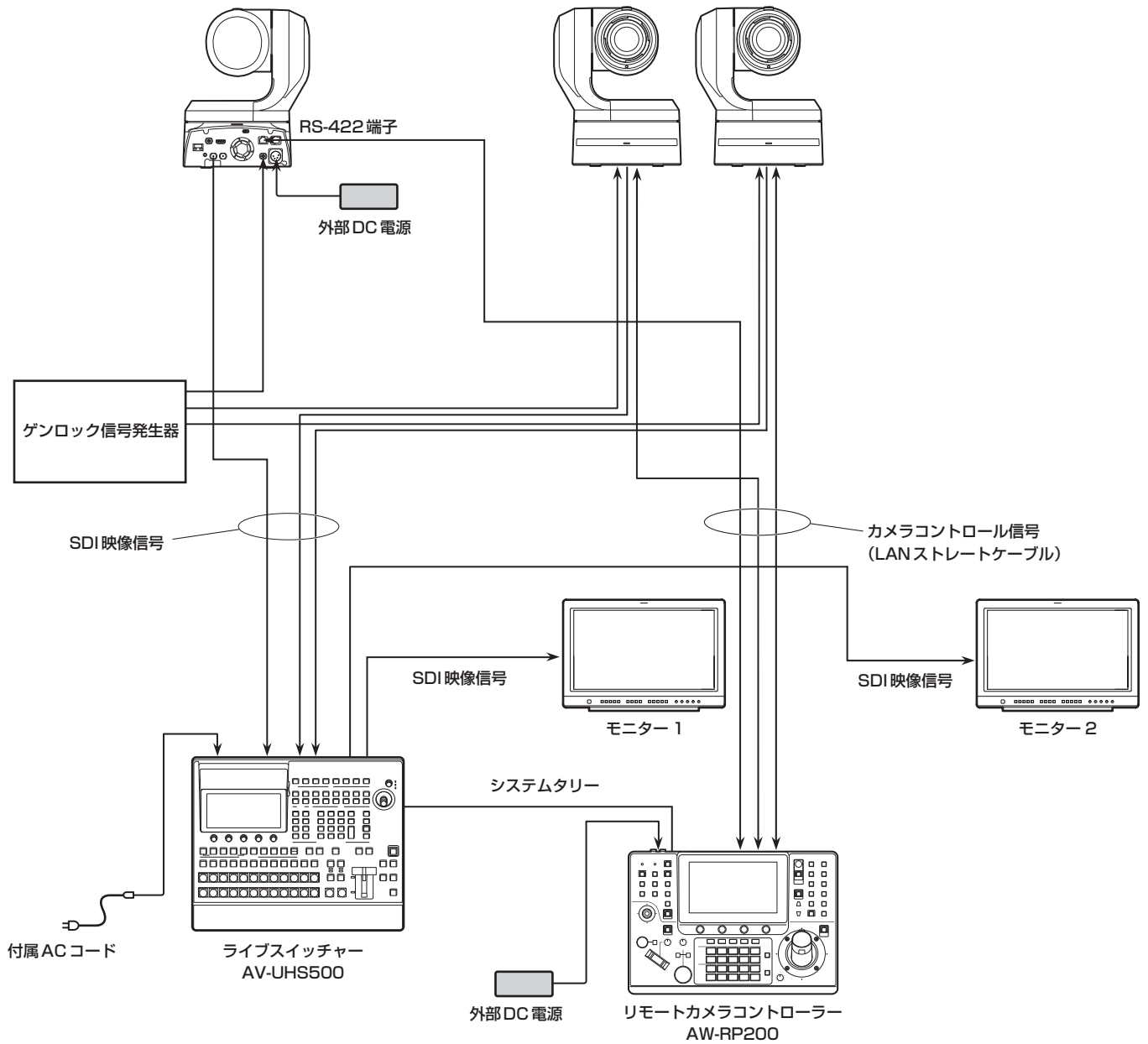
■ 本機 1 台とリモートカメラ 1 台との IP 接続



- LAN ケーブルは、ストレートケーブルまたはクロスケーブル (カテゴリ 5e 以上のケーブル) を使用してください。
- 対応するカメラの取扱説明書も参照してください。

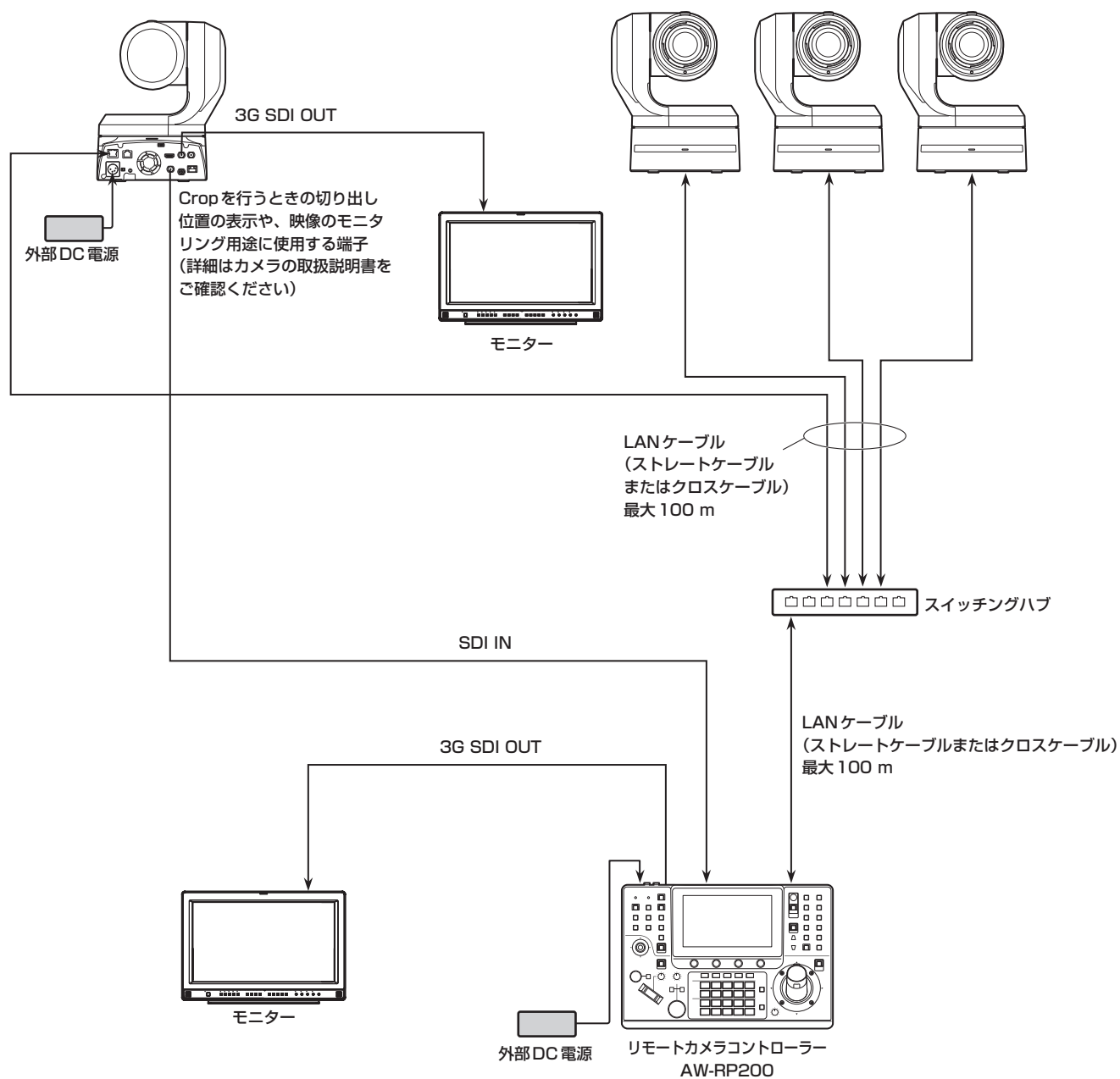
シリアル接続例

■ リモートカメラとのシリアル接続



- LANケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリー 5e以上のケーブル) を使用してください。
- シリアル接続時は、本機 1 台に接続できるリモートカメラは最大 3 台です。
- IP 接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機 1 台に、IP 接続、シリアル接続を合計して最大 200 台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ 4K 映像から HD 映像を切り出す機能の接続例



- LANケーブルは、カテゴリ 5e以上のケーブルを使用してください。

本運用の前に

ご購入後（または工場出荷設定に初期化後）最初に電源を投入されたときに下記の設定を実施してください。

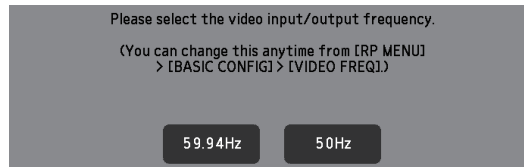
1. 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。本機に電源が供給され、POWERランプがアンバーに点灯したあと、緑色に点灯します。

2. 本機に入力する映像の周波数を選択する

初回起動時に、下記のような表示がメインLCDに表示されます。

本機で使用するSDI入力またはIP入力映像のフォーマットに応じて周波数を59.94 Hzまたは50 Hzから選択してください。

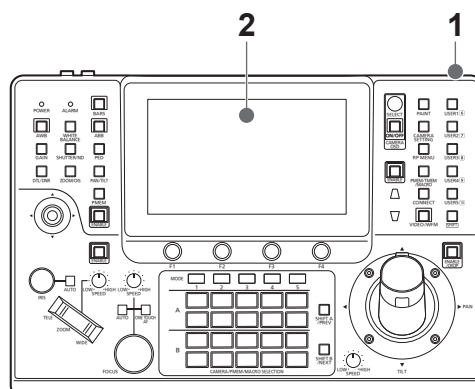


どちらを選択するかは、下記表を参考にしてください。

入力映像		本表示で 設定する値	SDI OUT
SDI	1080/59.94p	59.94 Hz	1080/59.94p
	1080/59.94i		1080/59.94i
	1080/29.97p		1080/29.97p
	1080/23.98p		1080/23.98p
	1080/50p	50 Hz	1080/50p
	1080/50i		1080/50i
	1080/25p		1080/25p
NDI High Bandwidth	1080/60fps	59.94 Hz	1080/59.94p
	1080/30fps		1080/29.97p
	1080/24fps		1080/23.98p
	1080/50fps	50 Hz	1080/50p
	1080/25fps		1080/25p
SRT(H.264/ H.265)	1080/60fps	59.94 Hz	1080/59.94p
	1080/30fps		1080/29.97p
	1080/24fps		1080/23.98p
	1080/50fps	50 Hz	1080/50p
	1080/25fps		1080/25p

NOTE

- 万が一、意図しない設定を選択した場合でも、通常のメニュー設定で変更が可能です。[RP MENU]>[BASIC CONFIG]>[VIDEO FREQ]から正しい設定を選択してください。
- 入力映像の周波数と本機で設定した周波数が不一致の場合、または上の表以外のフォーマットの映像を入力した場合、メインLCD上に「[RP] VIDEO FMT」のエラーが表示されます。正しい設定を実施してください。



本機の基本の使いかた

1. 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。本機に電源が供給され、POWERランプがアンバーに点灯したあと、緑に点灯します。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで本機に触れないでください。

2. 本機に接続するリモートカメラの設定をする

本機で制御するリモートカメラの接続設定を行います。詳細は「リモートカメラとの接続設定を行う」(41 ページ)を参照してください。

NOTE

- 本機とリモートカメラをIPで接続する場合は、最初に本機のネットワーク設定を行ってください。詳細は「本機のネットワーク設定を行う」(39 ページ)を参照してください。

3. 最適なオペレーションモードを選択する

最適なオペレーションモードを選択してください。詳細は「オペレーションモード」(49 ページ)を参照してください。

4. リモートカメラを選択する

オペレーションモード1または3、5でマルチセレクトスイッチから本機から制御するリモートカメラを選択します。詳細は「オペレーションモード」(49 ページ)を参照してください。

5. リモートカメラの向きを調整する

PAN/TILT ENABLE/CROP ボタン[ENABLE/CROP]が点灯している状態で、R-ジョイスティックを操作し、リモートカメラの向きを調整します。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで本機に触れないでください。

6. ズームを調整する

FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、L-ロッカーを操作し、レンズのズームを調整します。TELE 側を押すと望遠になり、WIDE 側を押すと広角になります。

7. レンズの絞りを調整する

FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、IRIS ダイアルを回して、レンズの絞りを調整します。

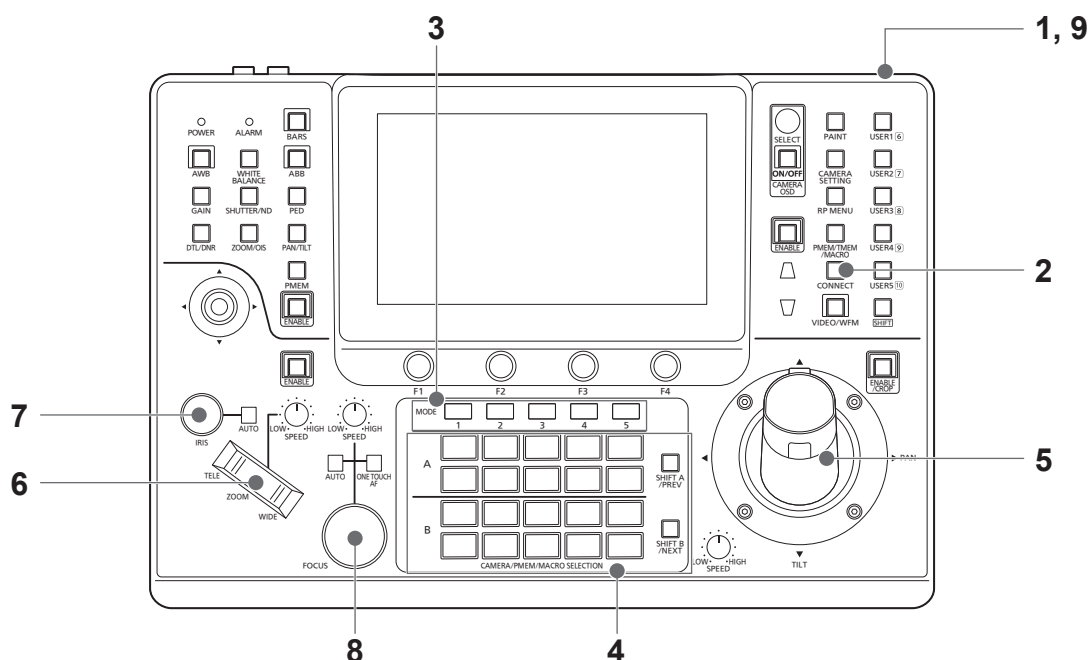
8. フォーカスを調整する

FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、FOCUS ダイアルを回して、レンズのフォーカス調整を行います。

9. 本機の電源を切る

POWERスイッチをOFFにします。本機の電源が切れ、POWERランプが消灯します。

- 本機の電源をOFFにしても、接続されているリモートカメラの電源はOFFにされません。
- リモートカメラの電源を切る場合は、「リモートカメラの電源の切りかた(スタンバイ状態への移行)」(72 ページ)を参照してください。



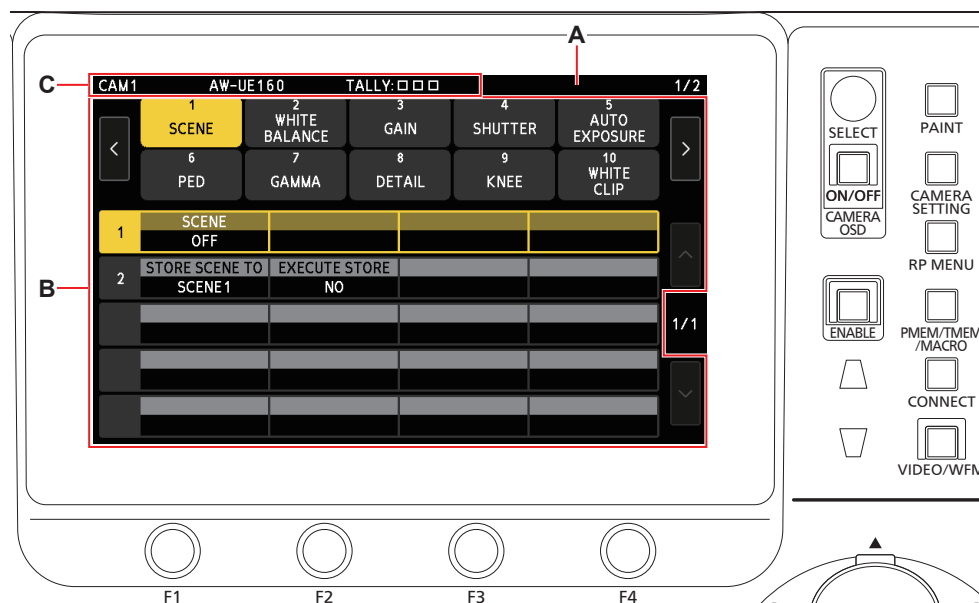
メニューの基本操作

メニュー表示のしかたとメニュー構成

本機のメニューボタンとLCDパネルを使用して、メニューを操作できます。

以下の手順で、メニューを表示します。メニューは、本機のLCDパネル (A) に表示されます。

- Bの部分は、タッチパネル操作が行えます。



A : メインLCD

B : タッチ操作を行える範囲

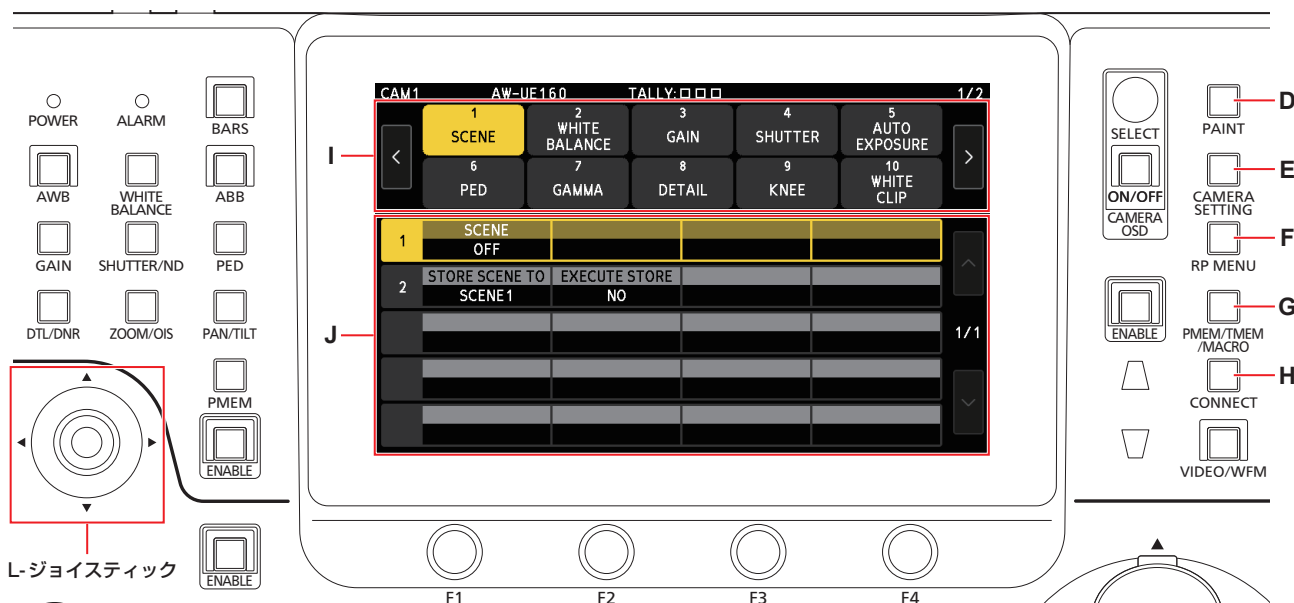
C : 現在選択しているカメラの番号と名称、TALLYの状態を表示します。

操作手順

1. PAINT ボタン (D)、CAMERA SETTING ボタン (E)、RP MENU ボタン (F)、PMEM/TMEM/MACRO ボタン (G)、CONNECT ボタン (H) を押してメニューのグループを選ぶ

メインLCD (A) に、それぞれのグループが表示されます。(ここでは [PAINT] グループを例に説明します。)

- 選択したボタンを再度押すと、メニュー表示がOFFになり、ステータス画面が表示されます。



D : PAINT ボタン

E : CAMERA SETTING ボタン

F : RP MENU ボタン

G : PMEM/TMEM/MACRO ボタン

H : CONNECT ボタン

I : 画面上段

メニューをタッチすると、画面中段に、該当メニューの項目が表示されます。(L-ジョイスティックをメニュー操作に割り当てている場合は、左右方向の動きで画面上段のメニューを選択できます。割り当て方法の詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください)

J : 画面中段

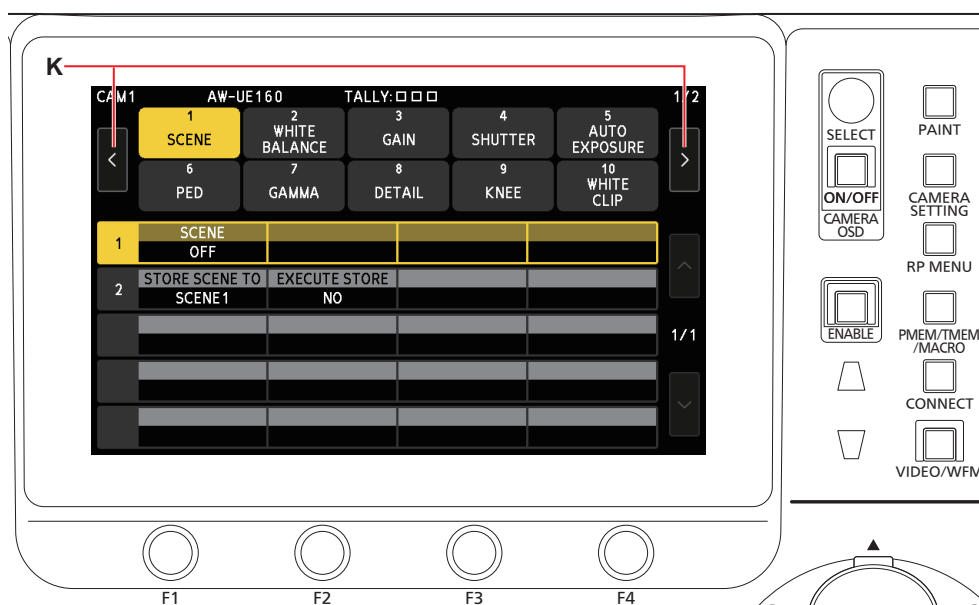
画面上段で選択したメニューの設定項目が表示され、メニュー項目をタッチし、F1 ~ F4のダイヤルで該当列の設定値の変更が行えます。

2. 画面をタッチして、設定したいメニューを選ぶ

画面上段から、目的のメニューを選択します。(ここでは、「SCENE」を例に説明します。)

画面中段に設定項目が表示されます。

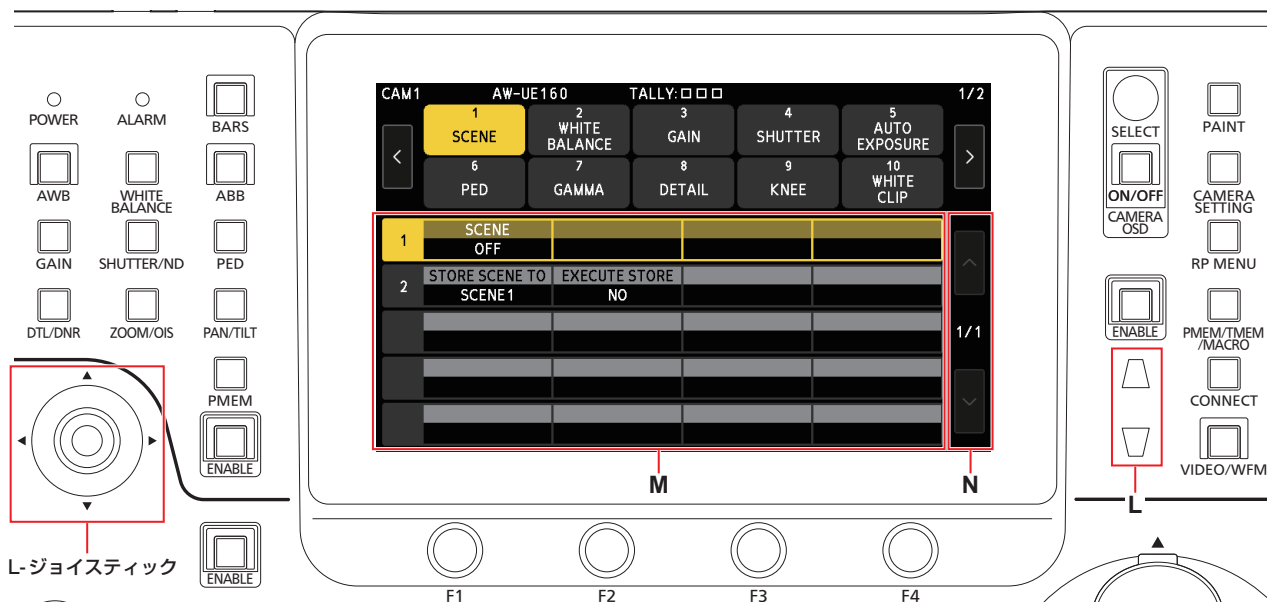
- 画面のページ切り替えボタン(左右) (K) で、設定メニューのページを切り替えることができます。



K : ページ切り替えボタン (左右)

3. 上下ボタン (L) で、画面中段から設定したい項目の行を選ぶ

- 設定したい項目 (M) をタッチしても、項目を選ぶことができます。
- 画面のページ切り替えボタン (上下) (N) で、設定項目のページを切り替えることができます。([SCENE]のように1ページしか設定ページがない項目は切り替えできません)



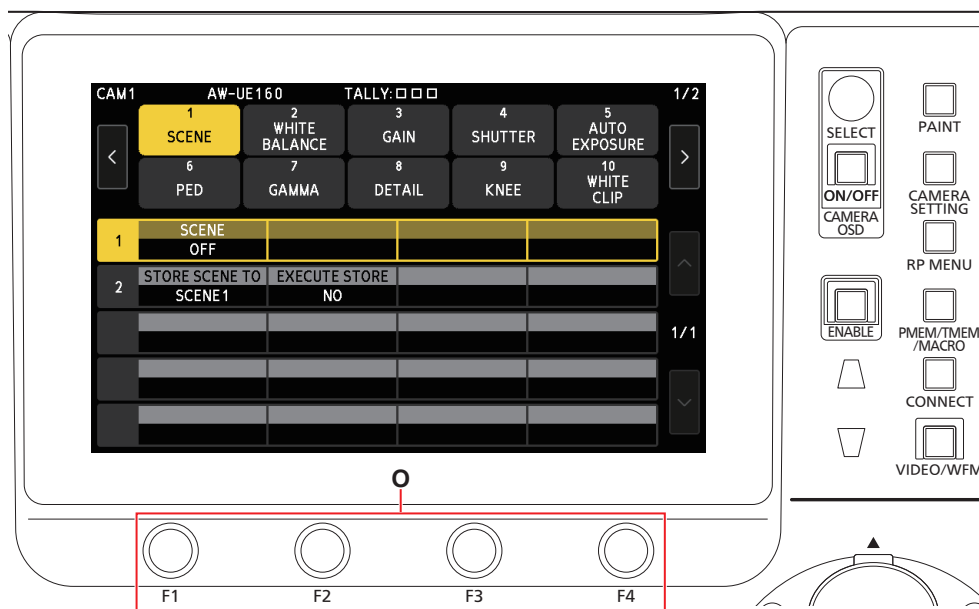
L : 上下ボタン (L-ジョイスティックをメニュー操作に割り当てている場合は、上下方向の動きで上下ボタンと同様の操作ができます。詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください)

M : 設定項目

N : ページ切り替えボタン (上下)

4. ファンクションダイヤル (O) で設定値を変更する

画面の各項目と同じ位置のダイヤルを回します。

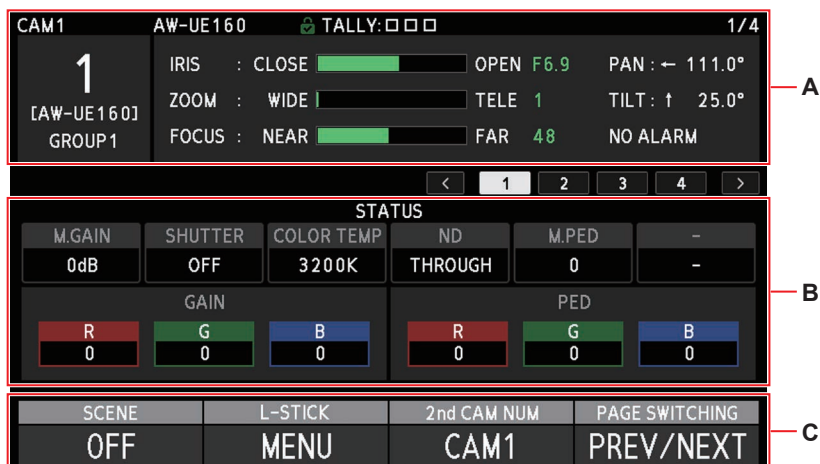


O : ファンクションダイヤル

ステータス画面

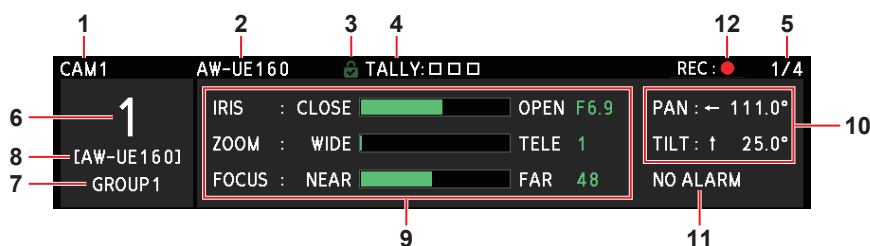
ステータス画面の表示

本機の電源を入れて起動すると、VIDEO/WFM ボタン [VIDEO/WFM] が OFF のとき、ステータス画面が表示されます。

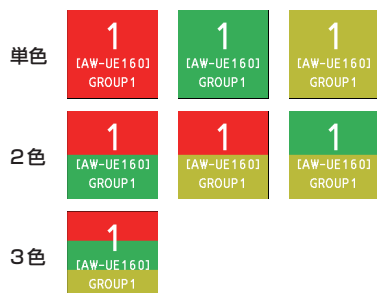


- A : 選択されているカメラのレンズ関連のステータス画面
B : 選択されているカメラのレンズ関連以外のステータス等の画面
C : ファンクションバー

画面上段 (A)



- 1 : 選択されているカメラ番号を表示します。
2 : Camera Name (カメラ側でユーザーが設定したカメラの名称) を表示します。
3 : Cam Lock 状態を表示します。
4 : Tally 点灯状態を表示します。(機種によって点灯できるタリー色は異なります)
5 : ページ番号を表示します。(ページは、上下ボタンで遷移することができます)
6 : 選択されているカメラ番号、Tally 点灯状態 (下記参照) を表示します。([RP MENU]>[BASIC CONFIG]>[TALLY DISP] を参照してください)



- 7 : 選択されているカメラのカメラグループを表示します。
8 : 選択されているカメラの機種名を表示します。
9 : IRIS/ZOOM/FOCUS の状態を表示します。(IRIS は F 値を併記。ZOOM/FOCUS は値を併記する。ZOOM は 0 ~ 999、FOCUS は 0 ~ 99 で表示)
10 : PAN/TILT の状態を表示します。上下左右の方向は矢印で表現します。
11 : 選択されたカメラまたは本機のアラームを表示します。詳細は「メッセージ一覧」(151 ページ) を参照してください。
12 : 録画対応カメラのとき、記録中は赤色に点灯します。録画していないときは、黒丸になります。

画面中段 (B)

Bの部分について、本機は以下のステータス画面があります。
運用に応じてご使用になりたい画面を選択してください。



① PAINT 関連ステータス (詳細) :

ゲイン、シャッター速度、色温度、ND、マスターペダスタルに加えて、R/G/Bゲイン、R/G/Bペダスタルを表示します。

② PAINT 関連ステータス + 各種ボタン等の割り当て :

ゲイン、シャッター速度、色温度、ND、マスターペダスタルに加えて、本機の各種ボタンの割り当てに関わるメニューを表示します。

③ PAINT 関連ステータス + 追尾関連ステータス :

ゲイン、シャッター速度、色温度、ND、マスターペダスタルに加えて、自動追尾に関わるメニューを表示します。

● カメラの内蔵自動追尾が有効な場合

CAMERA SETTING ボタン > [BUILT-IN AUTO TRACK] > [A-TRACK ACTIVE] = [ENABLE] のときに、

・ [MODE] = [BUILT-IN AT]

・ [STATUS] = CAMERA SETTING ボタン > [BUILT-IN AUTO TRACK] > [TRACK STATUS] の内容を表示します。

● Media Production Suite のオートフレーミングが有効な場合

CONNECT ボタン > [AUTO FRAMING] > [A. FRAME ACTIVE] = [ENABLE] のときに、

・ [MODE] = [AUTO FRAME]

・ [STATUS] = CONNECT ボタン > [AUTO FRAMING] > [FRAMING STATUS] の内容を表示します。

詳細は Media Production Suite の取扱説明書も参照してください。

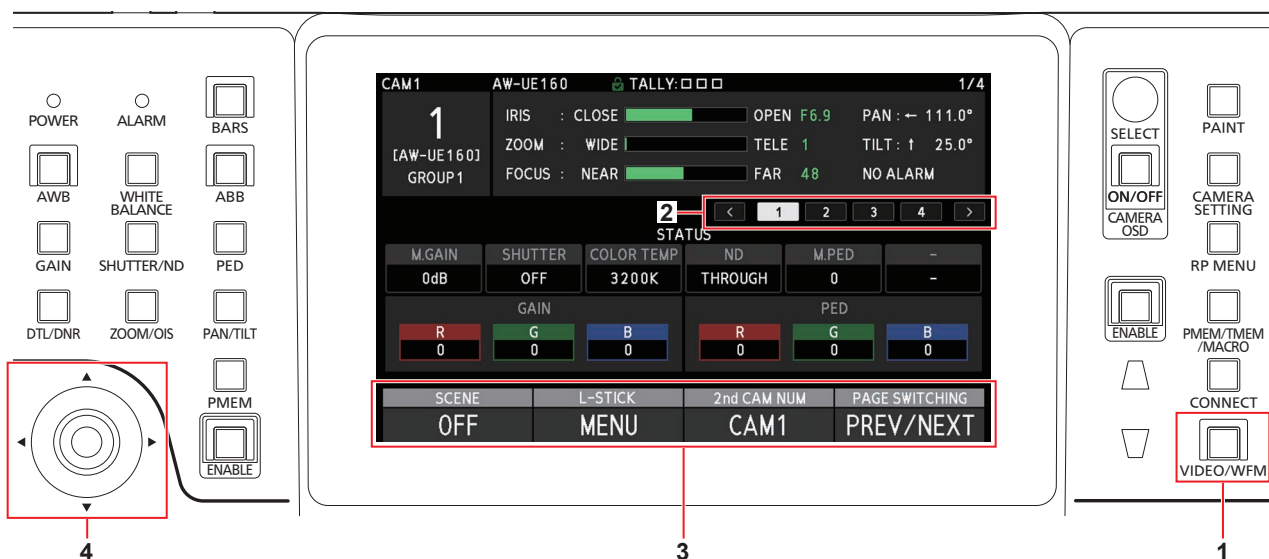
④ ユーザーボタン :

USER1 ~ 10・R-ジョイスティックユーザーボタンへの機能の割り付け情報を表示します。タッチすることで、割り付けた機能を実行 (ON/OFF など) することができます。

NOTE

- ユーザーボタン (ページ4) の実行中は、ボタンの色が黄色になります。
- ページ2・3では、R-ジョイスティックユーザーボタンに割り当てられている機能を実行中は文字の色が黄色になります。

各ページの遷移は、ページボタンをタッチ、またはファンクションバーのPAGE SWITCHINGの操作、L-ジョイスティックの左右方向の操作で行います。



- 1 VIDEO/WFM ボタン : 本機に入力された映像をメインLCDに出力するかを切り替えます。([VIDEO/WFM] = OFF のときに、2 ~ 4 の操作が有効です)
 - 2 ページボタン : タッチすることで任意のページに遷移します。
 - 3 ファンクションバー : PAGE SWITCHING を割り当てている場合、ファンクションダイヤルの操作でページ遷移します。*1
 - 4 L-ジョイスティック : メニュー操作に割り当てている場合、左右方向の操作でページ遷移します。*1
- *1 : 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。

画面下段 (C)

SCENE	L-STICK	2nd CAM NUM	PAGE SWITCHING
OFF	MENU	CAM1	PREV/NEXT

ファンクションダイヤルに割り当てた機能と設定値またはショートカットボタンに割り当てられた機能と設定値を表示します。
詳細は、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)・「ショートカットボタン」(66ページ)を参照してください。

マクロ機能について

本機では、マクロ機能という、カメラ（複数台も可）に送信するコマンドとそのタイミングをあらかじめ設定しておいて、ワンタッチでカメラの動作シーケンスを呼び出す機能をサポートしています。（最大100個のマクロを本機に登録できます）

設定・実行方法は以下となります。

1. Web 設定画面 [Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit] を選択
2. 制御するカメラ番号を選択
3. 各カメラに送信するコマンド・パラメーターを選択
4. 次のコマンドを送るまでのインターバル期間を設定
5. シーケンスが完了するまで 2. ～ 4. を繰り返す（ステップは最大500）
6. 本機に作成したマクロを保存
7. 以下でマクロ機能の実行
 - マルチセレクトスイッチ（オペレーションモード4または5）
 - ファンクションバー
 - ユーザーボタン
 - メインLCD

NOTE

- 1. ～ 6. は Web 設定画面 [Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit] を参照してください。
- 7. は「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）、「オペレーションモード」（49ページ）、「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」（60ページ）を参照してください。
- コマンドによっては1つの動作で複数ステップを使用するものもあります。この場合は、最大ステップ数が500未満になる場合があります。

マクロ機能では上記の内容に加え、下記も実現可能です。

- あらかじめ制御するカメラ番号を決めず、マルチセレクトスイッチ等で選択したカメラに対して、シーケンスを組んだコマンドをワンタッチで送信することも可能です。
- 1つのマクロの中で自身を含む他のマクロを呼び出すことも可能です。
- ユーザーが操作に応じて柔軟にシーケンスの実行タイミングを変更できるように、メインLCD上で都度登録したシーケンスを実行するかスキップするかを選択することも可能です。（下記のようなポップアップが表示されます）



- Web メニューの [Macro Edit] 画面で対応していないコマンドについては、ユーザー自身でカメラのコマンド仕様書を参照して編集したファイルを読み込むことで対応可能です。
作成方法については Web 設定画面 [Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit] を参照してください。
- マクロ実行中も、カメラの選択・操作が可能です。

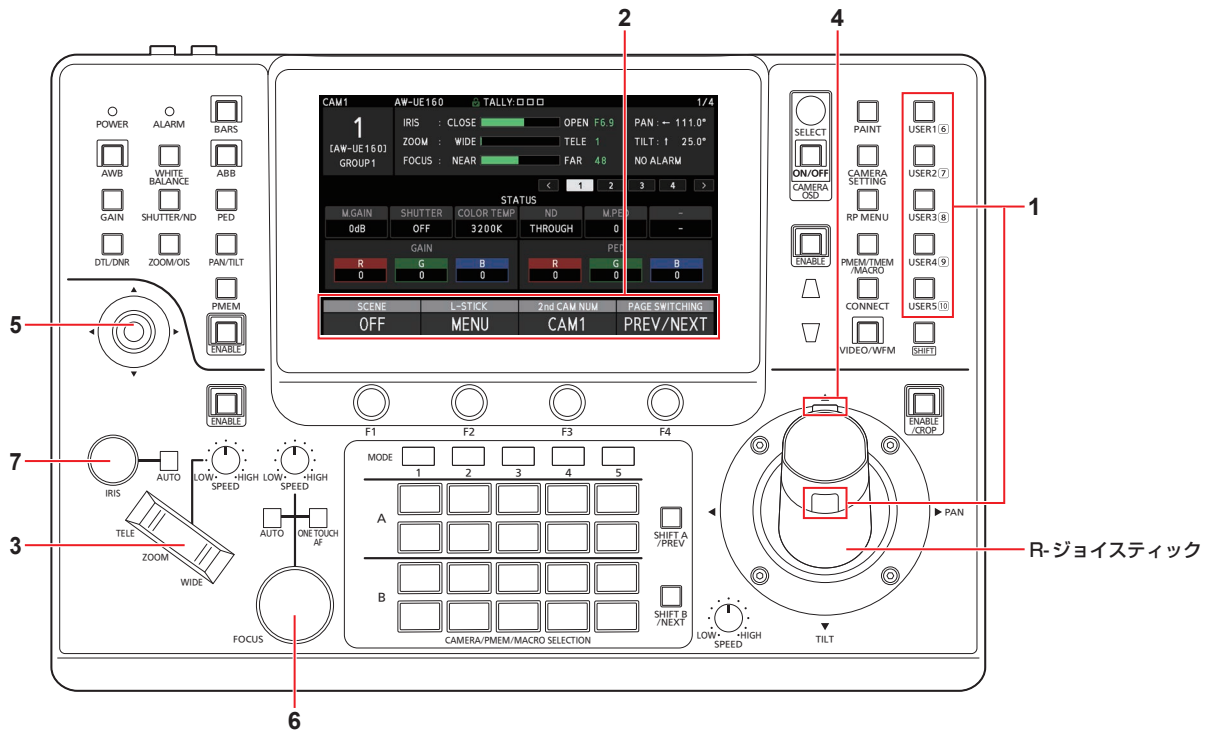
NOTE

- マクロ再生中のカメラとマルチセレクトスイッチ等で選択・操作したカメラが重複した場合は、後から制御された方の動作をします。ご注意ください。

本機の操作のカスタマイズ

本機では各種ボタン・ロッカー・ジョイスティック・ダイヤルのカスタマイズが可能です。割り当て方法については、Web 設定画面 [Setup Menu]>[User Assignment]>[Control Interface] も参照してください。

- 1：ユーザーボタン
- 2：ファンクションバー
- 3：L-ロッカー
- 4：R-ロッカー
- 5：L-ジョイスティック
- 6：フォーカスダイヤル
- 7：アイリスダイヤル



ユーザーボタン

ユーザーボタン (USER1 ~ 10とR-ジョイスティックユーザーボタン) に対して、以下の機能の割り当てが行えます。割り当て方法については、[RP MENU]>[USER ASSIGN]を参照してください。

設定内容	詳細
SHOOTING MODE	選択されたカメラの撮影モードを切り替えます。
DIGITAL EXT x1.4	選択されたカメラのデジタルエクステンダーをOFF⇄x1.4に切り替えます。
DIGITAL EXT x2.0	選択されたカメラのデジタルエクステンダーをOFF⇄x2.0に切り替えます。
EXT PROMPTER	本機の対応するプロンプターの制御のON/OFFを切り替えます。
i.ZOOM	選択されたカメラのi.Zoom機能のON/OFFを切り替えます。
D.ZOOM	選択されたカメラのデジタルズーム機能のON/OFFを切り替えます。
ONE TOUCH AF	選択されたカメラでワンタッチオートフォーカスを動作させます。
CROP(1080)	選択されたカメラのCROPモードのON (1080画角出力) /OFFを切り替えます。
CROP(720)	選択されたカメラのCROPモードのON (720画角出力) /OFFを切り替えます。
CROP OUT YL	選択されたカメラのCROPモード時の出力映像の切り出し枠の色を黄色にします。
CROP OUT G	選択されたカメラのCROPモード時の出力映像の切り出し枠の色を緑色にします。
CROP OUT MG	選択されたカメラのCROPモード時の出力映像の切り出し枠の色をマゼンタにします。
CROP ADJ YL	選択されたカメラのCROPモード時の位置調整を行う切り出し枠の色を黄色にします。
CROP ADJ G	選択されたカメラのCROPモード時の位置調整を行う切り出し枠の色を緑色にします。
CROP ADJ MG	選択されたカメラのCROPモード時の位置調整を行う切り出し枠の色をマゼンタにします。

本機の操作のカスタマイズ(つづき)

CROP MARKER YL	選択されたカメラのCROPモード時の切り出し枠(黄色)をマーカ表示します。
CROP MARKER G	選択されたカメラのCROPモード時の切り出し枠(緑色)をマーカ表示します。
CROP MARKER MG	選択されたカメラのCROPモード時の切り出し枠(マゼンタ)をマーカ表示します。
[B.A.T.]ACTV	選択されたカメラの内蔵自動追尾モードのON/OFFを切り替えます。
[B.A.T.]TRK S/S	選択されたカメラの内蔵自動追尾の追尾を開始/終了します。
[B.A.T.]FULL	選択されたカメラの内蔵自動追尾の画角をFull Bodyと現在の画角を切り替えます。
[B.A.T.]U-BODY	選択されたカメラの内蔵自動追尾の画角をUpper Bodyと現在の画角を切り替えます。
[B.A.T.]MARKER	選択されたカメラの内蔵自動追尾の追尾枠の表示/非表示を切り替えます。
CAM PWR ON/OFF	選択されたカメラの電源ON/OFF(スタンバイ)を切り替えます。
FREEZE ON PMEM	選択されたカメラのプリセットメモリー再生中に映像をフリーズさせる機能のON/OFFを切り替えます。
FAN	選択されたカメラのファンのON/OFFを切り替えます。
CAM CTRL LOCK	選択されたカメラの制御を本機でのみ行えるようにするかどうかを切り替えます。
NIGHT MODE	選択されたカメラで暗視撮影(ナイトモード)/通常撮影を切り替えます。
MACRO01	本機のMACRO01に登録されているマクロを実行します。
MACRO02	本機のMACRO02に登録されているマクロを実行します。
MACRO03	本機のMACRO03に登録されているマクロを実行します。
MACRO04	本機のMACRO04に登録されているマクロを実行します。
MACRO05	本機のMACRO05に登録されているマクロを実行します。
MACRO06	本機のMACRO06に登録されているマクロを実行します。
MACRO07	本機のMACRO07に登録されているマクロを実行します。
MACRO08	本機のMACRO08に登録されているマクロを実行します。
MACRO09	本機のMACRO09に登録されているマクロを実行します。
MACRO10	本機のMACRO10に登録されているマクロを実行します。
FOCUS PEAK	RP MENU ボタン>[BASIC CONFIG]>[VIDEO MARKER]で設定可能なピーキング機能のON/OFFを切り替えます。
WIPER	選択されたカメラのワイパー機能のON/OFFを切り替えます。
DEFROSTER	選択されたカメラのデフロスター機能のON/OFFを切り替えます。
HEATER	選択されたカメラのヒーター機能のON/OFFを切り替えます。
WASHER	選択されたカメラのウォッシャー機能を動作させます。
WIPER ONCE	選択されたカメラのワイパーを一度だけ動作させます。
[A.F.]FRMG S/S	オートフレーミングを開始/停止します。
[A.F.]ACTV	オートフレーミング機能のON/OFFを切り替えます。
[A.F.]FRM KEEP	Framing Keep 機能を実行します。
FACE DETECT AF	選択されたカメラの顔検出AF機能のON/OFFを切り替えます。
FACE AF MARKER	選択されたカメラの顔検出AF機能のマーカの表示/非表示を切り替えます。
NONE	何も割り当てないようにします。

NOTE

- 機能によっては対応していないカメラがあります。詳細はカメラの取扱説明書・Media Production Suiteの取扱説明書/API仕様書をご確認ください。

ユーザーボタンの実行方法については、「制御パネル部」(11ページ)と「ステータス画面」(30ページ)を参照してください。

ファンクションバー

ファンクションダイヤル (F1 ～ F4) に対して、以下の機能の割り当てが行えます。割り当てた機能はファンクションバーに表示されます。割り当て方法については、RP MENU ボタン>[USER ASSIGN]を参照してください。

設定内容	詳細
SCENE	選択されたカメラの SCENE を設定します。
W. BAL MODE	選択されたカメラのホワイトバランスのモードを設定します。
COLOR TEMP	[WHITE BALANCE] の設定に応じて、選択されたカメラの色温度を設定します。
MASTER GAIN	選択されたカメラのマスターゲインを設定します。
AGC	選択されたカメラの AGC (Auto Gain Control) の ON/OFF を設定します。
R GAIN	選択されたカメラの R ゲインを設定します。
G GAIN	選択されたカメラの G ゲインを設定します。
B GAIN	選択されたカメラの B ゲインを設定します。
SHUTTER SW	選択されたカメラのシャッター機能の ON/OFF を設定します。
SHUTTER MODE	選択されたカメラのシャッターのモードを設定します。
SHUTTER SPEED	選択されたカメラのシャッタースピードを設定します。
PICTURE LEVEL	選択されたカメラのピクチャーレベルを設定します。
ND	選択されたカメラの ND を設定します。
MASTER PED	選択されたカメラのマスターペダスタルを設定します。
R PED	選択されたカメラの R ペダスタルを設定します。
G PED	選択されたカメラの G ペダスタルを設定します。
B PED	選択されたカメラの B ペダスタルを設定します。
DETAIL SW	選択されたカメラのディテール機能の ON/OFF を設定します。
MASTER DETAIL	選択されたカメラのマスターディテールを設定します。
PEAK(DTL) FREQ	選択されたカメラのディテールのブースト周波数を設定します。
DNR	選択されたカメラのデジタルノイズリダクションを設定します。
ZOOM MODE	選択されたカメラのズーム方式 (ズーム最大倍率) を設定します。
DIGITAL EXT	選択されたカメラのデジタルエクステンダー機能を設定します。
O.I.S.	選択されたカメラの画面揺れ補正機能の ON/OFF を設定します。
O.I.S. MODE	選択されたカメラの画面揺れ補正機能のモードを設定します。
D.I.S.S SW	選択されたカメラの D.I.S.S. 機能の ON/OFF を設定します。
P/T SPEED MODE	選択されたカメラのパン/チルト動作のスピードモードを設定します。
P/T ACC SETTING	選択されたカメラのパン/チルト動作の開始・停止時の加速度等の詳細設定を設定します。
SPEED w/ ZOOM	選択されたカメラのズーム倍率に連動して、パン/チルトの制御のスピードを自動で調整するかを設定します。
FOCUS ADJ w PTZ	選択されたカメラのパン/チルト/ズーム操作時に、フォーカスのずれを自動補正するかを設定します。
PMEM OP MODE	オペレーションモード 2 または 3 のときに、マルチセレクトスイッチでのプリセットメモリーの制御方法を設定します。詳細は「オペレーションモード」の「プリセットメモリー制御について」(50 ページ)を参照してください。
PMEM SPEED SEL	プリセットメモリーを再生するスピードの設定をカメラで保存しているものを使用するか、本機で設定しているものを使用するか選択します。
PMEM SPEED TBL	プリセットメモリーを再生するスピードのテーブルを設定します。
PMEM SPD/TIME	プリセットメモリーを再生するときの、プリセットメモリー位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。
PMEM SMT COMP	プリセットメモリー再生時の再生動作のモードを設定します。
RECALL MACRO	本機に登録された MACRO を実行・停止します。
L-ROCKER	L-ロッカーに割り当てる機能を設定します。
R-ROCKER	R-ロッカーに割り当てる機能を設定します。
L-STICK	L-ジョイスティックに割り当てる機能を設定します。

2nd CAM NUM	L-ジョイスティックに2台目のカメラ操作機能が割り当てられたときの、L-ジョイスティックで制御するカメラ番号を設定します。
L-STICK SPEED	L-ジョイスティックの制御速度を設定します。
PAGE SWITCHING	ステータス画面の切り替えを設定します。詳細は「ステータス画面」(30ページ)を参照してください。
ECC COLOR TEMP	色温度を手動で調整時にONにします。
AF PRESET SEL	オートフォーカス機能の各種設定を保存するプリセットメモリーを設定します。
AF PRE SPEED	オートフォーカスの速度を設定します。
AF PRE AREA SIZE	オートフォーカスエリアサイズを調整します。
AF PRE AREA POS	オートフォーカスエリア位置を調整します。
REC STATUS	録画の状態を表示します。

NOTE

- 機能によっては対応していないカメラがあります。詳細はカメラの取扱説明書・Media Production Suiteの取扱説明書/API仕様書をご確認ください。

L/R-ロッカー・L-ジョイスティック・フォーカスダイヤル・アイリスダイヤル

以下の機能の割り当てが行えます。

割り当て方法については、RP MENU ボタン>[CONTROL I/F] を参照してください。

	割り当て機能	詳細
L-ロッカー	ZOOM	カメラのズーム操作をします。
	AUTO FRAMING	オートフレーミング機能有効時の [Frame Adjust] のズーム操作をします。
R-ロッカー	ZOOM	カメラのズーム操作をします。
	FOCUS	カメラのフォーカス操作をします。
L-ジョイスティック	NONE	何も割り当てません。
	2nd CAM PT	2 台目のカメラ制御 (パン・チルト) を行います。本設定のときは、L-ロッカーは 2 台目のカメラのズーム操作に割り当てられます。
	MENU	メニュー操作を行います。
	CROP	CROP の際、切り出し位置を操作します。
	AUTO FRAMING	オートフレーミング機能有効時の [Frame Adjust] のパンチルト操作をします。
フォーカスダイヤル・ アイリスダイヤル	FOCUS	フォーカスの操作を行います。
	IRIS	アイリスの操作を行います。
		FOCUS ダイヤルにアイリス、IRIS ダイヤルにフォーカスを割り当てると、オートフォーカスボタン、オートアイリスボタンの操作も入れ替わります。 ● ワンタッチオートフォーカスボタンは、無効になります。 ● FOCUS SPEED ダイヤルの操作は無効になります。 ● フォーカススピードは設定変更時のスピードに固定されます。

NOTE

- 機能によっては対応していないカメラがあります。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。
- オートフレーミング機能の詳細は Media Production Suite の取扱説明書も参照してください。

操作方向

各操作方向について、以下の割り当てが行えます。(本機に接続するカメラ 1 台ごとに設定するか、すべてのカメラに設定するか選択できます。)

割り当て方法については、RP MENU ボタン>[CTRL DIRECTION] を参照してください。

	パン	チルト	ズーム	フォーカス	アイリス
R-ジョイスティック	設定可	設定可	—	—	—
L-ジョイスティック	設定可	設定可	—	—	—
R-ロッカー	—	—	設定可	設定可	—
L-ロッカー	—	—	設定可	—	—
フォーカスダイヤル	—	—	—	設定可	設定可
アイリスダイヤル	—	—	—	設定可	設定可

本機のネットワーク設定を行う

IP 接続したりリモートカメラを本機から制御するには、本機のネットワーク設定が必要です。

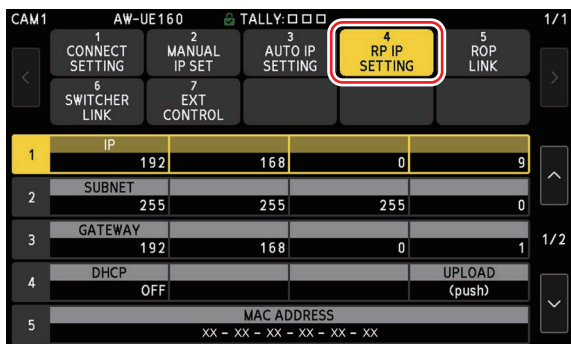
NOTE

- 同じネットワーク内に同一の IP アドレスが存在すると、正しく動作しません。起動時などにおいて、IP アドレスの重複が検知されたときに、“Duplicate IP address. Please change it.” のメッセージが表示されることがあります。IP アドレスが重複しないように設定してください。

本機の IP アドレスの設定

1. CONNECT ボタンを押す

2. 「RP IP SETTING」をタッチして、「IP」項目を表示する



- 工場出荷時は、「192.168.0.9」に設定されています。

3. ファンクションダイヤルを操作し、他の機器と IP アドレスが重複しないように、本機の IP アドレスを設定する

4 つのオクテットごとに分けて入力を行います。

「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

- リモートカメラの接続先 IP アドレスと重複している場合は、“Duplicate IP address. Please change it.” のメッセージが表示されて、登録ができません。
「設定可能なアドレスについて」(40 ページ)を参照してください。

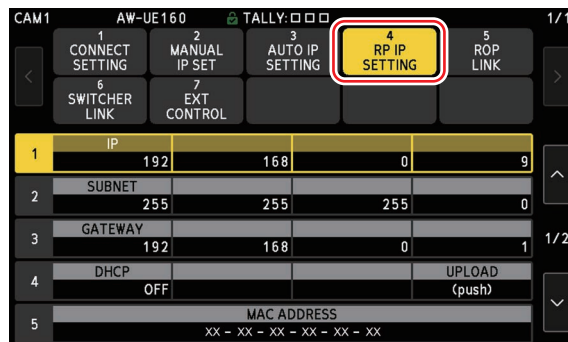
NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。
- IP アドレスは、ネットワーク管理者とご相談のうえ設定してください。

サブネットマスクの設定

1. CONNECT ボタンを押す

2. 「RP IP SETTING」をタッチして、「SUBNET」項目を表示する



- 工場出荷時は、「255.255.255.0」に設定されています。

3. 上下ボタンを押して、「SUBNET」を選択する

4. ファンクションダイヤルを操作し、本機のサブネットマスクを設定する

4 つのオクテットごとに分けて入力を行います。

「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

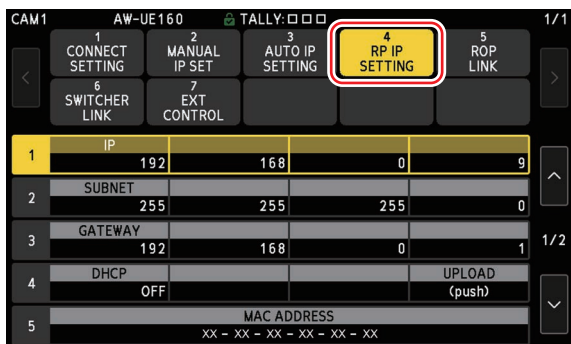
- 設定できない値を入力した場合は、“Invalid subnet mask.” が表示されます。
「設定可能なアドレスについて」(40 ページ)を参照してください。

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

デフォルトゲートウェイの設定

1. CONNECT ボタンを押す
2. 「RP IP SETTING」をタッチして、「GATEWAY」項目を表示する



- 工場出荷時は、「192.168.0.1」に設定されています。

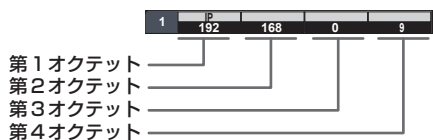
3. 上下ボタンを押して、「GATEWAY」を選択する
4. ファンクションダイヤルを操作し、本機のデフォルトゲートウェイを設定する
4つのオクテットごとに分けて入力を行います。
「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

メモ

設定可能なアドレスについて



- IPアドレスには、以下の範囲の値を設定することができます。

第1オクテット：1～223	第2オクテット：0～255
第3オクテット：0～255	第4オクテット：1～254

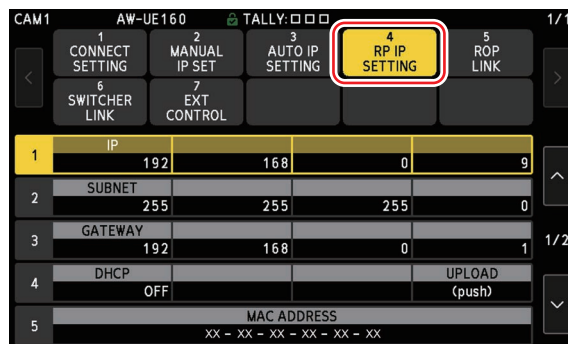
ただし、上記範囲内であっても、「127.0.0.1」は設定できません。
- サブネットマスクには、以下の範囲の値を設定することができます。

第1オクテット：0～255	第2オクテット：0～255
第3オクテット：0～255	第4オクテット：0～255

ただし、上記範囲内であっても、「0.0.0.0」、「127.0.0.1」は設定できません。

MACアドレスの表示

1. CONNECT ボタンを押す
2. 「RP IP SETTING」をタッチして、「MAC ADDRESS」項目を表示する



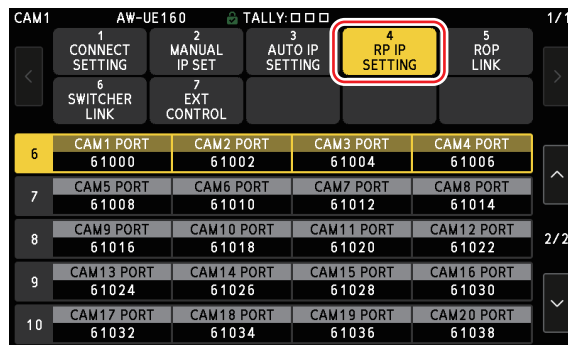
- MACアドレスは表示のみで、変更することはできません。

受信用ポート番号の設定

本機が、リモートカメラからカメラ情報の更新通知を受信するためのポート番号を設定します。
ルーターを経由してリモートカメラを接続する場合に、設定を変更します。

- 更新通知は、選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラから受信しますので、20個のポート番号を設定します。

1. CONNECT ボタンを押す
2. 「RP IP SETTING」をタッチして、「CAM1 PORT」～「CAM20 PORT」項目を表示する



3. ファンクションダイヤルを操作し、各カメラ番号に受信用ポート番号を設定する

入力範囲：1～65535

- 重複した受信用ポート番号を入力した場合は、“Duplicate port. Please change it.”が表示されます。

リモートカメラとの接続設定を行う

本機からリモートカメラを制御したり、本機とのリンク機能を使用したりするためには、あらかじめ接続設定が必要です。

接続設定を行うには、本機で設定する方法と Web 画面を使って設定する方法があります。

ここでは、本機で設定する方法について説明します。

Web 画面を使った設定のしかたについては、Web 設定画面 [Setup Menu]>[Connect Setting] を参照してください。

NOTE

- リモートカメラは、出荷時にすべて同じ IP アドレスに設定されています。そのため、複数台のリモートカメラを出荷状態のまま IP 接続して本機から操作しても、リモートカメラは正しく動作しません。
- リモートカメラを交換するときなど、同じ IP アドレスに設定された別のリモートカメラを接続する場合は、本機の電源を切ってから接続してください。本機の電源を切らずに接続した場合は、リモートカメラが正しく動作しないことがあります。

リンク設定について

本機では、カメラ番号 CAM1 ～ CAM200 から 1 つを選択することで、制御するリモートカメラを特定します。制御しようとするリモートカメラが IP 接続の場合、この操作を行うためには、あらかじめ、各リモートカメラに重複しないように IP アドレスを設定し、各 IP アドレスと本機の各カメラ番号とを関係付けておく必要があります。

本書では、この関係付けの設定のことを「**リンク設定**」と記載しています。

接続先 IP アドレスについて

本書では、本機が接続対象（リモートカメラ）を特定するための IP アドレスを、「**接続先 IP アドレス**」と記載しています。

リモートカメラの接続先 IP アドレスは、カメラ番号 CAM1 ～ CAM200 それぞれに対して 1 つずつ（合計 200 個）本機に設定されています。

各カメラ番号の接続先 IP アドレスは、CONNECT ボタン> [MANUAL IP SET] のメニューで確認できます。

関連するメニューと操作の概要

CONNECT ボタン> [CONNECT SETTING]

接続するリモートカメラの接続種別（シリアル/IP/接続なし等）を、カメラ番号ごとに設定します。

CONNECT ボタン> [AUTO IP SETTING]>[AUTO SET]

リモートカメラとのリンク設定を自動で行うときに操作します。（自動 IP 設定）

以下 2 つの動作モードがあります。

RENEW	リモートカメラに設定されている IP アドレスを本機が更新することにより、リンク設定します。
KEEP	リモートカメラに設定されている IP アドレスは保持したままで、本機に設定されている接続先 IP アドレスを更新することにより、リンク設定します。

CONNECT ボタン>[CAM IP SEARCH]

本機と同一ネットワークに接続されている IP アドレスを設定済みのカメラと接続するときに操作します。カメラを検索して IP アドレスやポート番号を自動取得し、それぞれに対してカメラ番号を振ることでカメラ設定を行います。

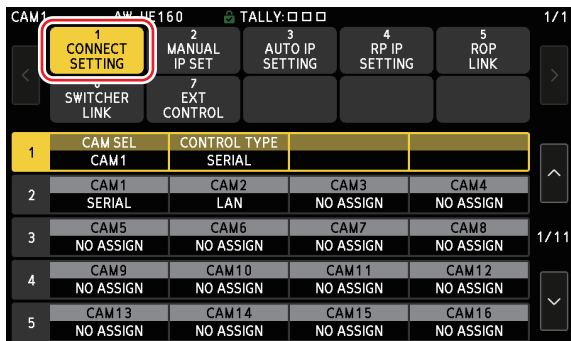
CONNECT ボタン> [MANUAL IP SET]

各カメラ番号に設定されている接続先 IP アドレスを確認するときや手動で変更するときに操作します。

リモートカメラとの接続種別 (シリアル / IP / 接続なし) を設定する

1. カメラ番号 CAM1 ～ CAM200 に対して、接続種別を設定する

CONNECT ボタン > [CONNECT SETTING] でメニュー項目を表示します。



1 行目には、カメラ番号を指定 (F1 ダイアル) して、接続種別 (F2 ダイアル) を設定することができます。

2 行目以降は、各カメラ番号ごとに接続種別を表示、設定することができます。

設定を変更すると接続種別が点滅しますので、ダイヤルを押すことで確定となります。

SERIAL : シリアル接続
LAN : IP 接続
NO ASSIGN : 接続なし

- シリアル接続用の RS-422 端子 [1] ～ [3] は、それぞれカメラ番号 CAM1 ～ CAM3 に対応しています。
CAM4 ～ CAM200 に対してシリアル接続「SERIAL」の設定はできません。

NOTE

- 「自動 IP 設定」 (42 ～ 46 ページ) を行う場合は、対象のカメラ番号を「NO ASSIGN」に設定してください。

自動で IP アドレスを設定する (自動 IP 設定)

「自動 IP 設定」を行うと、本機と同じサブネット内に接続されているリモートカメラとの間のリンク設定が自動で行われます。

以下、はじめて設定する場合 (リモートカメラが工場出荷の状態) と、すでに運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合に分けて説明します。

はじめて設定する場合

<動作の概要>

CONNECT ボタン > [AUTO IP SETTING] で、「AUTO SET」の項目を「RENEW」に設定し、「EXECUTE」で SETTING を実行することにより、リンク設定を行います。

「AUTO SET」の項目が「RENEW」のときは、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、検出した各リモートカメラを順にカメラ番号に割り当てます。

このとき、各リモートカメラの IP アドレスを、本機の各カメラ番号に対して設定されていた接続先 IP アドレスの値に書き替えます。

例：

- ① リモートカメラ A、B、C (工場出荷状態) に設定されている IP アドレス
リモートカメラ A : 192.168.0.10
リモートカメラ B : 192.168.0.10
リモートカメラ C : 192.168.0.10

- ② 本機に設定されている接続種別 (CONNECT ボタン > [CONNECT SETTING])
CAM1 : NO ASSIGN
CAM2 : NO ASSIGN
CAM3 : NO ASSIGN

- ③ 本機に設定されている接続先 IP アドレス (CONNECT ボタン > [MANUAL IP SET])
CAM1 : 192.168.0.10
CAM2 : 192.168.0.11
CAM3 : 192.168.0.12

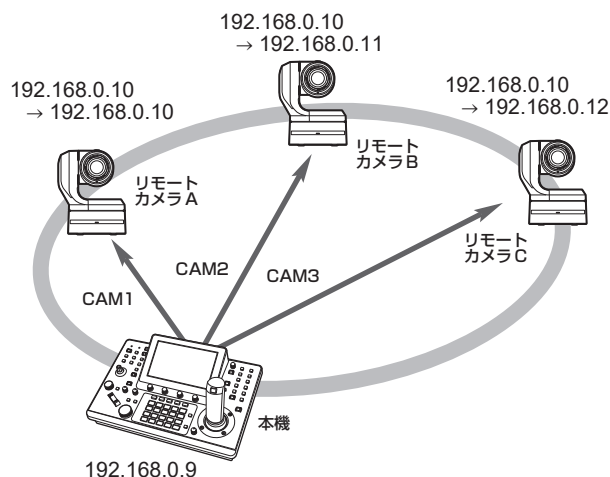
この状態で、「AUTO SET」の項目を「RENEW」に設定すると、リモートカメラ A ～ C の IP アドレスは以下の値に書き替えられ、それぞれカメラ番号 CAM1 ～ CAM3 とリンク設定されます。

リモートカメラ A : 192.168.0.10
リモートカメラ B : 192.168.0.11
リモートカメラ C : 192.168.0.12

メモ

割り当てするカメラの IP アドレスは、本機の IP アドレスの次の番号から割り当てを行います。

本機の IP アドレスの設定が 192.168.0.9 であれば、192.168.0.10 から割り当てを行います。



- 「自動IP設定」が実行されたカメラ番号は、接続種別が「LAN」になり、次に「自動IP設定」を行う際には、設定対象から除かれます。

<操作のしかた>

NOTE

- 設定する前に、リモートカメラの接続種別が「NO ASSIGN」になっていることを確認してください。

接続種別の設定

CONNECT ボタン→CONNECT SETTING→「CAM1」～「CAM200」項目

3. 「EXECUTE」を「SETTING」に設定する

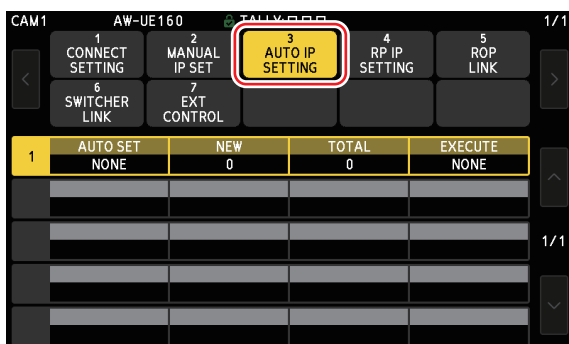
「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、「Auto IP setting...」のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、「Completed.」のメッセージが表示されます。
リモートカメラが自動でリブートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
- IPアドレスの設定に失敗した場合は、「Auto IP setting failed.」のメッセージが表示されます。
ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

1. リモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2. CONNECT ボタン> [AUTO IP SETTING] を選び、 「AUTO SET」の項目を「RENEW」に設定する



現在本機が管理している台数（新たに検出したリモートカメラの台数とすべてのリモートカメラの台数）が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。

NEW : 新しく検出されたカメラの台数

TOTAL : 現在本機が管理している台数 + 新規に検出された台数

すでに運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合

すでにIP接続で運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合も、「自動IP設定」によって設定を行うことができます。

以下2つの方法があります。

1. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する
2. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを変えずに、本機に設定されている接続先IPアドレスを自動で更新する

■ 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する

<動作の概要>

CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING]の「AUTO SET」項目で「RENEW」を実行することにより、リンク設定を行います。「RENEW」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NO ASSIGN」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、リモートカメラのIPアドレスを、本機に設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。

例：

① 3台のリモートカメラA、B、Cが、カメラ番号CAM1、CAM2、CAM3にそれぞれリンク設定され、運用されている。

② 新たに1台のリモートカメラD (IPアドレスの値は以下) を追加導入する。

リモートカメラD：192.168.0.10

③ 本機に設定されている接続種別 (CONNECTボタン>[CONNECT SETTING])

CAM1：LAN

CAM2：LAN

CAM3：LAN

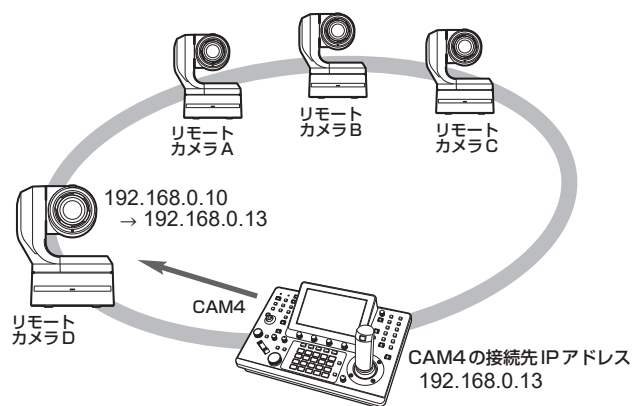
CAM4：NO ASSIGN

④ 本機に設定されている接続先IPアドレス (CONNECTボタン>[MANUAL IP SET])

CAM4：192.168.0.13

この状態で、「RENEW」を実行すると、リモートカメラDのIPアドレスは以下の値に書き替えられ、カメラ番号CAM4に対してリンク設定されます。

リモートカメラD：192.168.0.13

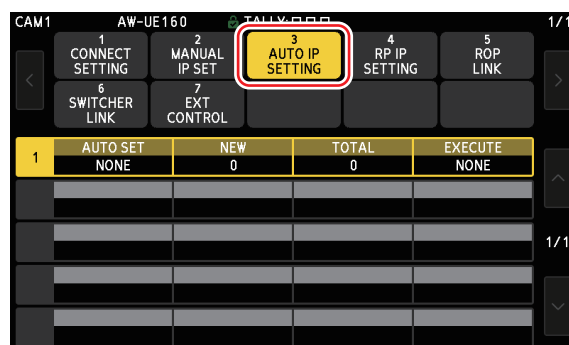


- 自動IP設定で本機とのリンクが設定されたあとに、パーソナルコンピュータなどを用いてIPアドレスを変更したリモートカメラを接続し「RENEW」を実行すると、当該リモートカメラには一度自動IP設定を実行したときと同一のIPアドレスが再度設定されます。

<操作のしかた>

1. 追加導入するリモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2. CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING]を選び、「AUTO SET」の項目を「RENEW」に設定する



現在、本機が管理している台数 (新たに検出したリモートカメラの台数とすべてのリモートカメラの台数) が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。

NEW：新しく検出されたカメラの台数

TOTAL：現在本機が管理している台数+新規に検出された台数

3. 「EXECUTE」を「SETTING」に設定する

「自動 IP 設定」を開始します。

「自動 IP 設定」を行っているときは、「Auto IP setting...」のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、「Completed.」のメッセージが表示されます。
リモートカメラが自動でリブートし、新しく設定した IP アドレスで起動します。
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
- IP アドレスの設定に失敗した場合は、「Auto IP setting failed.」のメッセージが表示されます。
ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブや LAN ケーブルの接続状態を確認し、再度「自動 IP 設定」を行ってください。

■ 追加導入する機器に設定されている IP アドレスを変えずに、本機に設定されている接続先 IP アドレスを自動で更新する

<動作の概要>

CONNECT ボタン>[AUTO IP SETTING]の「AUTO SET」項目で「KEEP」を実行することにより、リンク設定を行います。
「KEEP」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。
その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NO ASSIGN」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。
このとき、リモートカメラに設定されている IP アドレスはそのまま保持し、本機に設定されている接続先 IP アドレスを書き替えます。

例：

① 3 台のリモートカメラ A、B、C が、カメラ番号 CAM1、CAM2、CAM3 にそれぞれリンク設定され、運用されている。

② 新たに 1 台のリモートカメラ D (IP アドレスの値は以下) を追加導入する。

リモートカメラ D：192.168.0.20

③ 本機に設定されている接続種別 (CONNECT ボタン>[CONNECT SETTING])

CAM1：LAN

CAM2：LAN

CAM3：LAN

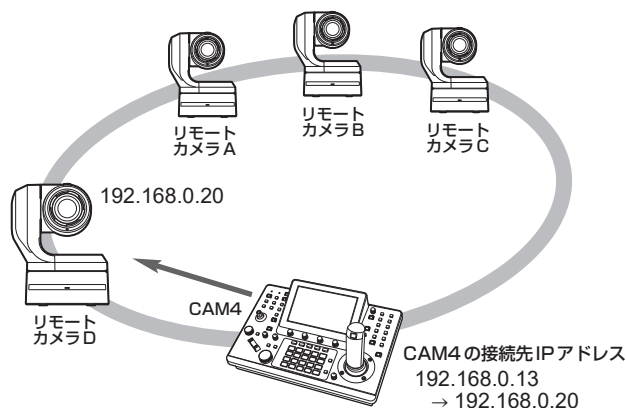
CAM4：NO ASSIGN

④ 本機に設定されている接続先 IP アドレス (CONNECT ボタン>[MANUAL IP SET])

CAM4：192.168.0.13

この状態で、「KEEP」を実行すると、リモートカメラ D の IP アドレスは変わらず、本機に設定されている接続先 IP アドレスが以下の値に書き替えられ、リモートカメラ D とリンク設定されます。

CAM4 の接続先 IP アドレス：192.168.0.20



- 接続種別が「SERIAL」以外に設定されたカメラ番号の中に、検出したリモートカメラの IP アドレスと同じ値の接続先 IP アドレスが設定されたカメラ番号が存在する場合、本機に設定されている接続先 IP アドレスは更新されません。接続先 IP アドレスはそのまま、当該カメラ番号とリモートカメラがリンク設定されます。

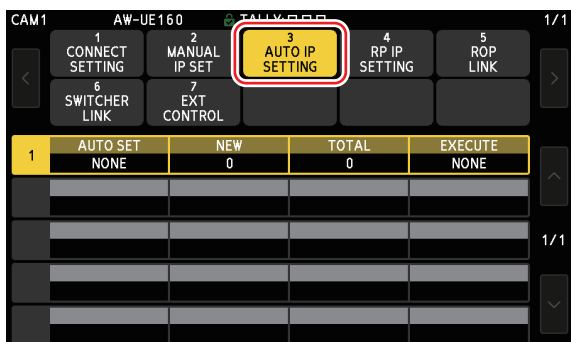
NOTE

- 本機とリモートカメラのサブネットマスクの値は同じ値を設定してください。サブネットマスクが異なると、ネットワークを使っている操作ができなくなります。

<操作のしかた>

1. 追加導入するリモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2. **CONNECT ボタン**>**[AUTO IP SETTING]** を選び、**[AUTO SET]** の項目を **"RENEW"** に設定する



現在、本機が管理している台数（新たに検出したリモートカメラの台数とすべてのリモートカメラの台数）が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。

NEW : 新しく検出されたカメラの台数

TOTAL : 現在本機が管理している台数 + 新規に検出された台数

3. **[EXECUTE]** を **"SETTING"** に設定する

「自動 IP 設定」を開始します。

「自動 IP 設定」を行っているときは、「Auto IP setting...」のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、「Completed.」のメッセージが表示されます。
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
- 運用中の機器の IP アドレスと追加導入するリモートカメラの IP アドレスが重複している場合は、「Duplicate IP address. Please change it.」のメッセージが表示されリンク設定はされません。
追加導入するリモートカメラの IP アドレスを確認し、再度「自動 IP 設定」を行ってください。
- IP アドレスの設定に失敗した場合は、「Auto IP setting failed.」のメッセージが表示されます。
ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブや LAN ケーブルの接続状態を確認し、再度「自動 IP 設定」を行ってください。

メモ

接続機器の検出について

- 「RENEW」や「KEEP」により、検出した機器の台数が登録可能な数（リモートカメラ：200 台）を超えた場合は、「Detected cameras exceed system limit.」を表示します。
この状態でも自動 IP 設定を行うことができますが、登録可能な台数分しか IP アドレスを設定しません。
- 複数のリモートカメラが同時に起動されたときなど、本機側ですべてのリモートカメラを検出できないことがあります。
この場合、「EXECUTE」項目で「RETRY」を実行してください。
- リモートカメラの電源が入っていなかった等の原因で、新たに検出した台数の表示が実際に設定する台数に足りなかった場合は、原因を取り除いたあと、「EXECUTE」項目で「RETRY」を実行してください。

NOTE

- 他のリモートカメラコントローラーを追加する場合は、同じネットワーク内で IP アドレスが重複しないように設定した上で接続してください。
- 「自動 IP 設定」は、同じネットワーク内で自動 IP 設定対象外の機器（リモートカメラ以外の機器）が動作していない状態で実行してください。これらの機器は、自動 IP 設定を実行したあと、同じネットワーク内で IP アドレスが重複していないことを確認した上で接続してください。

接続可能なカメラのIPアドレス等を自動取得しカメラ番号を設定する

IPアドレスを設定済みのカメラと接続する際に、カメラを検索してIPアドレスやポート番号を自動取得し、それぞれに対してカメラ番号を振ることでカメラ設定を行います。

<操作のしかた>

1. リモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続します。
2. CONNECT ボタン>[CAM IP SEARCH] で、[CAM SEARCH] の項目を "YES" に設定しカメラの検索を行います。検出したカメラの台数が [DETECTED UNITS] に表示されます。

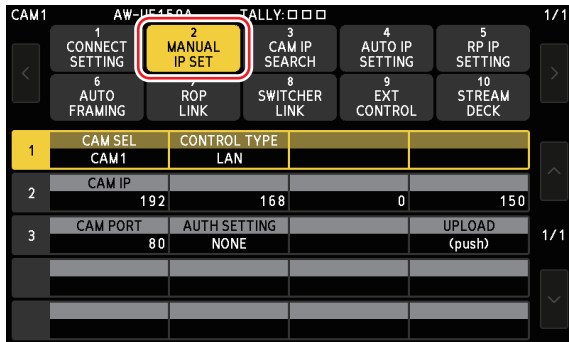
1	CAM SEARCH	DETECTED UNITS	UPLOAD
1	NO	3	(push)
2	NUM SELECT	CAM SEL	CONTROL TYPE
1	1	CAM1	LAN
3	CAM IP	DHCP	
	192.168.0.150	OFF	
4	CAM TITLE	MODEL	
	AW-UE150A	AW-UE150A	
5	MAC ADDRESS		
	00-80-45-2F-36-BF		

3. [NUM SELECT] の項目を選択してダイヤルを回すと検出したカメラの情報が順番に表示されます。[CAM IP]、[DHCP]、[CAM TITLE]、[MODEL]、[MAC ADDRESS] の項目にそれぞれ情報が表示されます。
4. [CAM SEL] の項目から任意のカメラ番号に設定することができます。[CONTROL TYPE] に該当の番号の接続設定が表示されますので "LAN" に設定してください。
5. [AUTH SETTING] にはカメラのID/パスワードが設定済みかどうかが表示されます。画面をタッチすることでキーボードが開きますので、未設定の場合は設定してください。
6. UPLOAD を実行することで手順 4 ～ 5 の設定が保存されます。

接続先 IP アドレス (リモートカメラ) とポート番号を手動で設定する

「自動 IP 設定」で IP アドレスを設定することができないリモートカメラを接続 (ルーターを経由して接続) する場合や、本機とリモートカメラのリンク設定を手動で行う場合に操作します。

1. CONNECT ボタン > [MANUAL IP SET] を選び、[CAM SEL] の項目を設定変更したいカメラ番号にする



NOTE

- 選択したカメラ番号の接続種別の変更も可能です。
[CONTROL TYPE] を設定してください。詳細は、「リモートカメラとの接続種別 (シリアル/IP/ 接続なし) を設定する」(42 ページ) を参照してください。

2. IP アドレス (リモートカメラ) とポート番号を設定する

2 行目以降に該当のカメラ番号の現状の IP アドレス、ポート番号が表示されます。

「CAM IP」で、接続先の IP アドレスを設定します。

4 つのオクテットに分けて、F1 ~ F4 のダイヤルで設定します。

「CAM PORT」で接続先のポート番号を設定します。

設定後は、「UPLOAD」を行ってください。「UPLOAD」を行わないと設定した IP アドレスやポート番号の設定が反映されません。

CONNECT ボタン > [CONNECT SETTING] で接続種別が「NO ASSIGN」、[SERIAL] に設定されているカメラ番号に対しても設定することができます。

- 工場出荷の状態では、以下の値に設定されています。

CAM1 : 192.168.0.10

↓

CAM200 : 192.168.0.209

- 接続先 IP アドレスを変更すると、他の項目で設定している IP アドレスとの重複チェックを行います。
IP アドレスが重複している場合は、「Duplicate IP address. Please change it.」のメッセージが表示されます。

■ 設定可能なポート番号について

1 ~ 65535 の範囲の値を設定することができます。

NOTE

- この操作で、リモートカメラに設定されている IP アドレスが変更されるわけではありません。

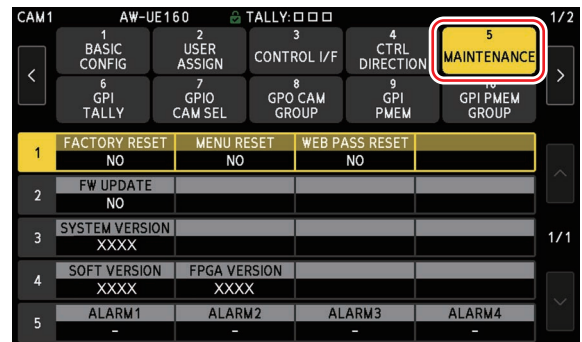
3. カメラでユーザー認証を設定している場合、[AUTH SETTING] で接続先カメラのユーザー ID とパスワードを設定する

[AUTH SETTING] をタッチすることでソフトウェアキーボードが起動します。

本機に設定されている接続先 IP アドレスを初期化する

本機に設定されている接続種別、接続先 IP アドレスを初期化します。

1. RP MENU ボタン > [MAINTENANCE] を選び、[FACTORY RESET] を選択する



2. YES を選択し、初期化を実行する

リモートカメラとの接続設定が初期化されます。

メモ

- 接続種別も初期化されます。
- 本機に管理している接続先 IP アドレス以外の設定もすべて工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

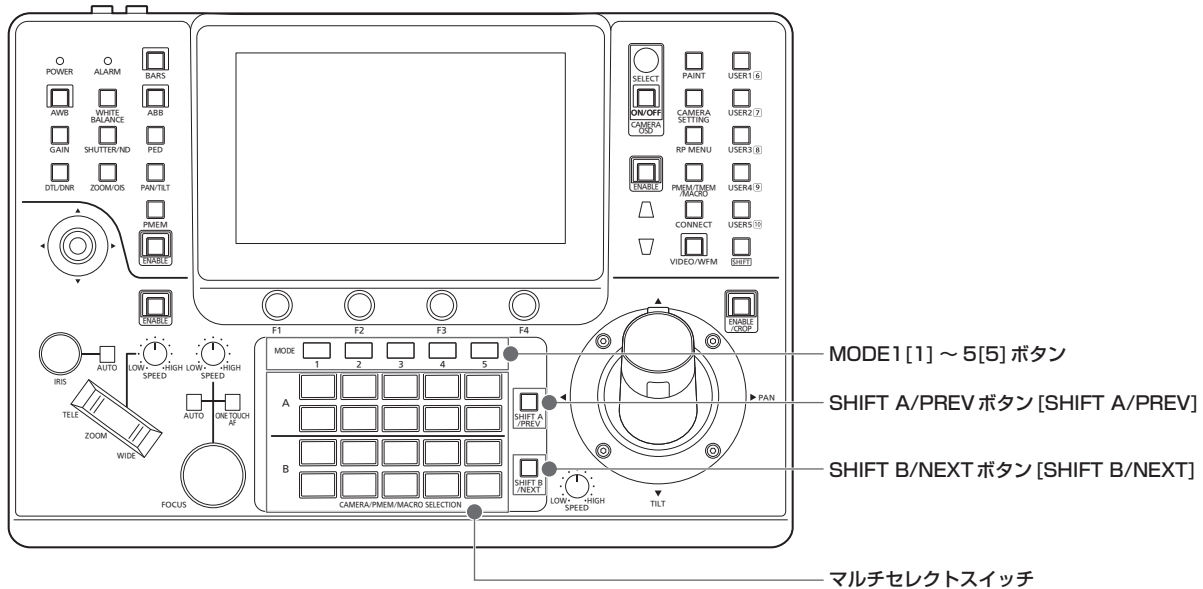
オペレーションモード

本機では利用シーンに応じて複数のオペレーションモードを用意しています。

オペレーションモードにより、マルチセレクトスイッチで制御できる内容が異なります。運用に応じて適宜最適なモードを選択してください。

オペレーションモードは、MODE1[1]～MODE5[5]ボタンで切り替え可能です。(選択中のオペレーションモードはMODEボタンがアンバーに点灯します)

- オペレーションモード1：カメラ20台選択
- オペレーションモード2：プリセットメモリー 20個制御
- オペレーションモード3：カメラ10台選択+プリセットメモリー 10個制御
- オペレーションモード4：マクロ20個制御
- オペレーションモード5：カメラ10台選択+マクロ10個制御



カメラ選択について

本機では、カメラ番号CAM1～CAM200それぞれに対して接続設定を行うことで、最大200台のリモートカメラを制御対象として登録することができます。この中から制御するリモートカメラを選択するためには、該当するリモートカメラが属するカメラグループをあらかじめ選択しておく必要があります。

カメラグループ	G1	G2	G3	G4	G5
カメラ番号	C1～C10	C11～C20	C21～C30	C31～C40	C41～C50
カメラグループ	G6	G7	G8	G9	G10
カメラ番号	C51～C60	C61～C70	C71～C80	C81～C90	C91～C100
カメラグループ	G11	G12	G13	G14	G15
カメラ番号	C101～C110	C111～C120	C121～C130	C131～C140	C141～C150
カメラグループ	G16	G17	G18	G19	G20
カメラ番号	C151～C160	C161～C170	C171～C180	C181～C190	C191～C200

オペレーションモード1または3または5を選択しているとき、マルチセレクトスイッチで、制御するリモートカメラを選択することができます。該当するマルチセレクトスイッチを押すと、押したスイッチがアンバーに点灯し、リモートカメラが選択されます。また、各スイッチの点灯状態により、マルチセレクトスイッチに割り当てられたリモートカメラの状態が分かります。

スイッチの点灯状態	リモートカメラの状態
	未接続状態
	接続中のリモートカメラがスタンバイ状態
	接続中のリモートカメラを非選択状態
	接続中のリモートカメラを選択状態（選択状態のときに、R TALLY・G TALLY・Y TALLYが重なった場合はスイッチ周囲が該当の色で囲まれる）
	R TALLY ON（接続中のリモートカメラ非選択状態）
	G TALLY ON（接続中のリモートカメラ非選択状態）
	Y TALLY ON（接続中のリモートカメラ非選択状態）

NOTE

- CONNECT ボタン> [CONNECT SETTING] で接続種別が [NO ASSIGN] に設定されているカメラは選択できません。
- R/G/Y TALLY が重なった場合は、リモートカメラ本体のLEDが点灯している色のみ表示されます。（選択中のカメラのタリー状態はメインLCDでのステータス画面ではすべて表示されます）

プリセットメモリー制御について

本機から、リモートカメラのプリセットメモリーをカメラ1台当たり最大100個操作することができます。プリセットメモリーには、事前に調整しておいた下記設定を登録することができます。

- パン/チルト位置
- ズーム位置
- フォーカス位置
- アイリス位置
- ゲイン
- ホワイトバランス

NOTE

- プリセットメモリーを登録できる数は、リモートカメラによって異なります。詳しくは、該当機種の取扱説明書を確認してください。

オペレーションモード(つづき)

登録済みのリモートカメラのプリセットメモリーを選択するためには、該当するプリセットメモリーが属する

- プリセットメモリーページ (オペレーションモード2のとき)
- プリセットメモリーグループ (オペレーションモード3のとき)

のいずれかをあらかじめ選択しておく必要があります。

プリセットメモリーページ	1	2	3	4	5
プリセットメモリー番号	P1 ~ P20	P21 ~ P40	P41 ~ P60	P61 ~ P80	P81 ~ P100

プリセットメモリーグループ	G1	G2	G3	G4	G5
プリセットメモリー番号	P1 ~ P10	P11 ~ P20	P21 ~ P30	P31 ~ P40	P41 ~ P50
プリセットメモリーグループ	G6	G7	G8	G9	G10
プリセットメモリー番号	P51 ~ P60	P61 ~ P70	P71 ~ P80	P81 ~ P90	P91 ~ P100

オペレーションモード2または3を選択しているとき、マルチセレクトスイッチで、制御するプリセットメモリー番号を選択することができます。該当するマルチセレクトスイッチを押すと、押したスイッチが黄色に点灯し、プリセットメモリーが実行されます。また、各スイッチの点灯状態により、マルチセレクトスイッチに割り当てられたプリセットメモリーの状態が分かります。

スイッチの点灯状態	プリセットメモリーの状態
	未登録状態
	登録済みだが非選択状態
	選択・再生状態 (プリセットメモリー再生完了後も、他のプリセットメモリーを選択しない限り、本状態のままとなります)

プリセットメモリーの登録・削除については、カメラ単独での操作以外に、本機でも下記の操作を行うことで対応しています。

● 登録方法

- ショートカットボタンの [PMEM] ボタンを押して、ファンクションバーに [OPERATION MODE] を表示させる
- ファンクションダイヤルを用いて、[STORE] を選択
- カメラをプリセットメモリーとして登録したい状態に操作し、プリセットメモリーが割り当てられているマルチセレクトスイッチを選択
- 該当のプリセットメモリー番号に登録される

● 削除方法

- ショートカットボタンの [PMEM] ボタンを押して、ファンクションバーに [OPERATION MODE] を表示させる
- ファンクションダイヤルを用いて、[DELETE] を選択
- 削除したいプリセットメモリーが割り当てられているマルチセレクトスイッチを選択
- 該当のプリセットメモリー番号が削除される (未登録状態に戻る)

NOTE

- ショートカットボタンの使用方法については「ショートカットボタン」(66ページ)を参照してください。
- [OPERATION MODE] での選択内容 ([STORE]/[DELETE]/[RECALL]) は [PMEM] ボタン選択中のみ有効です。[PMEM] ボタン非選択時での、プリセットメモリーが割り当てられているマルチセレクトスイッチは常に [RECALL] として動作します。
- ショートカットボタンの [PMEM] ボタン以外にも、ファンクションバーに [PMEM OP MODE] を割り当てることで、同様の登録・削除方法を実現できます。詳細は、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。
- すでに登録済みのプリセットメモリーに誤って上書き登録しないようにあらかじめ上書き禁止モードにすることも可能です。詳細は、PMEM/TMEM/MACRO ボタン>[PMEM SETTING]>[STORE MODE]を参照してください。

マクロ制御について

本機に登録されているマクロを最大100個操作することができます。マクロ機能については、「マクロ機能について」(33ページ)を参照してください。

登録済みのマクロを選択するためには、該当するマクロが属する

- マクロページ(オペレーションモード4のとき)
- マクログループ(オペレーションモード5のとき)

のいずれかをあらかじめ選択しておく必要があります。

マクロページ	1	2	3	4	5
マクロ番号	M1 ~ M20	M21 ~ M40	M41 ~ M60	M61 ~ M80	M81 ~ M100

マクログループ	G1	G2	G3	G4	G5
マクロ番号	M1 ~ M10	M11 ~ M20	M21 ~ M30	M31 ~ M40	M41 ~ M50
マクログループ	G6	G7	G8	G9	G10
マクロ番号	M51 ~ M60	M61 ~ M70	M71 ~ M80	M81 ~ M90	M91 ~ M100

オペレーションモード4または5を選択しているとき、マルチセレクトスイッチで、制御するマクロ番号を選択することができます。

該当するマルチセレクトスイッチを押すと、押したスイッチが黄色に点灯し、マクロが実行されます。実行中にもう一度同じスイッチを押した場合はマクロの実行がキャンセルされます。

また、各スイッチの点灯状態により、マルチセレクトスイッチに割り当てられたマクロの状態が分かります。

スイッチの点灯状態	マクロの状態
	未登録状態
	登録済みだが非選択状態
	選択・再生状態(マクロ再生完了後、「登録済みだが非選択状態」に戻ります)

マクロの登録方法については、Web設定画面[Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit]を参照してください。

オペレーションモード 1

本機に接続しているカメラのうち、最大20台のカメラの選択ができるモードです。

■ カメラ選択実施まで

1. 最初にMODE1[1] ボタンを選択してください。

2. 制御したいカメラグループを選択します。

[A]・[B]それぞれ制御したいカメラグループを設定できます。

- [A]のグループを変更したい場合は、[SHIFT A/PREV] ボタン

- [B]のグループを変更したい場合は、[SHIFT B/NEXT] ボタン

を押下してください。

押下中は[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION]の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

3. G1～G20 ボタンから所望のカメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。

押下中の[SHIFT A/PREV] ボタンまたは[SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION]の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンに切り替わり、2.で押下した側の[A]または[B]に表示されるカメラグループが切り替わります。

4. 制御したいカメラのボタンを押すと、カメラが選択されます。

NOTE

- 現在カメラ選択していない面のカメラグループをあらかじめ次に制御したいカメラグループに切り替えておくことで、カメラグループをまたいだカメラ選択であってもスムーズに移行できます。
- 「カメラグループ選択」ボタン表示中でもそれ以前に選択したカメラを操作可能です。

例：

最初に[A] = C1～C10 (G1)、[B] = C11～C20 (G2) が設定されており (図1)、[B]側をC21～C30 (G3) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION]の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

2. G3カメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。(図2)

押下中の[SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION]の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンに切り替わり、[B]に表示されるカメラがC21～C30 (G3) に切り替わります。(図3)

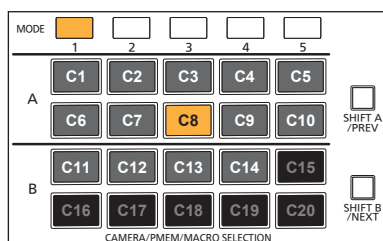


図 1

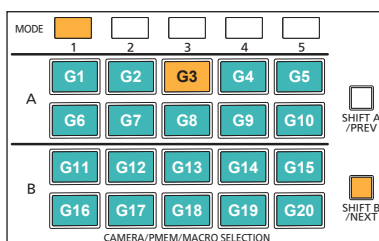


図 2

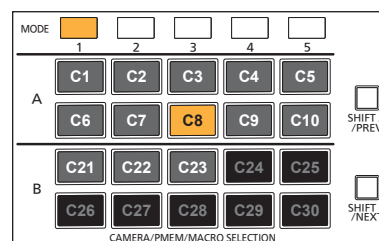


図 3

オペレーションモード2

選択中のカメラにおいて、最大20個のプリセットメモリの制御ができるモードです。
カメラ選択については、オペレーションモード1、3、5またはメインLCD上で設定してください。

NOTE

- メインLCD上でのカメラ選択については、「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリ制御・マクロ制御」(60ページ)を参照してください。

■ プリセットメモリ制御実施まで

- 最初にMODE2[2] ボタンを選択してください。
- 制御したいプリセットメモリページを選択します。
 - 前のページに戻りたい場合は、[SHIFT A/PREV] ボタン
 - 次のページに進みたい場合は、[SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。
- 制御したいプリセットメモリのボタンを押すと、プリセットメモリが実行されます。

例：

最初にP1～P20（ページ1）が設定されており（図1）、P21～P40（ページ2）に切り替えようとした場合

- [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。（図2）
- 手を離したときにプリセットメモリページが確定し、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンはP21～P40に切り替わります。（図3）

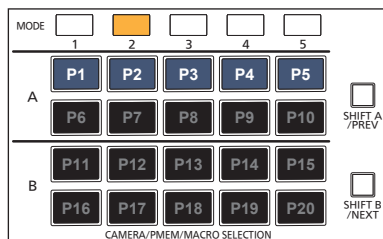


図 1

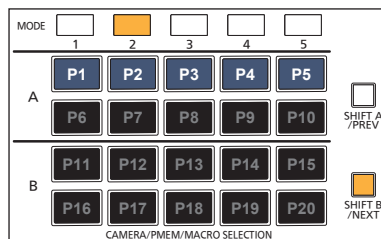


図 2

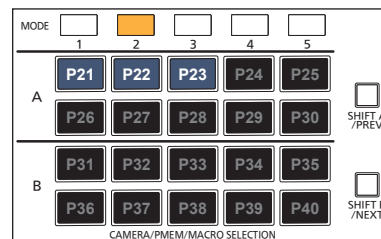


図 3

オペレーションモード3

本機に接続しているカメラのうち、最大10台のカメラの選択ができ、プリセットメモリーも最大10個制御ができるモードです。

■ カメラ選択とプリセットメモリー制御実施まで

1. 最初にMODE3[3] ボタンを選択してください。

[A]：カメラ選択

[B]：プリセットメモリー制御

となります。

2. 制御したいカメラグループを選択します。

[SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

3. G1 ～ G20 ボタンから所望のカメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わります。

4. 制御したいプリセットメモリーグループを選択します。

[SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の[B]の10個のボタンは「プリセットメモリーグループ選択」ボタンに切り替わります。

5. G1 ～ G10 ボタンから所望のプリセットメモリーグループを選択し、手を離したときにプリセットメモリーグループが確定します。

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の[B]の10個のボタンは「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わります。

6. [A] で制御したいカメラのボタンを押すと、カメラが選択され、その選択したカメラに対して [B] で選択したプリセットメモリーを実行できます。

例：

最初にカメラ選択:C1～C10 (G1)、プリセットメモリー制御:P1～P10 (G1) が設定されており (図1)、カメラ選択をC11～C20 (G2)、プリセットメモリー制御をP11～P20 (G2) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

2. G2 カメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。(図2)

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わり、[A] に表示されるカメラがC11～C20 (G2) に切り替わります。(図3)

3. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の[B] の10個のボタンは「プリセットメモリーグループ選択」ボタンに切り替わります。

4. G2 プリセットメモリーグループを選択し、手を離したときにプリセットメモリーグループが確定します。(図4)

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の[B] の10個のボタンは「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わり、[B] に表示されるプリセットメモリーがP11～P20 (G2) に切り替わります。(図5)

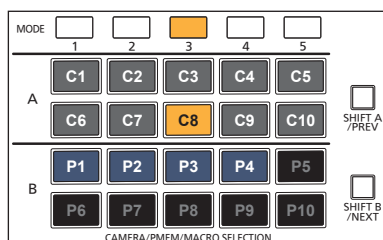


図 1

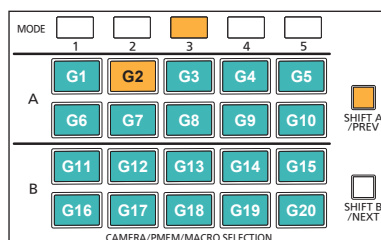


図 2

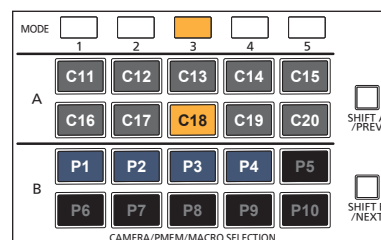


図 3

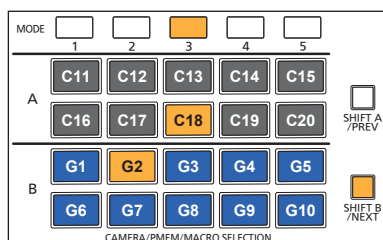


図 4

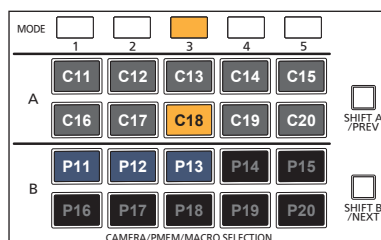


図 5

オペレーションモード4

最大 20 個のマクロの制御ができるモードです。

カメラ選択については、オペレーションモード 1、3、5 またはメイン LCD 上で設定してください。

NOTE

- メイン LCD 上でのカメラ選択については、「メイン LCD 上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(60 ページ) を参照してください。

■ マクロ制御実施まで

1. 最初に MODE4[4] ボタンを選択してください。

2. 制御したいマクロページを選択します。

- 前のページに戻りたい場合は、[SHIFT A/PREV] ボタン
- 次のページに進みたい場合は、[SHIFT B/NEXT] ボタン
を押下してください。

3. 制御したいマクロのボタンを押すと、マクロが実行されます。

例：

最初に M1 ～ M20 (ページ 1) が設定されており (図 1)、M21 ～ M40 (ページ 2) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。(図 2)

2. 手を離したときにマクロページが確定し、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の 20 個のボタンは M21 ～ M40 に切り替わります。(図 3)

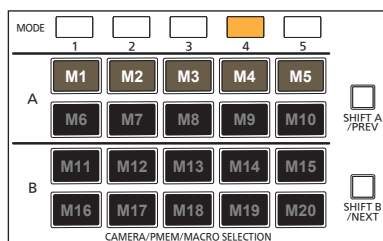


図 1

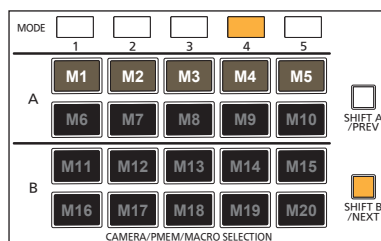


図 2

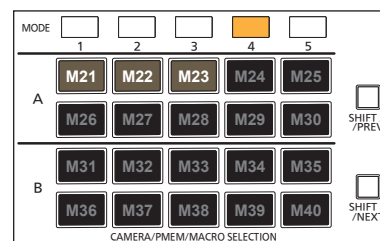


図 3

オペレーションモード5

本機に接続しているカメラのうち、最大10台のカメラの選択ができ、マクロも最大10個制御ができるモードです。

■ カメラ選択とマクロ制御実施まで

1. 最初にMODE5[5] ボタンを選択してください。

[A]：カメラ選択

[B]：マクロ制御

となります。

2. 制御したいカメラグループを選択します。

[SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

3. G1 ～ G20 ボタンから所望のカメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「マクロ制御」ボタンに切り替わります。

4. 制御したいマクログループを選択します。

[SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の10個のボタンは「マクログループ選択」ボタンに切り替わります。

5. G1 ～ G10 ボタンから所望のマクログループを選択し、手を離したときにマクログループが確定します。

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の10個のボタンは「マクロ制御」ボタンに切り替わります。

6. [A] で制御したいカメラのボタンを押すと、カメラが選択されます。また、[B] で選択したマクロを実行できます。

例：

最初にカメラ選択：C1 ～ C10 (G1)、マクロ制御：M1 ～ M10 (G1) が設定されており (図 1)、カメラ選択を C11 ～ C20 (G2)、マクロ制御を M11 ～ M20 (G2) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の 20 個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

2. G2 カメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。(図 2)

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の 20 個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「マクロ制御」ボタンに切り替わり、[A] に表示されるカメラが C11 ～ C20 (G2) に切り替わります。(図 3)

3. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の 10 個のボタンは「マクログループ選択」ボタンに切り替わります。

4. G2 マクログループを選択し、手を離したときにマクログループが確定します。(図 4)

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の 10 個のボタンは「マクロ制御」ボタンに切り替わり、[B] に表示されるマクロが M11 ～ M20 (G2) に切り替わります。(図 5)

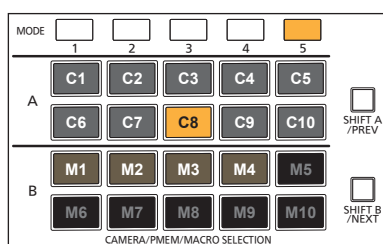


図 1

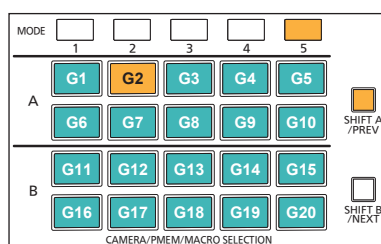


図 2

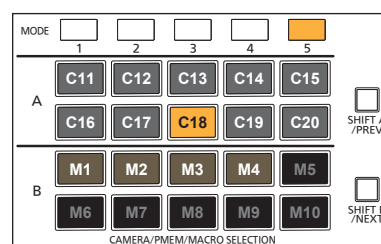


図 3

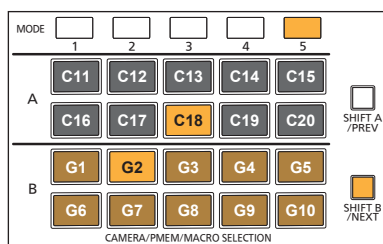


図 4

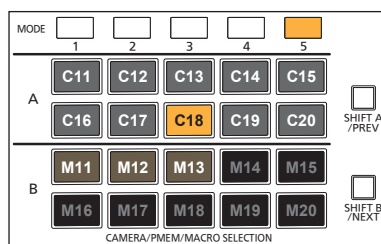
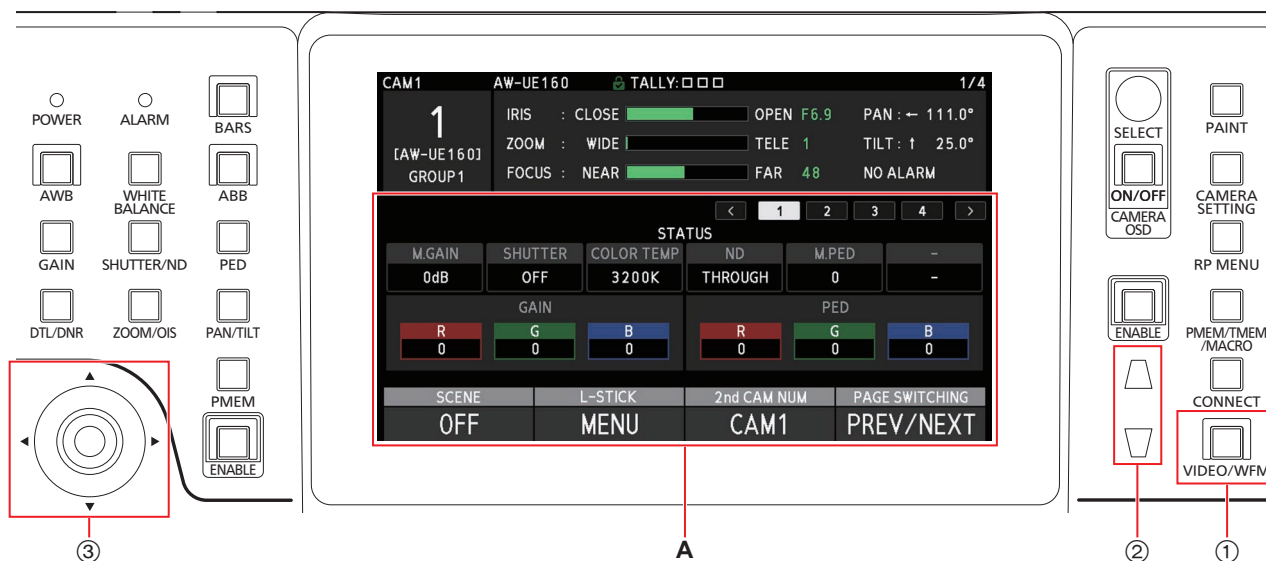


図 5

メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御

本機では、各オペレーションモードによる、マルチセレクトスイッチでのカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御以外にもメインLCD上でのカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御もサポートしています。

[VIDEO/WFM] ボタンがOFFのときに、上下ボタンを操作、またはL-ジョイスティック（メニュー操作を割り当てている場合）を上下方向に操作することで、Aの部分の画面をカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御に切り替え可能です。



A : カメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御表示部分

① VIDEO/WFM ボタン[VIDEO/WFM]

② 上下ボタン

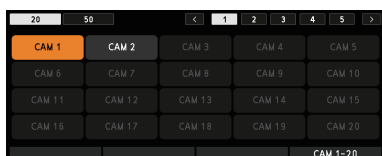
③ L-ジョイスティック

NOTE

- L-ジョイスティックにメニュー操作を割り当てる方法は「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）を参照してください。

■ Aの部分の画面遷移

● カメラ選択



● プリセットメモリー制御



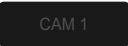
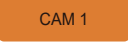
● マクロ制御



カメラ選択

メインLCD (①の部分) をタッチすることで、カメラ選択 (CAM1 ~ CAM200) が可能です。
表示形式は 20/50 表示切替ボタン (②) の切り替えで一度に表示するカメラを 20 台と 50 台で切り替え可能です。
他のページに移動したい場合は、ページボタン (③) をタッチまたは F4 ダイアル (④) を回してください。

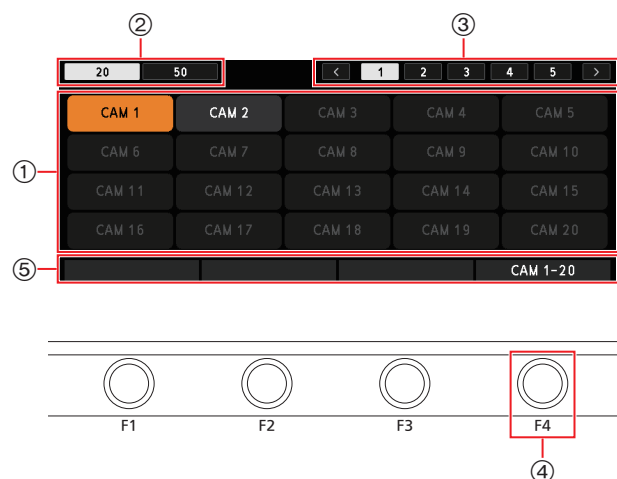
また、各スイッチの点灯状態により、カメラ選択の状態が分かります。

スイッチの点灯状態	カメラ選択の状態
	カメラとの接続設定が NO ASSIGN の状態
	カメラとの接続設定が NO ASSIGN 以外の状態
	選択状態

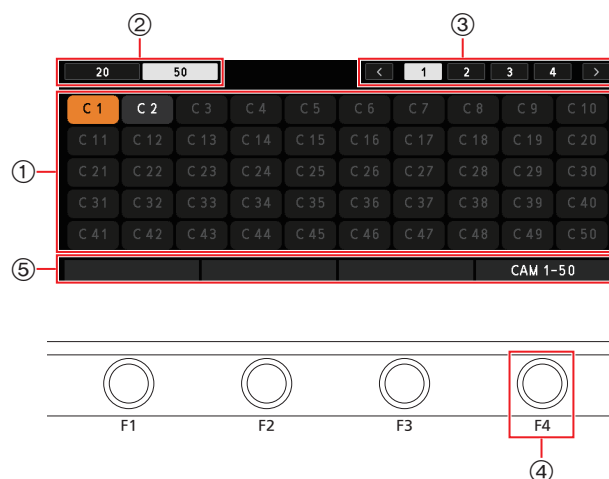
NOTE

- カメラとの接続設定の詳細については、CONNECT ボタン>[CONNECT SETTING]>[CONTROL TYPE] を参照してください。

● 20 台表示



● 50 台表示



- ① カメラ選択ボタン
- ② 20/50 表示切替ボタン
- ③ ページボタン
- ④ F4 ダイアル
- ⑤ カメラ選択ファンクションバー

■ カメラ選択ファンクションバーの説明

項目	設定値	設定内容
表示しているカメラ番号	CAM[表示の最小番号] -[表示の最大番号]	カメラ選択ボタンのページを遷移します。(現在①の部分に表示されているカメラ番号が表示されます)

NOTE

- オペレーションモード2・4と同時に使用することで、カメラ選択とプリセットメモリー制御・マクロ制御の操作性を拡張できます。
- 本機と接続されているカメラグループ(オペレーションモード1で選択されているカメラグループ2つ)以外を選択した場合は、カメラを操作できるまでに少し時間がかかる可能性があります。
- オペレーションモード1・3・5で、メインLCD上でカメラ選択をした場合、マルチセレクトスイッチの選択中のカメラがある面([A]または[B])はメインLCD上で選択したカメラグループに切り替わります。(例えば、メインLCDでのカメラ選択前に、オペレーションモード1で[A]カメラグループ1・[B]カメラグループ2が表示され、CAM2が選択されていた場合、そのあとにメインLCDでCAM25(カメラグループ3)を選択すると、[A]がカメラグループ1から3に変更されます)
- オペレーションモードに関する詳細は、「オペレーションモード」(49ページ)を参照してください。
- カメラ選択ファンクションバーは通常のファンクションバーと異なり、表示される項目は固定になります。

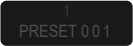
プリセットメモリー制御

メインLCD (①の部分) をタッチすることで、プリセットメモリー制御 (最大 100 個) が可能です。

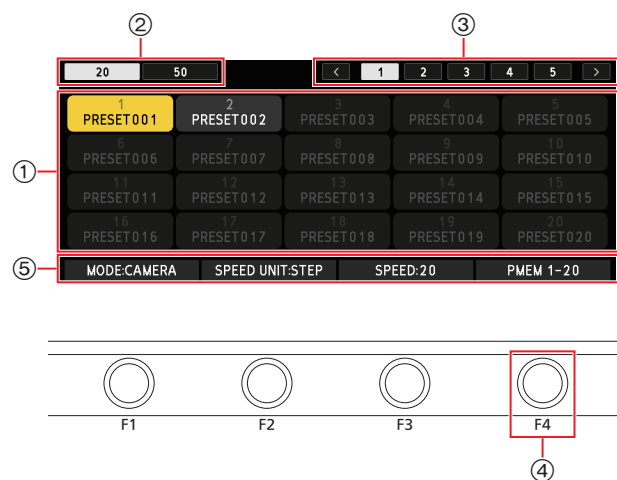
表示形式は 20/50 表示切替ボタン (②) の切り替えで一度に表示するプリセットメモリーを 20 個と 50 個で切り替え可能です。

他のページに移動したい場合は、ページボタン (③) をタッチまたは F4 ダイアル (④) を回してください。

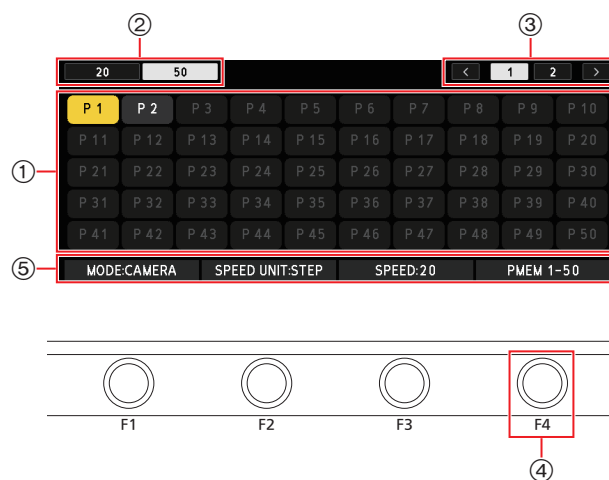
また、各スイッチの点灯状態により、プリセットメモリーの状態が分かります。

スイッチの点灯状態	プリセットメモリーの状態
	未登録状態
	登録済みだが非選択状態
	選択・再生状態 (プリセットメモリー再生完了後も、他のプリセットメモリーを選択しない限り、本状態のままとなります)

● 20 個表示



● 50 個表示



- ① プリセットメモリー制御ボタン
- ② 20/50 表示切替ボタン
- ③ ページボタン
- ④ F4 ダイアル
- ⑤ プリセットメモリー制御ファンクションバー

■ プリセットメモリー制御ファンクションバーの説明

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MODE	CAMERA RP	プリセットメモリーを再生するためのプリセットメモリースピードの再生モードを設定します。 CAMERA ：プリセットメモリー再生時に、リモートカメラに設定されているプリセットメモリースピードで再生されます。 RP ：本機でプリセットメモリー登録時に登録されたプリセットメモリースピードで再生されます。
SPEED UNIT	STEP TIME	プリセットメモリーを再生するスピードのモードを表示します。([MODE]で[CAMERA]を選択時のみ有効です) STEP ：プリセットメモリー位置まで指定されたスピードで移動します。 TIME ：プリセットメモリー位置まで指定された時間で移動します。
SPEED	—	プリセットメモリー位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 [SPEED UNIT]が[STEP]のときには、プリセットメモリー位置までの移動速度を表示します。 [TIME]のときには、プリセットメモリー位置までの移動時間を表示します。
表示しているプリセットメモリー番号	PMEM[表示の最小番号]-[表示の最大番号]	プリセットメモリー制御ボタンのページを遷移します。(現在①の部分に表示されているプリセットメモリー番号が表示されます)

NOTE

- オペレーションモード1・3・5と同時に使用することで、カメラ選択とプリセットメモリー制御・マクロ制御の操作性を拡張できます。
- オペレーションモードに関する詳細は、「オペレーションモード」(49ページ)を参照してください。
- プリセットメモリー制御ファンクションバーは通常のファンクションバーと異なり、表示される項目は固定になります。
- 本画面では、プリセットメモリーの登録・削除も行うことができます。(詳細は「PMEM/TMEM/MACRO」(108ページ)を参照してください)
 - ・プリセットメモリーの登録：F1ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする
 - ・プリセットメモリーの削除：F4ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする

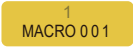
マクロ制御

メインLCD (①の部分) をタッチすることで、マクロ制御 (最大 100 個) が可能です。

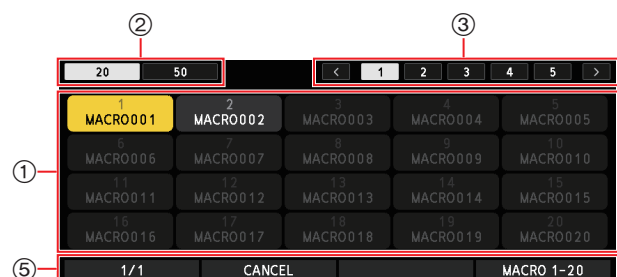
表示形式は 20/50 表示切替ボタン (②) の切り替えで一度に表示するマクロを 20 個と 50 個で切り替え可能です。

他のページに移動したい場合は、ページボタン (③) をタッチまたは F4 ダイアル (④) を回してください。

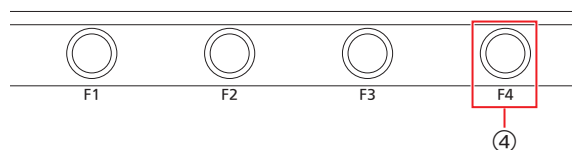
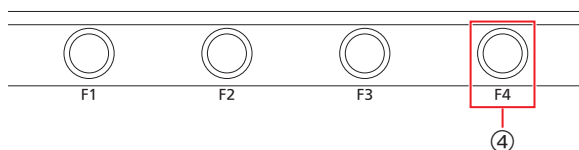
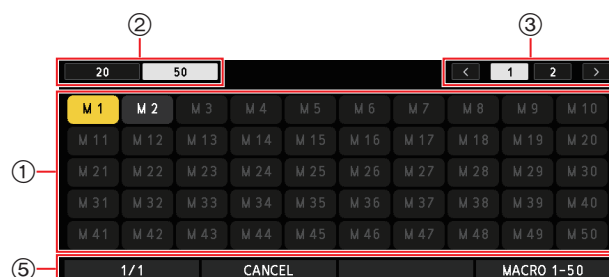
また、各スイッチの点灯状態により、マクロの状態が分かります。

スイッチの点灯状態	マクロの状態
	未登録状態
	登録済みだが非選択状態
	選択・再生状態 (マクロ完了後は「登録済みだが非選択状態」に戻る)

● 20 個表示



● 50 個表示



- ① マクロ制御ボタン
- ② 20/50 表示切替ボタン
- ③ ページボタン
- ④ F4 ダイアル
- ⑤ マクロ制御ファンクションバー

■ マクロ制御ファンクションバーの説明

項目	設定値	設定内容
マクロの再生進捗	—	現在再生しているマクロの実行ステップ数 / 総ステップ数 (進捗) を表示します。
CANCEL	—	現在実行中のマクロを強制的に終了します。
表示しているマクロ番号	MACRO[表示の最小番号]-[表示の最大番号]	マクロ制御ボタンのページを遷移します。(現在①の部分に表示されているマクロ番号が表示されます)

NOTE

- オペレーションモード 1・3・5 と同時に使用することで、カメラ選択とプリセットメモリー制御・マクロ制御の操作性を拡張できます。
- オペレーションモードに関する詳細は、「オペレーションモード」(49 ページ) を参照してください。
- マクロ制御ファンクションバーは通常ファンクションバーと異なり、表示される項目は固定になります。

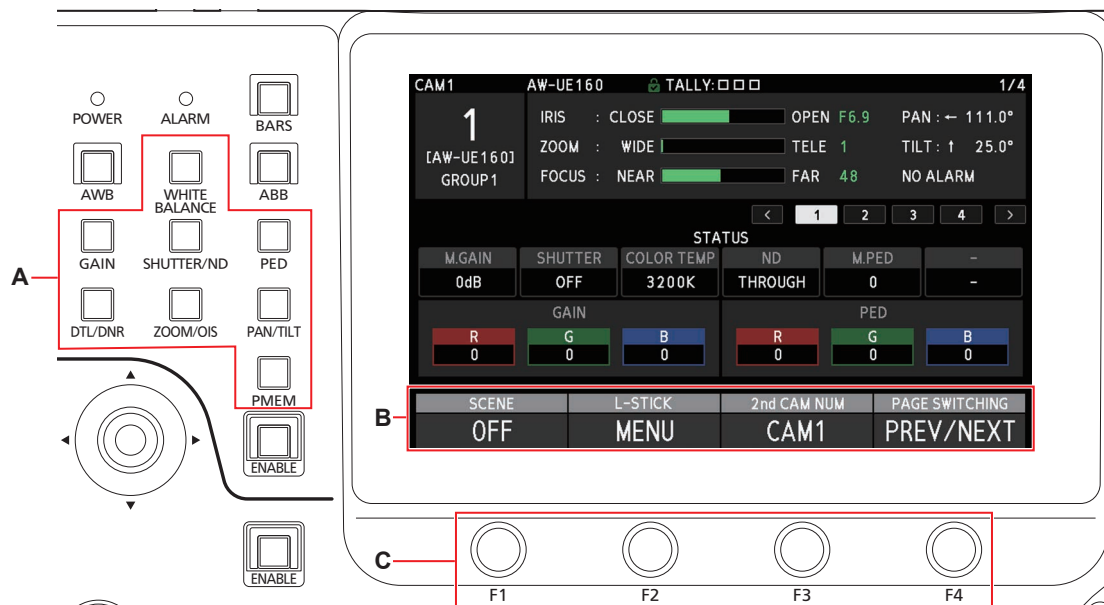
ショートカットボタン

本機では、ステータス画面を見ながらワンブッシュですぐに必要な機能が呼び出せるよう、ショートカットキー機能を搭載しています。

Aの部分のスイッチを押すことで（選択中はアンバー色になります）、ファンクションバー（B）に表示される項目が切り替わり、ファンクションダイヤル（C）でメニュー操作を行います。

もう一度選択中のスイッチを押すことで、デフォルトのファンクションバーの状態に戻ります。

デフォルトのファンクションバーの項目を変更したい場合は、「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）をご確認ください。



ショートカットボタン	ファンクションバー表示項目	設定内容
WHITE BALANCE	W. BAL MODE	選択されたカメラのホワイトバランスのモードを設定します。
	COLOR TEMP	[W. BAL MODE]の設定に応じて、選択されたカメラの色温度を設定または表示します。
GAIN	MASTER GAIN	選択されたカメラのマスターゲインを設定します。
	R GAIN	選択されたカメラのRゲインを設定します。
	G GAIN	選択されたカメラのGゲインを設定します。
	B GAIN	選択されたカメラのBゲインを設定します。
SHUTTER/ND	SHUTTER SW	選択されたカメラのシャッター機能のON/OFFを設定します。
	SHUTTER MODE	選択されたカメラのシャッターのモードを設定します。
	SHUTTER SPEED	選択されたカメラのシャッタースピードを設定します。
	ND	選択されたカメラのNDを設定します。
PED	MASTER PED	選択されたカメラのマスターペダスタルを設定します。
	R PED	選択されたカメラのRペダスタルを設定します。
	G PED	選択されたカメラのGペダスタルを設定します。
	B PED	選択されたカメラのBペダスタルを設定します。
DTL/DNR	DETAIL SW	選択されたカメラのディテール機能のON/OFFを設定します。
	MASTER DETAIL	選択されたカメラのマスターディテールを設定します。
	PEAK(DTL) FREQ	選択されたカメラのディテールのブースト周波数を設定します。
	DNR	選択されたカメラのデジタルノイズリダクションを設定します。
ZOOM/OIS	ZOOM MODE	選択されたカメラのズーム方式（ズーム最大倍率）を設定します。
	DIGITAL EXT	選択されたカメラのデジタルエクステンダー機能を設定します。
	O.I.S. SW	選択されたカメラの画面揺れ補正機能のON/OFFを設定します。
	O.I.S. MODE	選択されたカメラの画面揺れ補正機能のモードを設定します。

ショートカットボタン (つづき)

PAN/TILT	P/T SPEED MODE	選択されたカメラのパン/チルト動作のスピードを設定します。
	SPEED w/ ZOOM	選択されたカメラのズーム倍率に連動して、パン/チルトの制御のスピードを自動で調整するかを設定します。
	FOCUS ADJ w PTZ	選択されたカメラのパン/チルト/ズーム操作時に、フォーカスのずれを自動補正するかを設定します。
PMEM	OPERATION MODE	オペレーションモード2または3のときの、マルチセレクトスイッチでのプリセットメモリー操作方法を設定します。 RECALL：プリセットメモリーを再生するモードです。 STORE：プリセットメモリーを本機で保存するためのモードです。 DELETE：プリセットメモリーを本機で削除するためのモードです。 なお、[STORE]および[DELETE]は[PMEM]ボタンを有効にしているときのみ使用可能で、それ以外のときは常に[RECALL]となります。 具体的な使用方法是「オペレーションモード」(49ページ)を参照してください。
	RECALL SPEED SEL	プリセットメモリーを再生するためのプリセットメモリースピードの再生モードを設定します。
	SPEED TABLE	プリセットメモリーを再生するスピードのテーブルを設定します。
	PMEM SPEED/TIME	プリセットメモリーを再生するときの、プリセットメモリー位置までの移動速度、もしくは時間を設定します。

本機の映像入出力とそれを用いた機能

映像の入出力

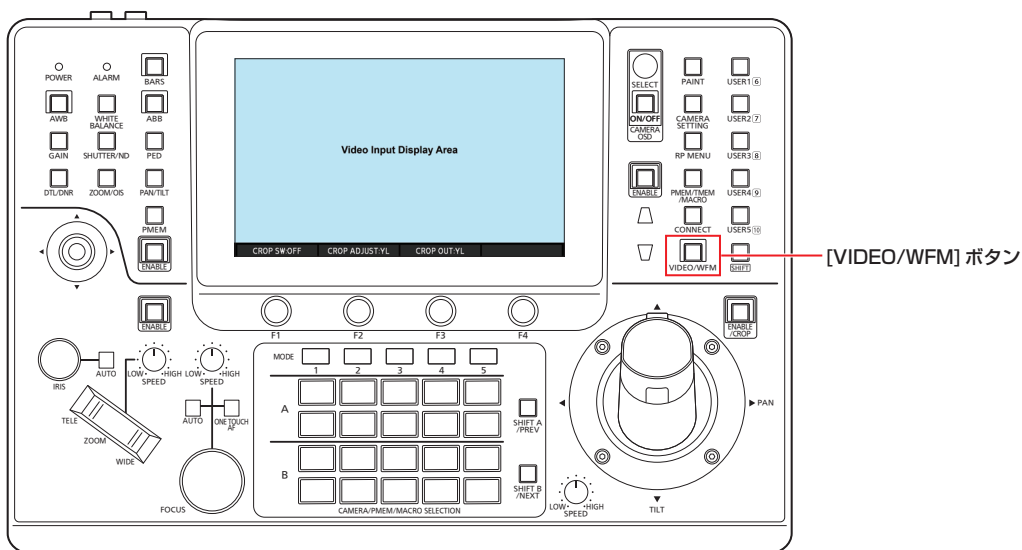
本機ではSDIの映像入力、またはIP映像の受信をし、SDI OUTに出力・メインLCDに表示することができます。
対応している入力フォーマットは以下の通りです。

SDI IN		1080/59.94p
		1080/59.94i
		1080/29.97p
		1080/23.98p
		1080/50p
		1080/50i
		1080/25p
IP IN	NDI High Bandwidth	1080/60fps
		1080/30fps
		1080/24fps
		1080/50fps
		1080/25fps
	SRT (H.264/H.265)	1080/60fps
		1080/30fps
		1080/24fps
		1080/50fps
		1080/25fps

NOTE

- 本機のSDI入力またはIP入力映像の周波数をRP MENUボタン>[BASIC CONFIG]>[VIDEO FREQ]で適切に設定してください。
詳細は「本運用の前に」(25ページ)を参照してください。
- 本機はエンベデッドオーディオに対応しています。SDI IN：16ch、IP IN：2ch対応となり、各入力に応じてSDI OUTから出力します。

入力映像の切り替え方法については、RP MENUボタン>[BASIC CONFIG]>[VIDEO IN SELECT]を参照してください。
また、NDI High BandwidthおよびSRTの入力設定についてはWeb設定画面[Setup Menu]>[Video Input over IP]を参照してください。
メインLCDに入力映像を表示する場合は、[VIDEO/WFM]ボタンを押してください。(ボタンが有効なときは、アンバー色に点灯します)



クロープ機能

UHDクロップ機能に対応するカメラと本機を接続したときに、本機のメインLCD上で各種クロップ機能の操作を実施できます。

1. [VIDEO/WFM] ボタンをONにし、メインLCD全体に映像を表示します

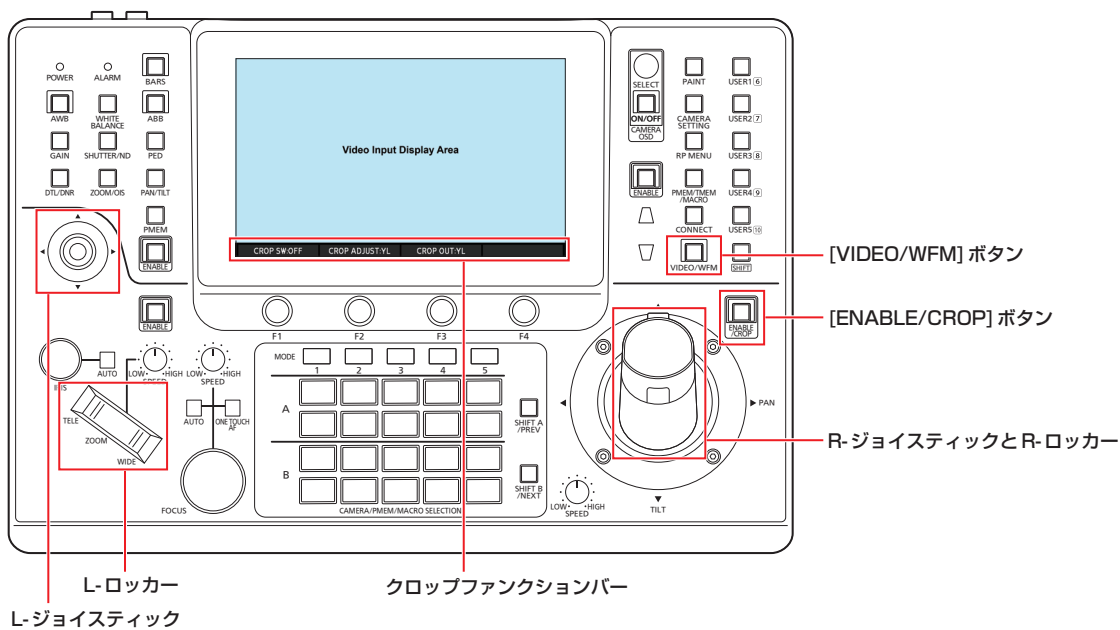
(クロップ枠の表示が可能なカメラのUHD→HD ダウンコン出力を本機に入力してください)

2. クロップファンクションバーが表示されるので、適切な設定をしてください

項目	設定内容
CROP SW	UHD (3840 × 2160) の映像から切り出しを行う機能 (CROP 機能) を設定します。 OFF : CROP 機能を無効にします。 ON (1080) : UHD (3840 × 2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1920 × 1080 で出力します。 ON (720) : UHD (3840 × 2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1280 × 720 で出力します。
CROP ADJUST	位置調整を行う切り出し枠の選択を行います。
CROP OUT	リモートカメラのクロップ映像を出力する端子の映像に使用する切り出し枠を選択します。

3. 2. で設定した切り出し枠について、

- [ENABLE/CROP] ボタンを押して、緑色にすることで、R-ジョイスティックおよびR-ロッカー
- L-ジョイスティックを[CROP]に割り当てることで、L-ジョイスティックおよびL-ロッカーで移動やズームが可能です



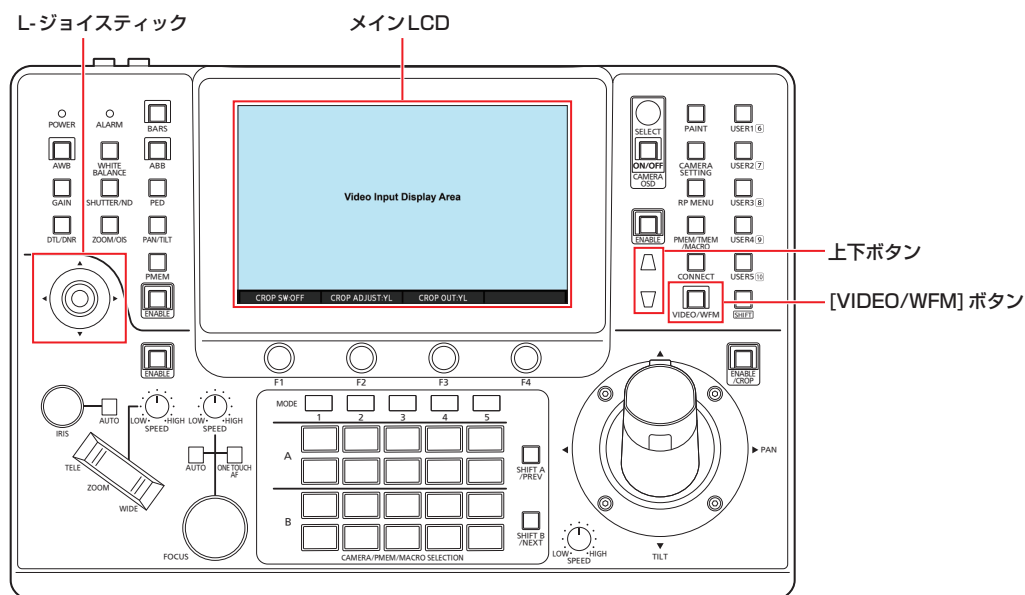
NOTE

- クロップ機能のメニューでの設定については、[CAMERA SETTING]>[CROP]を参照してください。
- L-ジョイスティックの機能割り当てについては、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。

波形表示およびベクトルスコープ

本機では入力映像の波形表示・ベクトルスコープ表示ができます。

[VIDEO/WFM] ボタンが ON の状態で、上下ボタンを操作、または L-ジョイスティック (メニュー操作を割り当てている場合) を上下方向に操作することで、メインLCDの画面を以下の各選択に切り替え可能です。

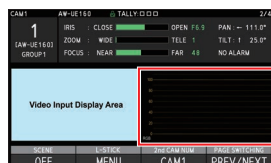


ページ 1



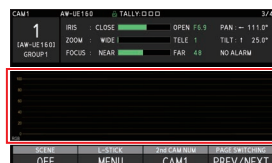
① 全画面映像

ページ 2



② レンズ関連のステータス＋映像＋波形表示

ページ 3



③ レンズ関連のステータス＋波形表示

ページ 4



④ レンズ関連のステータス＋映像＋ベクトルスコープ表示

ページ 5



⑤ レンズ関連のステータス＋波形表示＋ベクトルスコープ表示

① 全画面映像：

入力された映像をメインLCDの全画面に表示します。また、クロップファンクションバーも表示します。
フォーカスがマニュアルのとき、画面をタッチすることで、その部分にワンタッチオートフォーカスが働きます。

② レンズ関連のステータス＋映像＋波形表示：

レンズ関連のステータスと入力された映像およびその入力された映像の波形、ファンクションバーを表示します。

③ レンズ関連のステータス＋波形表示：

レンズ関連のステータスと入力された映像の拡大波形、ファンクションバーを表示します。

④ レンズ関連のステータス＋映像＋ベクトルスコープ表示：

レンズ関連のステータスと入力された映像およびその入力された映像のベクトルスコープ、ファンクションバーを表示します。

⑤ レンズ関連のステータス＋波形表示＋ベクトルスコープ表示：

レンズ関連のステータスと入力された映像の波形とベクトルスコープ、ファンクションバーを表示します。

NOTE

- 波形表示はRGB表記とYCbCr表記を選択できます。Aの部分をタッチすることで切り替え可能です。
- レンズ関連のステータスについては、「ステータス画面」(30ページ)を参照してください。
- ファンクションバーについては、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。

リモートカメラの電源の入れかたと切りかた

リモートカメラの電源の入れかた

本機から、スタンバイ状態のリモートカメラの電源を入れることができます。

入れかたには以下の方法があります。

- 1 台ずつ電源を入れる
- 本機の電源 (ON) と連動して電源を入れる
- 複数のリモートカメラの電源を入れる
 - ◇ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を入れる
 - ◇ 選択中のカメラグループの電源を入れる

以降にそれぞれの操作について説明します。

1 台ずつ電源を入れる

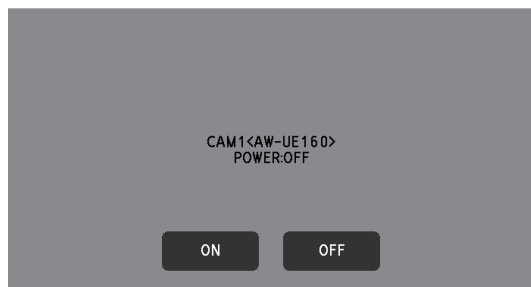
1. リモートカメラを選択する

オペレーションモード 1、3、5 のいずれかで、「カメラ選択」ボタンを長押し (3 秒以上) すると、メイン LCD にリモートカメラの名称 (カメラ側でユーザーが設定したカメラの名称) と、「ON」、「OFF」のボタンが表示されます。

NOTE

- この操作は、ステータス画面が表示されているときに有効な操作です。
- オペレーションモードについては、「オペレーションモード」(49 ページ) を参照してください。

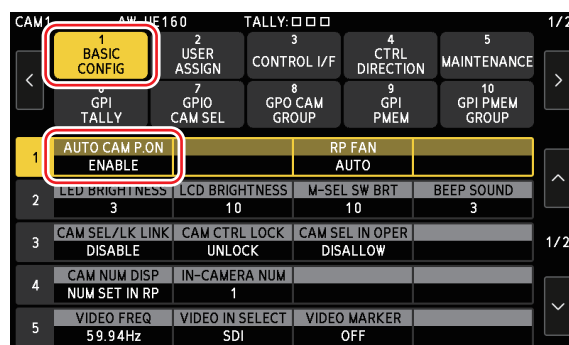
2. 「カメラ選択」ボタンを押したままメイン LCD の「ON」ボタンをタッチする



本機の電源 (ON) と連動して電源を入れる

1. RP MENU ボタンを押す

2. メイン LCD 上部の「BASIC CONFIG」をタッチして、「AUTO CAM P.ON」項目を表示する



3. 「ENABLE」を選択する

本機の電源 (ON) と連動して、CONNECT ボタン>[CONNECT SETTING]>[CONTROL TYPE] 項目を「SERIAL」、または「LAN」に設定されているリモートカメラの電源が入ります。

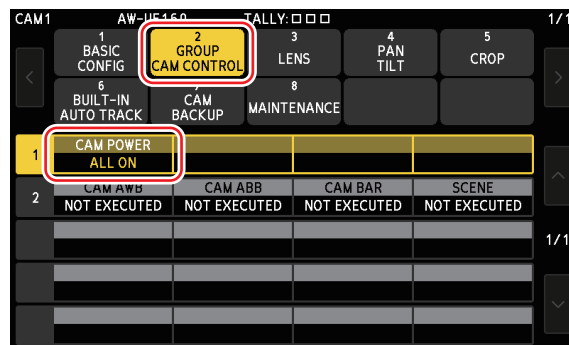
NOTE

- 接続されているカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでに時間を要することがあります。

複数のリモートカメラの電源を入れる

1. CAMERA SETTING ボタンを押す

2. メイン LCD 上部の「GROUP CAM CONTROL」をタッチして、「CAM POWER」項目を表示する



■ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を入れる
「CAM POWER」から「ALL ON」を選択します。

■ 選択中のカメラグループの電源を入れる
「CAM POWER」から「GROUP ON」を選択します。

リモートカメラの電源の切りかた (スタンバイ状態への移行)

本機からリモートカメラの電源を切る (スタンバイ状態への移行) ことができます。

切りかたには以下の方法があります。

- 1 台ずつ電源を切る
- 複数のリモートカメラの電源を切る
 - ◇ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を切る
 - ◇ 選択中のカメラグループの電源を切る

以降にそれぞれの操作について説明します。

1 台ずつ電源を切る

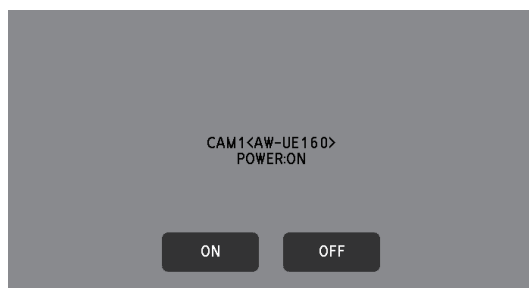
1. リモートカメラを選択する

オペレーションモード 1、3、5 のいずれかで、「カメラ選択」ボタンを長押し (3 秒以上) すると、メインLCD にリモートカメラの名称 (カメラ側でユーザーが設定したカメラの名称) と、「ON」、「OFF」のボタンが表示されます。

NOTE

- この操作は、ステータス画面が表示されているときに有効な操作です。
- オペレーションモードについては、「オペレーションモード」 (49 ページ) を参照してください。

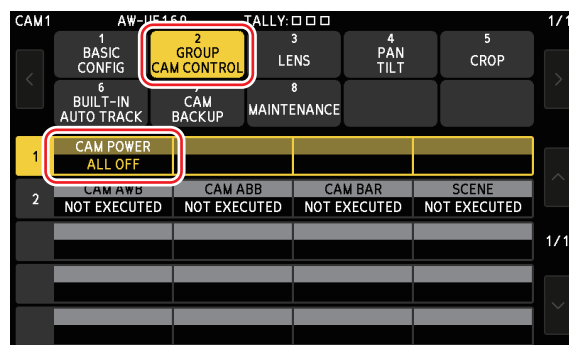
2. 「カメラ選択」ボタンを押したままメインLCDの「OFF」ボタンをタッチする



複数のリモートカメラの電源を切る

1. CAMERA SETTING ボタンを押す

2. メインLCD 上部の「GROUP CAM CONTROL」をタッチして、「CAM POWER」項目を表示する



■ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を切る
「CAM POWER」から「ALL OFF」を選択します。

■ 選択中のカメラグループの電源を切る
「CAM POWER」から「GROUP OFF」を選択します。

各種データのバックアップについて

本機では以下のデータのバックアップ・アップロードをUSB メモリーまたはWeb メニューを介して行うことが可能です。

- 選択されたカメラに保存されている情報 ([SCENE]・[CAMERA ALL]) : USB メモリーにのみ対応
- 本機に保存されている情報 ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[STREAM DECK]・[CAM CTRL INFO]) : USB メモリーまたはWeb メニューに対応

NOTE

- Webメニューでのデータのバックアップ・アップロードはWeb 設定画面 [Setup Menu]>[Maintenance]>[RP Backup] を参照してください。
- USB メモリーはUSB ハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 本製品はNTFS形式のUSB メモリーには対応していません。

■ CAMERA SETTING ボタン>[CAM BACKUP]

バックアップ種別		CAMERA ALL	SCENE
バックアップ対象			
PAINT	カメラが保存する PAINT 設定	○	○
CAMERA SETTING	カメラが保存する PAINT 以外の設定	○	×
その他の本機でのメニュー設定	カメラが保存しない設定	×	×

■ RP MENU ボタン>[RP BACKUP]

バックアップ種別		ALL	RP SETTING	TMEM	MACRO	CONN SETTING	STREAM DECK	CAM CTRL INFO
バックアップ対象								
PAINT	カメラが保存する PAINT 設定	×	×	×	×	×	×	×
CAMERA SETTING	カメラが保存する PAINT 以外の設定							
RP MENU	BASIC CONFIG							×
	USER ASSIGN							△*1
	CONTROL I/F	○	○	×	×	×	×	○
	CTRL DIRECTION							×
	GPIO 各メニュー							×
PMEM/TMEM/MACRO	PMEM	×		×	×			×
	TMEM	○	×	○				
	MACRO				○			
	PMEM SETTING	△*2	△*2					△*3
	VIEW COLOR	○	○	×	×	×	×	○
	NAME EDIT							×
								○
	EXT CTRL PMEM	×	×					×
CONNECT	CONNECT SETTING	○		×	×	○	×	×
	MANUAL IP SET		×					
	AUTO IP SETTING / CAM IP SEARCH							
	RP IP SETTING		○					
	AUTO FRAMING							
	ROP LINK							
	SWITCHER LINK		△*4					
	EXT CONTROL							
	STREAM DECK		×				○	

各種データのバックアップについて (つづき)

盤面情報 (メインLCD・マルチセレクトスイッチ・各種ボタンの状態等)	オペレーションモード	○	○	×	×	×	×	×			
	カメラグループ選択										
	カメラ選択										
	オペレーションモード2～5のプリセットメモリー・マクロのページ										
	メインLCD上での表示状態(メニュー表示は除く)	×	×						×	×	×
	各[ENABLE]ボタンの状態										
	USERボタンの[SHIFT]の状態										
	各メニューの表示/非表示・開いているページ										
	ショートカットボタンのON/OFF状態										
ユーザー認証(本機のWebログイン情報)	×	×	×	×	×	×	×				
ユーザー認証(カメラのID・パスワード)	○				○						
IP映像受信の各種設定	×	○			×			×	×	×	×
イベントログ											
エラーログ											
時計設定	×	×									
本機の[Title]											
本機のhttpポート・Easy IP設定											

*1：MANU IRIS LIMIT の設定値と設定したときのIRIS 値

*2：本機で設定している設定値のみ

*3：プリセットメモリー登録時の[SPEED UNIT]、[SPEED TABLE]、[SPEED]

*4：IP アドレス、ポート番号以外

カメラに保存されている情報 ([SCENE] ・ [CAMERA ALL])

■ USB メモリーのフォーマット

以下の手順で、USB メモリーのフォーマットをすることが可能です。
(同様の内容が RP MENU ボタン > [RP BACKUP] でも操作可能です)

1. CAMERA SETTING ボタン > [CAM BACKUP] を選択する
2. [MODE]=[FORMAT] を選択する
3. 本機に接続している USB メモリー (Type-A または Type-C) のうち、使用したい USB メモリーのデバイス名を [USB DEVICE SELECT] で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は " _ " に置き換えて表示します。
 - 接続している USB メモリーがない場合は [NONE] を表示します。
4. [EXECUTE]=[YES] を選択する
5. フォーマットが完了したら、「Completed」が表示される

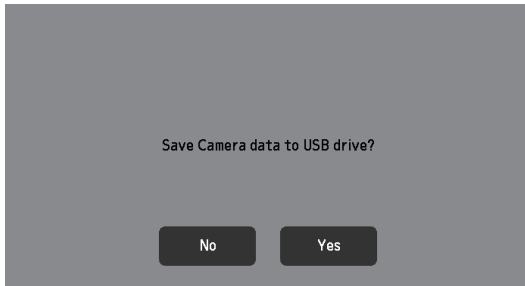
NOTE

- フォーマットが失敗した場合は、「Format failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USB メモリーは USB ハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 本製品は NTFS 形式の USB メモリーには対応しておりません。

■ ファイルのバックアップ

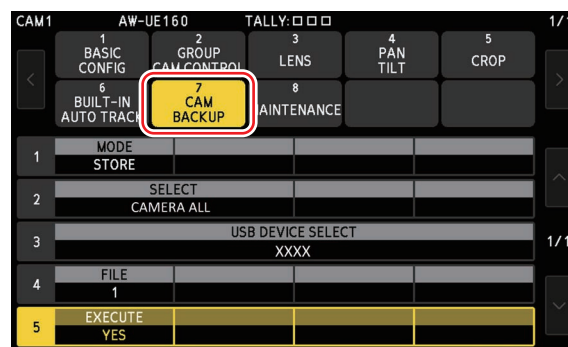
以下の手順で、カメラに保存されている情報を USB メモリーにバックアップすることが可能です。

1. CAMERA SETTING ボタン>[CAM BACKUP] を選択する
2. [MODE]=[STORE] を選択する
3. 取り扱いたいデータ ([CAMERA ALL]・[SCENE1]、[SCENE2]…) を [SELECT] で選択する (例：[SCENE2] を選択した場合は、[SCENE2] のファイルをバックアップする)
4. 本機に接続している USB メモリー (Type-A または Type-C) のうち、使用したい USB メモリーのデバイス名を [USB DEVICE SELECT] で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は “_” に置き換えて表示します。
 - 接続している USB メモリーがない場合は [NONE] を表示します。
5. [SELECT]=[CAMERA ALL] のとき、保存するデータの保存先を [FILE] (1 ～ 20) から選択する
ファイル番号を選択することで、異なるファイル名で保存できるようになります。
[SELECT]=[SCENE] のときは [FILE] に該当する項目はありません。
6. [EXECUTE]=[YES] を選択する
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes] を選択すると、ファイルのバックアップを開始します。バックアップが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

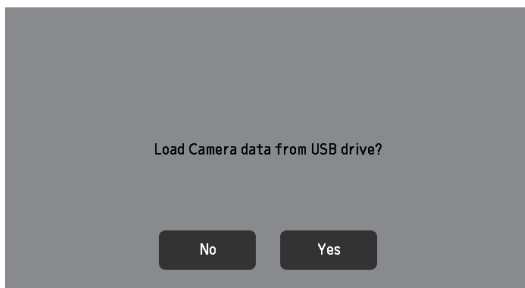
- バックアップしたファイルは、USB メモリーの¥¥RP200¥CAMDATA フォルダに保存されます。
- バックアップが失敗した場合は、「Save failed」と表示されます。再度やり直してください。
- USB メモリーは USB ハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。



■ ファイルのアップロード

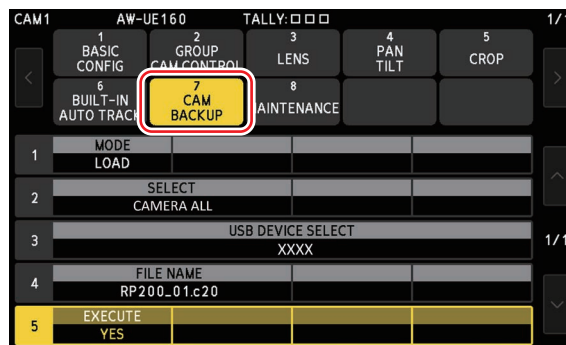
以下の手順で、USB メモリーにバックアップしている情報をカメラにアップロードすることが可能です。

1. CAMERA SETTING ボタン>[CAM BACKUP] を選択する
2. [MODE]=[LOAD] を選択する
3. 取り扱いたいデータ ([CAMERA ALL]・[SCENE1]、[SCENE2]…) を [SELECT] で選択する (例：SCENE2 を選択した場合は、SCENE2 にファイルがアップロードされる)
4. 本機に接続している USB メモリー (Type-A または Type-C) のうち、使用したい USB メモリーのデバイス名を [USB DEVICE SELECT] で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は “_” に置き換えて表示します。
 - 接続している USB メモリーがない場合は [NONE] を表示します。
5. [FILE NAME] で、4. で選択した USB メモリーの中のアップロードしたいファイルを選択する
ファンクションダイヤルを回して必要なファイルを選択します。
6. [EXECUTE]=[YES] を選択する
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes] を選択すると、ファイルのアップロードを開始します。アップロードが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

- USB メモリーの¥¥RP200¥CAMDATA フォルダにあるファイルをアップロードします。
- アップロードが失敗した場合は、「Load failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USB メモリーは USB ハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。



本機に保存されている情報 ([ALL] ・ [RP SETTING] ・ [TMEM] ・ [MACRO] ・ [CONN SETTING] ・ [STREAM DECK] ・ [CAM CTRL INFO])

■ USBメモリーのフォーマット

以下の手順で、USBメモリーのフォーマットをすることが可能です。

(同様の内容がCAMERA SETTING ボタン>[CAM BACKUP]でも操作可能です)

1. RP MENU ボタン>[RP BACKUP] を選択する
2. [MODE]=[FORMAT] を選択する
3. 本機に接続しているUSBメモリー (Type-AまたはType-C) のうち、使用したいUSBメモリーのデバイス名を [USB DEVICE SELECT] で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は " _ " に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSBメモリーがない場合は [NONE] を表示します。
4. [EXECUTE]=[YES] を選択する
5. フォーマットが完了したら、「Completed」が表示されます

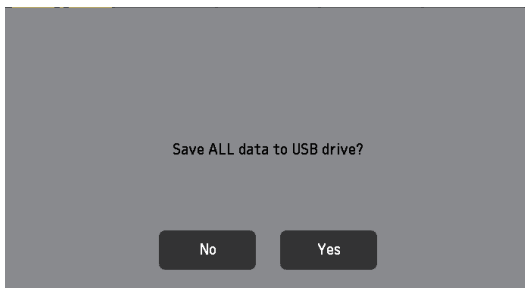
NOTE

- フォーマットが失敗した場合は、「Format failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 本製品はNTFS形式のUSBメモリーには対応していません。

■ ファイルのバックアップ

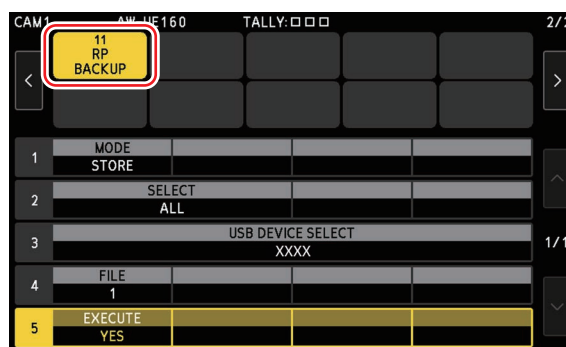
以下の手順で、本機に保存されている情報をUSBメモリーにバックアップすることが可能です。

1. RP MENU ボタン>[RP BACKUP] を選択する
2. [MODE]=[STORE] を選択する
3. 取り扱いたいデータ ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[STREAM DECK]・[CAM CTRL INFO]) を [SELECT] で選択する
4. 本機に接続しているUSBメモリー (Type-AまたはType-C) のうち、使用したいUSBメモリーのデバイス名を [USB DEVICE SELECT] で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は“_”に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSBメモリーがない場合は [NONE] を表示します。
5. 保存するデータの保存先を [FILE] (1 ~ 20) から選択する
ファイル番号を選択することで同一種類のファイルでも、異なるファイル名で保存できるようになります。
6. [EXECUTE]=[YES] を選択する
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes] を選択すると、ファイルのバックアップを開始します。バックアップが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

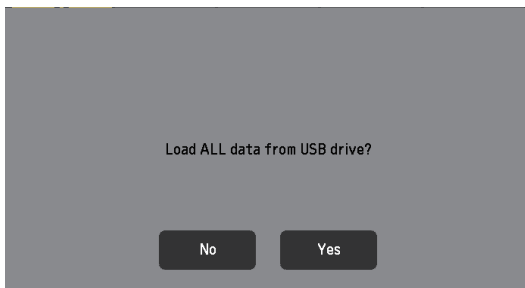
- バックアップしたファイルはUSBメモリーの¥¥RP200¥DATAフォルダーに保存されます。
- バックアップが失敗した場合は、「Save failed」と表示されます。再度やり直してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 7.でUSBメモリーにすでに同じファイル番号のファイルが存在する場合は、警告ダイアログが表示されます。



■ ファイルのアップロード

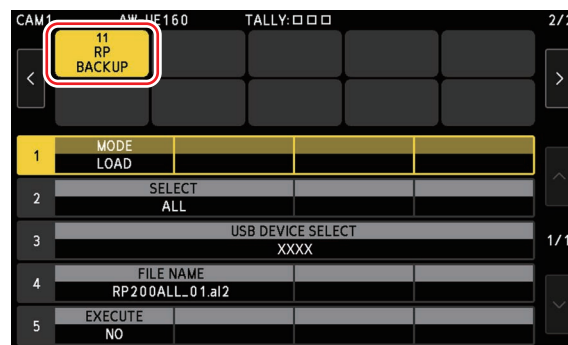
以下の手順で、USB メモリーにバックアップしている情報を本機にアップロードすることが可能です。

1. RP MENU ボタン>[RP BACKUP] を選択する
2. [MODE]=[LOAD] を選択する
3. 取り扱いたいデータ ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[STREAM DECK]・[CAM CTRL INFO]) を [SELECT] で選択する
4. 本機に接続している USB メモリー (Type-A または Type-C) のうち、使用したい USB メモリーのデバイス名を [USB DEVICE SELECT] で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号以外の文字が使われている場合は “_” に置き換えて表示します。
 - 接続している USB メモリーがない場合は [NONE] を表示します。
5. [FILE NAME] で、4. で選択した USB メモリーの中のアップロードしたいファイルを選択してください
ファンクションダイヤルを回して必要なファイルを選択します。
6. [EXECUTE]=[YES] を選択してください
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes] を選択すると、ファイルのアップロードを開始します。アップロードが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

- USB メモリーの¥¥RP200¥DATA フォルダにあるファイルをアップロードします。
- アップロードが失敗した場合は、「Load failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USB メモリーは USB ハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。



各種連携機能について

本機では以下のような、カメラ・その他機器との連携機能を使用できます。

- 本機のカメラ選択とROPのカメラ選択が連動する機能
- 本機からのカメラ選択とスイッチャーの指定された出力のバス切替が連動する機能
- 本機で他社製ドリー・トータム等の外部機器を制御する機能
- Elgato社のStream Deckから本機または本機を経由したカメラ等を操作する機能
- 本機とMedia Production Suiteを連携させる機能

本機のカメラ選択と当社ROPのカメラ選択が連動する機能

本機のカメラ選択に連動して、ROPのカメラ選択を自動で変更することが可能です。

1. 本機のCONNECTボタン>[ROP LINK]にて、下記設定を行う

- (A) [ROP LINK MODE] を [ON]
- (B) 使用するROPのIPアドレス・ポート番号を [ROP IP]・[ROP PORT] で設定
- (C) (A)・(B) の設定ができれば、[UPLOAD] で [YES] を選択

NOTE

- [UPLOAD] で [YES] を選択するまで、本機能は有効になりません。

- (D) 本機のカメラ選択 [RP CAM SEL] と連動させたいROPのカメラ番号を [LINKED ROP CAM] に設定

2. ROPで連携機能 [AW CONTROLLER LINK] の設定を行う

詳細はROPの取扱説明書を参照してください。

本機からのカメラ選択とスイッチャーの指定された出力のバス切替が連動する機能

本機のカメラ選択に応じて、当社スイッチャーのAUX出力等の映像を自動で切り替えることで、本機でのカメラ制御の際のモニター映像として利用することができます。また、AUX出力等の映像を通常のカメラ映像とマルチビューに切り替えることができます。さらに、タリーもスイッチャーと本機で連携することが可能です。

1. 本機のCONNECTボタン>[SWITCHER LINK]にて、下記設定を行う

- (A) [LINK MODE] を [ON]
- (B) 使用するスイッチャーのIPアドレス・ポート番号を [SWITCHER IP]・[SWITCHER PORT] で設定
- (C) スwitchャーからの通知を受信する本機のポート番号を [RP PORT] に設定
- (D) [UPLOAD] で [YES] を選択

NOTE

- [UPLOAD] で [YES] を選択するまで、本機能は有効になりません。

- (E) 本機のカメラ選択がスイッチャーの指定した出力のバス切替に連動する機能 [BUS CTRL] を [ON] にする
- (F) 本機のカメラ選択がスイッチャーのどの出力に連動するかを [BUS SEL(MAIN)] に設定
- (G) 本機のカメラ番号 [CAM NUM] と連動させるスイッチャーのインプット [SW INPUT] を 1 セットずつ設定
(例：CAM1 をスイッチャーのインプット 1 → CAM2 をスイッチャーのインプット 2 → …)

この他にも、

- スwitchャーのAUXバスを制御してマルチビューと選択中のカメラ映像の切り替えを行う
- スwitchャーからのタリーの受信

を使用できます。詳細はCONNECTボタン>[SWITCHER LINK]を参照してください。

2. スwitchャーで連携機能の設定を行う

詳細はスイッチャーの取扱説明書（当社製スイッチャーでは [External Control]）を参照してください。

本機で他社製ドリー・トータム等の外部機器を制御する機能

本機からカメラの選択・制御をしながら、同時に他社製ドリー・トータム等の外部機器^{*1}を操作することが可能です。

^{*1}: 本機能を使用する前に、購入先の販売店にご相談ください。

1. 本機のCONNECTボタン>[EXT CONTROL]にて、下記設定を行う

- (A) [EXT CTRL MODE] を [ENABLE]
- (B) R-ロッカー、L-ジョイスティックに対してそれぞれ、外部機器のどの方向の制御をするか [R-ROCKER CTRL]・[L-STICK CTRL] で設定
- (C) 外部機器の制御番号を [EXT CTRL NUM] で設定 (外部機器とカメラの同時制御は最大で10セット可能です。特に制約がない場合は、1から順番に設定してください)
- (D) 水平方向の制御をする外部機器のIPアドレスを [IP(EXT-HOR)]、ポートを [PORT(EXT-HOR)] で設定
- (E) 垂直方向の制御をする外部機器のIPアドレスを [IP(EXT-VER)]、ポートを [PORT(EXT-VER)] で設定
- (F) 本機能で使用する本機の受信ポートを [RSV PORT(RP)] で設定
- (G) 外部機器と同時に制御したいカメラ番号を [LINKED CAM] で設定
カメラ番号の付与方法については、「リモートカメラとの接続設定を行う」(41 ページ) を参照してください。
- (H) プリセットメモリの制御方法を [PMEM CTRL] で設定
- (I) (H) までの設定が完了したら、[UPLOAD] を [YES] に設定
[YES] に設定するまで、設定は反映されません。

2. 外部機器で本機との連携機能の設定を行う

詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。

本機でElgato社のStream Deckと連携する機能

Elgato社のStream Deckから本機または本機を経由してカメラを操作することが可能です。

また操作するメニューを本機より設定することが可能です。

1. 本機とStream DeckをUSBで接続する

2. 本機のCONNECTボタン>[STREAM DECK]にて、下記設定を行う

- (A) [STREAM DECK] に接続した機器が表示しているか確認
- (B) 編集する [FILE]、[PAGE]、[KEY SEL] を選択
- (C) [ASSIGN TYPE] と [KEY FUNCTION] から必要な項目を選択
- (D) Stream Deckに変更が反映されていることを確認

NOTE

- 本機と対応するStream Deckおよび(C)のステップで選択する項目の詳細および詳細な使用方法については、当社の下記ページより「【RP200】Stream Deck仕様書」を参照してください。
(日本語)
<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/guide/JP/top.html>
(英語)
<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/guide/EN/top.html>

本機で Media Production Suite と連携する機能

本機と Media Production Suite を連携することで以下の機能を使用することができます。

1. Preview 連携

本機のカメラ選択に合わせて、Media Production Suite で表示されるプレビュー画面を切り替えます。
また Media Production Suite のプレビューの切替えに合わせて本機のカメラ選択を切替えます。

2. Device Manager

本機の設定ファイルのダウンロード・アップロードを Media Production Suite から行います。
またカメラの割り当て設定を Media Production Suite からインポート、Media Production Suite へエクスポートを行えます。

3. オートフレーミング

Media Production Suite のオートフレーミング機能の一部を本機から操作することができます。

NOTE

- 「1. Preview 連携」と「2. Device Manager」の機能については本機での設定は不要です。詳細は Media Production Suite の取扱説明書をご確認ください。
- 「3. オートフレーミング」については CONNECT ボタン > [AUTO FRAMING] 及び Media Production Suite の取扱説明書をご確認ください。

メニューグループ

PAINT (カメラのPAINTのメニューに関する設定)	SCENE	⇒「SCENE」(86ページ)
	WHITE BALANCE	⇒「WHITE BALANCE」(86ページ)
	ELECTRICAL CC	⇒「ELECTRICAL CC」(87ページ)
	GAIN	⇒「GAIN」(87ページ)
	SHUTTER	⇒「SHUTTER」(87ページ)
	AUTO EXPOSURE	⇒「AUTO EXPOSURE」(87ページ)
	PED	⇒「PED」(87ページ)
	GAMMA	⇒「GAMMA」(88ページ)
	CONTRAST	⇒「CONTRAST」(88ページ)
	DETAIL	⇒「DETAIL」(88ページ)
	KNEE	⇒「KNEE」(88ページ)
	WHITE CLIP	⇒「WHITE CLIP」(88ページ)
	CHROMA	⇒「CHROMA」(88ページ)
	MATRIX	⇒「MATRIX」(89ページ)
	COLOR CORRECTION	⇒「COLOR CORRECTION」(89ページ)
	HDR PAINT	⇒「HDR PAINT」(90ページ)
CAMERA SETTING (カメラのPAINT以外のメニューに関する設定)	BASIC CONFIG	⇒「BASIC CONFIG」(91ページ)
	GROUP CAM CONTROL	⇒「GROUP CAM CONTROL」(92ページ)
	LENS	⇒「LENS」(93ページ)
	PAN TILT	⇒「PAN TILT」(94ページ)
	CROP	⇒「CROP」(94ページ)
	BUILT-IN AUTO TRACK	⇒「BUILT-IN AUTO TRACK」(95ページ)
	HOUSING	⇒「HOUSING」(95ページ)
	REC	⇒「REC」(95ページ)
	CAM BACKUP	⇒「CAM BACKUP」(96ページ)
	MAINTENANCE	⇒「MAINTENANCE」(96ページ)
	REMOTE BACK FOCUS	⇒「REMOTE BACK FOCUS」(96ページ)
	PT HEAD	⇒「PT HEAD」(96ページ)
	CAMERA MENU OPE	⇒「CAMERA MENU OPE」(96ページ)
RP MENU (本機の制御に関する設定)	BASIC CONFIG	⇒「BASIC CONFIG」(98ページ)
	USER ASSIGN	⇒「USER ASSIGN」(99ページ)
	CONTROL I/F	⇒「CONTROL I/F」(99ページ)
	CTRL DIRECTION	⇒「CTRL DIRECTION」(100ページ)
	MAINTENANCE	⇒「MAINTENANCE」(101ページ)
	GPI TALLY	⇒「GPI TALLY」(102ページ)
	GPIO CAM SEL	⇒「GPIO CAM SEL」(103ページ)
	GPO CAM GROUP	⇒「GPO CAM GROUP」(104ページ)
	GPI PMEM	⇒「GPI PMEM」(105ページ)
	GPI PMEM GROUP	⇒「GPI PMEM GROUP」(105ページ)
	RP BACKUP	⇒「RP BACKUP」(107ページ)
PMEM/TMEM/MACRO (カメラのプリセットメモリー、トレーシングメモリー、マクロに関する設定)	PMEM	⇒「PMEM」(109ページ)
	TMEM	⇒「TMEM」(110ページ)
	MACRO	⇒「MACRO」(111ページ)
	PMEM SETTING	⇒「PMEM SETTING」(111ページ)
	VIEW COLOR	⇒「VIEW COLOR」(113ページ)
	NAME EDIT	⇒「NAME EDIT」(113ページ)
	EXT CTRL PMEM	⇒「EXT CTRL PMEM」(114ページ)

CONNECT (本機とカメラ等の接続設定・連携機能に関する設定)	CONNECT SETTING	⇒「CONNECT SETTING」(115ページ)
	MANUAL IP SET	⇒「MANUAL IP SET」(115ページ)
	CAM IP SEARCH	⇒「CAM IP SEARCH」(116ページ)
	AUTO IP SETTING	⇒「AUTO IP SETTING」(116ページ)
	RP IP SETTING	⇒「RP IP SETTING」(117ページ)
	AUTO FRAMING	⇒「AUTO FRAMING」(117ページ)
	ROP LINK	⇒「ROP LINK」(118ページ)
	SWITCHER LINK	⇒「SWITCHER LINK」(118ページ)
	EXT CONTROL	⇒「EXT CONTROL」(120ページ)
	STREAM DECK	⇒「STREAM DECK」(121ページ)

PAINT

本機に接続したカメラのPAINTのメニューに関する設定を行います。

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM7
TALLY: □ □ □ □
1/2

1 SCENE
2 WHITE BALANCE
3 ELECTRICAL CC
4 GAIN
5 SHUTTER
6 AUTO EXPOSURE
7 PED
8 GAMMA
9 CONTRAST
10 DETAIL

1
2
3
4
5

1/1

CAM7
TALLY: □ □ □ □
2/2

11 KNEE
12 WHITE CLIP
13 CHROMA
14 MATRIX
15 COLOR CORRECTION
16 HDR PAINT

1
2
3
4
5

1/1

■ SCENE

項目	設定内容
SCENE	撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。
STORE SCENE TO	現在のカメラの撮影モードを登録する SCENE 番号を選択します。
EXECUTE STORE	現在のカメラの撮影モードを指定された SCENE 番号に登録します。

■ WHITE BALANCE

項目	設定内容
W. BAL MODE	ホワイトバランス（白バランス）のモードを設定します。 光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。 基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。
COLOR TEMP	[WHITE BALANCE]>[W. BAL MODE] の設定に応じて、選択されたカメラの色温度を設定または表示します。
ATW SPEED	ATW 機能の制御スピードを設定します。
ATW TARGET R	オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rch の出力を微調整します。
ATW TARGET B	オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bch の出力を微調整します。
SHCKLSS WB SW	[W. BAL MODE] を切り替えたときに、瞬時に移行するか、緩やかに移行するかの制御を設定します。
SHCKLSS WB SPD	[W. BAL MODE] を切り替えたときの、移行するまでのスピードを設定します。

■ ELECTRICAL CC

項目	設定内容
C. TEMP PRE SW	色温度を手動で調整時に ON にします。
COLOR TEMP	[C. TEMP PRE SW] が [ON] の時の色温度を設定します。
R GAIN	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。
B GAIN	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。
G AXIS	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。

■ GAIN

項目	設定内容
MASTER GAIN	映像のゲイン調整を行います。 暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。
M.GAIN OFFSET	ゲインのオフセットの調整を行います。
GAIN/ISO MODE	ゲインの表示を設定します。
AGC SW	オートゲイン制御の ON/OFF を選択します。
SUPER GAIN	スーパーゲイン（感度アップ）の ON/OFF を選択します。
AGC MAX	オートゲイン制御が ON のとき、最大ゲインアップ量を設定します。
FRAME MIX	フレーム加算（センサー蓄積によるゲインアップ）の量を設定します。
A F.MIX MAX GAIN	[FRAME MIX] が [AUTO] で動作する場合のフレーム加算の最大量を設定します。
R GAIN	Rch のゲインを調整できます。
G GAIN	Gch のゲインを調整できます。
B GAIN	Bch のゲインを調整できます。
GAIN OFFSET	[W. BAL MODE] を [AWB A]、[AWB B] にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rch ゲインと Bch ゲインの値を設定します。 OFF ：[R GAIN] と [B GAIN] の値を [0] にします。 ON ：[R GAIN] と [B GAIN] であらかじめ設定した値を保持したままにします。

■ SHUTTER

項目	設定内容
SHUTTER SW	カメラのシャッター機能の ON/OFF を設定します。
SHUTTER DISP	シャッターの表示を設定します。
SHUTTER MODE	カメラのシャッターモードを選択します。
SHUTTER SPEED	カメラのシャッター速度を選択します。
AUTO SHUT LIMIT	自動シャッターモード ([ELC(AUTO)]) の最大シャッター値を設定します。
SLOW SHUTTER	スローシャッター機能の設定を行います。

■ AUTO EXPOSURE

項目	設定内容
PICTURE LEVEL	自動露出補正の目標映像レベルを設定します。
BACKLIGHT COMP	逆光補正機能の設定を行います。
SPOTLIGHT COMP	スポットライト補正機能の設定を行います。
FLICKER COMP	フリッカー軽減機能の設定を行います。

■ PED

項目	設定内容
MASTER PED	黒レベルの調整（ペデスタル調整）を行います。
R PED	Rch のペデスタルを調整します。
G PED	Gch のペデスタルを調整します。
B PED	Bch のペデスタルを調整します。
OFFSET	オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、Bch のペデスタルレベルを設定します。 OFF ：[R PED]、[G PED]、[B PED] の値を [0] にします。 ON ：[R PED]、[G PED]、[B PED] であらかじめ設定した値を保持したままにします。

■ GAMMA

項目	設定内容
GAMMA MODE	ガンマカーブのモードを選択します。
MASTER GAMMA	マスターガンマ補正レベルを調整します。
R GAMMA	Rchのガンマ補正レベルを調整します。
B GAMMA	Bchのガンマ補正レベルを調整します。
F-REC D. LEVEL	[GAMMA MODE] で[FILM REC]を選択しているとき、ダイナミックレンジを設定します。
F-REC B. STRCH	[GAMMA MODE] で[FILM REC]を選択しているとき、ブラックストレッチを設定します。
V-REC KNEE SLP	[GAMMA MODE] で[VIDEO REC]を選択しているとき、ニースロープを設定します。
V-REC KNEE PT	[GAMMA MODE] で[VIDEO REC]を選択しているとき、ニーポイントを設定します。
INITIAL GAMMA	[GAMMA MODE] で[HD]を選択しているとき、ガンマカーブの立ち上がり傾きを設定します。
OFFSET GAMMA	ガンマ特性を微調整します。

■ CONTRAST

項目	設定内容
CONTRAST	映像のコントラストを調整します。

■ DETAIL

項目	設定内容
DETAIL SW	映像の輪郭（映像のシャープさ）の調整のON/OFFを設定します。
MASTER DETAIL	輪郭補正レベル（マスター）の調整を行います。
PEAK(DTL) FREQ	ディテールのブースト周波数を設定します。
DETAIL GAIN(+)	プラス方向（明るくする方向）のディテールレベルを設定します。
DETAIL GAIN(-)	マイナス方向（暗くする方向）のディテールレベルを設定します。
KNEE APERT LVL	高輝度部（非常に明るい部分）のディテールレベルを設定します。
LVL DEP SW	暗部ディテールを除去するレベルのON/OFFを設定します。
LVL DEPENDENT	輝度信号のディテールを強調しているときは暗部のディテールを圧縮しています。 値が大きいくほど、明るい部分のディテールも圧縮する設定となります。

■ KNEE

項目	設定内容
KNEE MODE	階調圧縮（ニー）の動作モードを設定します。
AUTO KNEE RESP	オートニー応答速度を設定します。 設定値が小さいほど応答速度が速くなります。
K. MASTER POINT	高輝度映像信号の圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
K. MASTER SLOPE	ニーの傾きを設定します。
KNEE R POINT	[K. MASTER POINT]に対してRchの圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
KNEE R SLOPE	[K. MASTER SLOPE]に対してRchの傾きを設定します。
KNEE B POINT	[K. MASTER POINT]に対してBchの圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
KNEE B SLOPE	[K. MASTER SLOPE]に対してBchの傾きを設定します。

■ WHITE CLIP

項目	設定内容
WHITE CLIP SW	ホワイトクリップ機能のON/OFFを設定します。
M. W. CLIP LEVEL	マスターホワイトクリップレベルを設定します。
R W. CLIP LEVEL	[M. W. CLIP LEVEL]に対してRchのホワイトクリップレベルを設定します。
B W. CLIP LEVEL	[M. W. CLIP LEVEL]に対してBchのホワイトクリップレベルを設定します。
HI-COLOR SW	色のダイナミックレンジを拡大する機能のON/OFFを設定します。
HI-COLOR LEVEL	色のダイナミックレンジを拡大する機能のレベルを設定します。

■ CHROMA

項目	設定内容
CHROMA LVL SW	映像の色の濃淡、位相設定のON/OFFを設定します。
CHROMA LEVEL	映像の色の濃淡を設定します。
CHROMA PHASE	映像の色の位相の微調整を行います。

■ MATRIX

項目	設定内容
MATRIX SW	マトリクス (リニアマトリクス/カラーコレクション) のON/OFFを設定します。
PRESET MATRIX	マトリクスのタイプを選択します。
LINEAR MTX SW	リニアマトリクス機能のON/OFFを設定します。
LINEAR TABLE	リニアマトリクスのテーブルを選択します。
R-G N、R-G P、 R-B N、R-B P、 G-R N、G-R P、 G-B N、G-B P、 B-R N、B-R P、 B-G N、B-G P	リニアマトリクスを調整します。

■ COLOR CORRECTION

項目	設定内容
MATRIX SW	マトリクス (リニアマトリクス/カラーコレクション) のON/OFFを設定します。
PRESET MATRIX	マトリクスのタイプを選択します。
COLOR CORR SW	カラーコレクション機能のON/OFFを設定します。
C. CORR TABLE	カラーコレクションのテーブルを選択します。
CORR AXIS	飽和度と色相の調整を行う軸を選択します。
SAT CORR	[CORR AXIS] で選択した色の飽和度を調整します。
PHASE CORR	[CORR AXIS] で選択した色の色相を調整します。
SAT B_MG	青とマゼンタの中間色の飽和度を調整します。
PHASE B_MG	青とマゼンタの中間色の色相を調整します。
SAT MG	マゼンタの飽和度を調整します。
PHASE MG	マゼンタの色相を調整します。
SAT MG_R	マゼンタと赤の中間色の飽和度を調整します。
PHASE MG_R	マゼンタと赤の中間色の色相を調整します。
SAT MG_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3 の色の飽和度を調整します。
PHASE MG_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3 の色の色相を調整します。
SAT R	赤の飽和度を調整します。
PHASE R	赤の色相を調整します。
SAT R_R_YL	赤と黄の比率が 3:1 の色の飽和度を調整します。
PHASE R_R_YL	赤と黄の比率が 3:1 の色の色相を調整します。
SAT R_YL	赤と黄の中間色の飽和度を調整します。
PHASE R_YL	赤と黄の中間色の色相を調整します。
SAT_R_YL_YL	赤と黄の比率が 1:3 の色の飽和度を調整します。
PHASE R_YL_YL	赤と黄の比率が 1:3 の色の色相を調整します。
SAT YL	黄の飽和度を調整します。
PHASE YL	黄の色相を調整します。
SAT YL_YL_G	黄と緑の比率が 3:1 の色の飽和度を調整します。
PHASE YL_YL_G	黄と緑の比率が 3:1 の色の色相を調整します。
SAT YL_G	黄と緑の中間色の飽和度を調整します。
PHASE YL_G	黄と緑の中間色の色相を調整します。
SAT G	緑の飽和度を調整します。
PHASE G	緑の色相を調整します。
SAT G_CY	緑とシアンの中間色の飽和度を調整します。
PHASE G_CY	緑とシアンの中間色の色相を調整します。
SAT CY	シアンの飽和度を調整します。
PHASE CY	シアンの色相を調整します。
SAT CY_B	シアンと青の中間色の飽和度を調整します。
PHASE CY_B	シアンと青の中間色の色相を調整します。
SAT B	青の飽和度を調整します。
PHASE B	青の色相を調整します。

■ HDR PAINT

項目	設定内容
HDR SW	HDRモードのON/OFF（SDR）を設定します。
HLG MODE	HLGの設定モードを選択します。
KNEE SW	ニーのON/OFFを設定します。
KNEE POINT	ニーポイントの位置を設定します。
KNEE SLOPE	ニーの傾きを設定します。
B. GAMMA SW	ブラックガンマのON/OFFを設定します。
MASTER BLK GAM	マスターブラックガンマ補正レベルを調整します。
R BLK GAMMA	Rchのブラックガンマ補正レベルを調整します。
B BLK GAMMA	Bchのブラックガンマ補正レベルを調整します。
SDR CONV MODE	SDRに変換するモードを選択します。
SDR GAIN	SDR映像のゲインを設定します。
SDR POINT	SDR映像に圧縮を開始する映像レベルを設定します。
SDR SLOPE	SDR映像に圧縮する傾きを設定します。
SDR BLK OFFSET	SDR映像の黒レベルオフセットを調整します。

CAMERA SETTING

本機に接続したカメラのPAINT以外のメニューに関する設定を行います。

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM1
TALLY: □ □ □
1/2

1 BASIC CONFIG
2 GROUP CAM CONTROL
3 LENS
4 PAN TILT
5 CROP
6 BUILT-IN AUTO TRACK
7 HOUSING
8 REC
9 CAM BACKUP
10 MAINTENANCE

1
2
3
4
5

1/1

CAM1
TALLY: □ □ □
2/2

11 REMOTE BACK FOCUS
12 PT HEAD
13 CAMERA MENU OPE

1
2
3
4
5

1/1

■ BASIC CONFIG

項目	設定内容
SHOOTING MODE	撮影環境に応じた撮影モード（通常の撮影または高感度／低照度撮影）を選択します。
GAMUT	色域を設定します。
DAY/NIGHT	通常撮影と暗視撮影（赤外線照射による暗視撮影）を切り替えます。
MIRROR	映像の左右反転機能の設定を行います。
BAR ID	カラーバー上のID表示のON/OFFを選択します。
CAM FAN1	冷却ファン1の動作を設定します。
CAM FAN2	冷却ファン2の動作を設定します。

■ GROUP CAM CONTROL

項目	設定内容
CAM POWER	接続しているリモートカメラに対する、電源のON/OFF（スタンバイ）指示を行います。 NOT EXECUTED： 電源のON/OFFの指示を行いません。 GROUP OFF： 選択中のカメラグループに属するリモートカメラに対して、電源OFF（スタンバイ）の指示を行います。 GROUP ON： 選択中のカメラグループに属するリモートカメラに対して、電源ONの指示を行います。 ALL OFF： 本機に設定されているリモートカメラに対して、電源OFF（スタンバイ）の指示を行います。 ALL ON： 本機に設定されているリモートカメラに対して、電源ONの指示を行います。 ● 接続されているリモートカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでの時間を要することがあります。
CAM AWB	同じグループ内のカメラ、または接続設定されているすべてのカメラに対して、本機からオートホワイトバランスの設定を一括操作します。 NOT EXECUTED：一括操作を行いません。 ALL AWB : 接続設定しているすべてのカメラを一括操作します。 GROUP AWB : 選択中のグループ内のカメラを一括操作します。
CAM ABB	同じグループ内のカメラ、または接続設定されているすべてのカメラに対して、本機からオートブラックバランスの設定を一括操作します。 NOT EXECUTED：一括操作を行いません。 ALL ABB : 接続設定しているすべてのカメラを一括操作します。 GROUP ABB : 選択中のグループ内のカメラを一括操作します。
CAM BAR	同じグループ内のカメラ、または接続設定されているすべてのカメラに対して、本機からカラーバー出力のON/OFFを一括操作します。 NOT EXECUTED : 一括操作を行いません。 ALL ON・ALL OFF : 接続設定しているすべてのカメラを一括操作します。 GROUP ON・GROUP OFF : 選択中のグループ内のカメラを一括操作します。
SCENE	シーン切り替えの対象を設定します。 NOT EXECUTED：シーン切り替えの対象を指定しません。 ALL SCENE1 ～ ALL SCENE4： 接続設定しているすべてのカメラをSCENE1 ～ SCENE4に切り替えます。 GROUP SCENE1 ～ GROUP SCENE4： 選択中のカメラと同じグループのカメラをSCENE1 ～ SCENE4に切り替えます。

■ LENS

項目	設定内容
O.I.S. SW	画面揺れ補正のON/OFFを選択します。
O.I.S. MODE	画面揺れ補正のモードを選択します。
D.I.S.S SW	パンチルト機構式画面揺れ補正を行います。
ZOOM MODE	ズーム方式(ズーム最大倍率)の切り替えを行います。
MAX D. ZOOM	デジタルズームの倍率の上限を設定します。
DIGITAL EXT	デジタルエクステンダー機能を選択します。
AUTO IRIS SPEED	オートアイリス機能の制御スピードを設定します。
A.IRIS WINDOW	オートアイリス検出ウィンドウを選択します。
A. IRIS PEAK R.	オートアイリス時のアイリス制御について、測光のピーク値と平均値のどちらに比重を置くか割合を設定します。
IRIS RANGE	アイリス調整ジョイスティックによるオートアイリスレベルの微調整範囲を設定します。
IRIS GAIN	オートアイリスの測光速度の調整方法を切り替えます。
AF SENSITIVITY	オートフォーカス機能の追従モードを設定します。
FOCUS ADJ w PTZ	カメラのパン/チルト/ズーム操作時に、フォーカスのずれを自動補正する機能をON/OFFします。
AF AREA SIZE	オートフォーカスエリアサイズを調整します。
FACE DETECT AF	顔を自動検出した領域付近でフォーカス調整する機能です。
FACE AF MARKER	自動検出した顔の枠を表示するかどうかを選択します。
FACE AF TIMEOUT	顔を自動検出していた状態から検出できない状態に遷移した時、通常のオートフォーカス領域に戻るまでの時間を設定します。
AF AREA MARKER	オートフォーカスエリアマーカの表示を設定します。
AF MARK COLOR	オートフォーカスエリアマーカの縁の色を設定します。
AF MARK WIDTH	オートフォーカスエリアマーカの線の太さを設定します。
AF PRESET SEL	オートフォーカス機能の各種設定を保存するプリセットメモリーを設定します。
AF PRE SPEED	オートフォーカスの速度を設定します。
AF PRE AREA SIZE	オートフォーカスエリアサイズを調整します。
AF PRE AREA POS	オートフォーカスエリア位置を調整します。
AF PRESET 1	オートフォーカス設定(PRESET1)の有効/無効を設定します。
AF PRESET 2	オートフォーカス設定(PRESET2)の有効/無効を設定します。
AF PRESET 3	オートフォーカス設定(PRESET3)の有効/無効を設定します。
AF PRESET 4	オートフォーカス設定(PRESET4)の有効/無効を設定します。
AF PRESET 5	オートフォーカス設定(PRESET5)の有効/無効を設定します。

■ PAN TILT

項目	設定内容
P/T SPEED MODE	パン/チルト動作のスピードモードを設定します。
SPEED w/ ZOOM	ズーム倍率に連動して、パン/チルトのスピードを調整する機能の ON/OFF を設定します。 [ON] に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。
LIMIT (UP)	本機から、上限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
LIMIT (DOWN)	本機から、下限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
LIMIT (LEFT)	本機から、左限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
LIMIT (RIGHT)	本機から、右限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
P/T ACC SETTING	パン/チルトのマニュアル操作時の加減度等の詳細設定を行うかどうかを設定します。
RISE S-CURVE	パン/チルトの加速動作における S 字カーブを設定します（数字が大きいくほど S 字の程度が強くなります）。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定された S 字カーブにより加速処理を行います。
FALL S-CURVE	パン/チルトの減速動作における S 字カーブを設定します（数字が大きいくほど S 字の程度が強くなります）。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定された S 字カーブにより減速処理を行います。
RISE ACC	パン/チルトの加速動作における加速度を設定します（数字が大きいくほど加速度は大きくなります）。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。
FALL ACC	パン/チルトの減速動作における減速度を設定します（数字が大きいくほど減速度は大きくなります）。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。

■ CROP

項目	設定内容
CROP MODE	UHD (3840 × 2160) の映像から切り出しを行う機能 (CROP 機能) を設定します。 OFF : CROP 機能を無効にします。 ON (1080) : UHD (3840 × 2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1920 × 1080 で出力します。 ON (720) : UHD (3840 × 2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1280 × 720 で出力します。
CROP ADJUST	位置調整を行う切り出し枠の選択を行います。
H POS	[CROP ADJUST] で指定した切り出し枠の、水平方向の位置の設定を行います。 0 が左端となります。
V POS	[CROP ADJUST] で指定した切り出し枠の、垂直方向の位置の設定を行います。 0 が上端となります。
CROP OUT SEL	リモートカメラのクロップ映像を出力する端子の映像に使用する切り出し枠を選択します。
CROP MARKER	リモートカメラのクロップ映像を出力する端子以外から出力する映像に表示する、CROP 枠のマーカー表示の設定を行います。
CROP AF	[CROP OUT SEL] で指定した CROP 枠内の映像で、フォーカス調整 (ピント合わせ) 機能の ON/OFF を選択します。
CROP ZOOM	UHD (3840 × 2160) の映像から切り出しを行うときに、デジタルズームを用いた CROP を実施するかどうかの設定を行います。
SDI OUT	リモートカメラの 3G SDI OUT 端子から出力する映像の FULL/CROP の設定を行います。
NDI OUT	リモートカメラの NDI High Bandwidth から出力する映像の FULL/CROP の設定を行います。
IP OUT1	各 IP 配信の CH1 の配信映像の FULL/CROP の設定を行います。
IP OUT2	各 IP 配信の CH2 ~ CH3 の配信映像の FULL/CROP の設定を行います。

NOTE

- メイン LCD 上でのクロップ操作については、「クロップ機能」(69 ページ) を参照してください。
- カメラの取扱説明書も参照してください。

■ BUILT-IN AUTO TRACK

項目	設定内容
A-TRACK ACTIVE	カメラの内蔵自動追尾モードを設定します。 「ENABLE」に設定すると、人物の検出が開始します。このメニューの以降の項目に従って、追尾枠の表示や、追尾の開始と停止ができます。詳細はカメラの取扱説明書も参照してください。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN]のユーザーボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]ACTV」
TRACK S/S	カメラの内蔵自動追尾を開始または停止します。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN]のユーザーボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]TRK S/S」
TRACK STATUS	内蔵自動追尾の追尾状態を表示します。
ANGLE	内蔵自動追尾時の画角を設定します。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN]のユーザーボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]FULL」、「[B.A.T.]U-BODY」
MARKER	追尾枠を表示するかどうかを設定します。「ON」に設定すると追尾枠が表示されます。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN]のユーザーボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]MARKER」
HOME POSITION	追尾対象を見失ったときの動作を設定します。
TRACK A. START	起動直後などに自動追尾を開始するかを設定します。「ENABLE」で起動直後などに自動追尾を開始します。

NOTE

- [A-TRACK ACTIVE]と[TRACK STATUS]はステータス画面のページ3で確認が可能です。詳細は「ステータス画面」（30ページ）を参照してください。

■ HOUSING

項目	設定内容
HEATER	ヒーターの動作を設定します。
DEFROSTER	霜取り装置の動作を設定します。
WIPER	ワイパーの動作を設定します。
WASHER	洗浄液を噴射することにより、レンズ部の洗浄を行います。

■ REC

項目	設定内容
REC START	録画を開始します。
REC STOP	録画を停止します。
REC STATUS	録画の状態を表示します。

■ CAM BACKUP

項目	設定内容
MODE	接続しているカメラの設定データをUSBメモリーに保存 (STORE) するか、USBメモリーから読み込む (LOAD) かを選択します。 メモリーをフォーマットする場合には、「FORMAT」を選択します。 [MODE] が [LOAD] または [STORE] のとき → [SELECT] : CAMERA ALL、SCENE1、SCENE2、SCENE3、SCENE4… [MODE] が「FORMAT」のとき → [SELECT] : ---
SELECT	[CAMERA ALL]（カメラの設定）または、[SCENE]（SCENE データ）を選択します。
USB DEVICE SELECT	操作するUSBメモリーを選択します。
FILE	[MODE] が [STORE] のとき、保存するデータのファイル番号を選択します。 [SELECT]=[CAMERA ALL] のときのみ有効です。
FILE NAME	[MODE] が「LOAD」のとき読み込むファイル名を選択します。
EXECUTE	[MODE] が [LOAD] のとき、「YES」を選択すると、ファイルを読み出します。 [MODE] が「STORE」のとき、「YES」を選択すると、ファイルを保存します。 [MODE] が「FORMAT」のとき、「YES」を選択すると、USBメモリーの初期化を行います。

NOTE

- 詳細は、「各種データのバックアップについて」（73 ページ）を参照してください。

■ MAINTENANCE

項目	設定内容
ALARM1 ～ ALARM5	選択中のカメラから通知されたアラームを一覧表示します。 [ALARM1] から [ALARM5] には、重要度が高い順番にアラーム情報が表示されます。通知がない場合は「—」が表示されます。 詳細は「メッセージ一覧」（151 ページ）を参照してください。

■ REMOTE BACK FOCUS

項目	設定内容
BACK FOCUS ADJ	バックフォーカス調整モードの有効 / 無効を選択します。
ZOOM TELE END	ズーム位置をテレ端まで自動で移動します。
ZOOM WIDE END	ズーム位置をワイド端まで自動で移動します。
BACK FOCUS POS	手でフォーカス位置を調整します。操作中はフォーカス位置がモニターに表示されます。
RESET TO PREV	バックフォーカス調整データを変更前の状態に戻します。

■ PT HEAD

項目	設定内容
LENS CTRL SRC	ズーム、フォーカス、アイリスの制御をカメラで行うかパンチルトヘッドで行うかを選択します。
ZOOM CTRL SRC	ズームの制御をカメラで行うかパンチルトヘッドで行うかを選択します。
FOCUS CTRL SRC	フォーカスの制御をカメラで行うかパンチルトヘッドで行うかを選択します。
IRIS CTRL SRC	アイリスの制御をカメラで行うかパンチルトヘッドで行うかを選択します。

■ CAMERA MENU OPE

項目	設定内容
MENU	カメラの OSD の ON/OFF を切り替えます。
UP/DOWN	CAMERA OSD ON/OFF ボタンが点灯しているときに、ダイヤルを回してメニューを選択し、押して決定します。
LEFT/RIGHT	CAMERA OSD ON/OFF ボタンが点灯しているときに、メニュー階層の移動を行います。
ENTER	CAMERA OSD ON/OFF ボタンが点灯しているときに、選択を決定します。
CANCEL	CAMERA OSD ON/OFF ボタンが点灯しているときに、選択をキャンセルします。

RP MENU

- 本機の制御に関する設定を行います。
- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM1

TALLY: □ □ □

1/2

<	1 BASIC CONFIG	2 USER ASSIGN	3 CONTROL I/F	4 CTRL DIRECTION	5 MAINTENANCE	>
	6 GPI TALLY	7 GPIO CAM SEL	8 GPO CAM GROUP	9 GPI PMEM	10 GPI PMEM GROUP	
1						^
2						
3						1/2
4						
5						v

CAM1

TALLY: □ □ □

2/2

<	11 RP BACKUP					>
1						^
2						
3						1/1
4						
5						v

■ BASIC CONFIG

— は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
AUTO CAM P.ON	DISABLE ENABLE	本機の電源（ON）と連動して、本機に接続されている、リモートカメラの電源が入ります。 ● 接続されているリモートカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでの時間を要することがあります。
RP FAN	AUTO SILENT	本機の冷却ファンの動作を設定します。
LED LEVEL	1 ～ 3 ～ 20	操作パネルのボタンの輝度を設定します。
LCD LEVEL	1 ～ 10 ～ 31	LCD パネルの輝度を設定します。
MULTI-SEL LEVEL	1 ～ 10 ～ 31	マルチセレクトスイッチの輝度を設定します。
BEEP SOUND	0 ～ 2 ～ 3	ボタンやマルチセレクトスイッチの操作時のブザー音の音量を設定します。
CAM LOCK MODE	NORMAL AUTO	NORMAL ：カメラ選択切り替え時に自動的にCAM CTRL LOCKのLOCK/UNLOCKを行いません。 AUTO ：カメラ選択切り替え時に自動的にCAM CTRL LOCKのLOCK/UNLOCKを行います。
CAM CTRL LOCK	UNLOCK LOCK	「LOCK」を選択すると、本機と現在選択中のリモートカメラの制御を、他のリモコンから制御できないようにします。LOCK中は、LOCKを実行したリモコンからのみ現在選択中のリモートカメラを制御できます。 なお、LOCK中に他のリモートカメラに切り替えた場合、カメラ選択前のリモートカメラとのLOCKは保持されますが、選択後のリモートカメラとのLOCKはされません。 LOCK中は、メインLCDのTOPのCamera Name表示の隣に鍵マークが表示されます。（詳細は「ステータス画面」（30ページ）を参照してください）「UNLOCK」を選択すると、LOCKが解除されて鍵マークが消えます。 緑の鍵マーク ： 本機でLOCKが実行されたことを意味します。 赤の鍵マーク ： 他のリモコンでLOCKされていることを意味します。この場合は操作が行えません。
CAM SEL IN OPER	DISALLOW ALLOW	パン/チルト、ズーム、フォーカスの操作中の動作を設定します。 DISALLOW ：操作中はカメラ選択を禁止します。 ALLOW ：操作中でもカメラ選択を可能にします。 NOTE ● 「ALLOW」のとき、操作中にカメラを切り替えると、選択前のカメラに対して停止などの指示が行えなくなります。ご注意ください。
CAM NUM DISP	NUM SET IN RP NUM SET IN CAM	NUM SET IN RP ：本機で接続設定したカメラ番号を、本機に表示するカメラ番号として表示します。 NUM SET IN CAM ：カメラ側で管理されているカメラ番号を、本機に表示するカメラ番号として表示します。
IN-CAMERA NUM	1 ～ 99	カメラ側で管理されているカメラ番号の設定値を変更します。[CAM NUM DISP]=[NUM SET IN CAM]のときに有効です。
VIDEO FREQ	59.94Hz 50Hz	外部入力映像の周波数を選択します。詳細は「本運用の前に」（25ページ）を参照してください。
VIDEO IN SELECT	SDI NDI SRT	メインLCDおよびSDI OUTに出力する外部入力映像の入力ソースを選択します。
VIDEO MARKER	OFF FOCUS PEAK	ピーキング機能のON/OFFを選択します。
TALLY DISP	TOP ONLY TOP/CAM NUM	TOP ONLY ：メインLCDのステータス画面でのタリー色の表示を画面上部の「TALLY」のみに表示します。 TOP/CAM NUM ：メインLCDのステータス画面でのタリー色の表示を画面上部の「TALLY」に加えて、カメラ番号を表示している箇所にも表示します。 詳細は「ステータス画面」（30ページ）を参照してください。
SER BAUD RATE	9600 38400 115200	RS-422 端子のボーレートを設定します。

■ USER ASSIGN

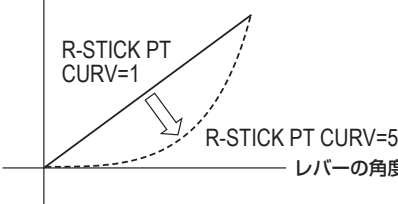
____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
USER1	ONE TOUCH AF	ユーザーボタンUSER1～USER10、R-ジョイスティックUSERボタンに対して、各種の機能の割り当てが行えます。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）を参照してください。
USER2	FOCUS PEAK	
USER3	NIGHT MODE	
USER4	MACRO1	
USER5	MACRO2	
USER6	NONE	
USER7	NONE	
USER8	NONE	
USER9	NONE	
USER10	NONE	
R-STICK BUTTON	NONE	
F1	SCENE	ファンクションダイヤル（F1～F4）に対して、各種の機能の割り当てが行えます。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）を参照してください。
F2	L-STICK	
F3	2nd CAM NUM	
F4	PAGE SWITCHING	

■ CONTROL I/F

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
L-ROCKER	ZOOM	L-ロッカー、R-ロッカー・フォーカスダイヤル・アイリスダイヤルに割り当てる機能を設定します。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）を参照してください。
R-ROCKER	ZOOM	
FOCUS DIAL	FOCUS	
IRIS DIAL	IRIS	
ZOOM CTRL CALIB	OFF 1～8	ZOOM ボタンをゆっくり押し込んだときにレンズズームがスムーズに動き始めるように、本機から送信するズーム制御量を補正します。 ZOOM ボタンをゆっくりと押し込み、レンズのズームがスムーズに動き始めるかをモニター上で映像を見ながら確認します。 補正量は[1]で最も少なく、[8]で最も多くなります。 [OFF]にすると補正しない状態になります。
MANU IRIS LIMIT	OFF ON	選択中のカメラのマニュアルアイリス操作において、Close方向ヘリミッターを設定します。目的のアイリスの位置で「ON」に設定すると、それ以上Close側への操作ができなくなります。 「OFF」に設定すると解除されます。
SYNC ENBL BTN	ALL CTRL I/F IRIS ONLY L-STICK ONLY	FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLE ボタン[ENABLE]のFOCUSダイヤル、L-ロッカー、IRISダイヤル、L-ジョイスティックの操作の有効／無効機能の範囲を設定することができます。 ALL CTRL I/F： FOCUSダイヤル、L-ロッカー、IRISダイヤル、L-ジョイスティックの操作の有効／無効がENABLE ボタンの有効・無効に従います。 IRIS ONLY： IRISダイヤルのみ操作の有効／無効がENABLE ボタンの有効・無効に従います。（FOCUSダイヤル、L-ロッカー、L-ジョイスティックの操作はENABLE ボタンの状態にかかわらず、有効のままとなります） L-STICK ONLY： L-ジョイスティックのみ操作の有効／無効がENABLE ボタンの有効／無効に従います。（FOCUSダイヤル、L-ロッカー、IRISダイヤルの操作はENABLE ボタンの状態にかかわらず、有効のままとなります）

項目	設定値	設定内容
R-STICK PT CURV	1 ~ 5	R-ジョイスティックを傾けたときの角度と動作速度の関係を調整することができます。 動作速度 
AF BUTTON CTRL	SHORT PRESS LONG PRESS	オートフォーカスボタンのON/OFFの操作について設定します。 SHORT PRESS : 短押しで、オートフォーカスのON/OFFを切り替えることができます。 LONG PRESS : 長押しで、オートフォーカスのON/OFFを切り替えることができます。
L-STICK	MENU	L-ジョイスティックに割り当てる機能を設定します。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。
2nd CAM NUM	CAM1 ~ CAM200	L-ジョイスティックで制御するカメラ番号を選択します。
L-STICK SPEED	1 ~ 3 ~ 6	L-ジョイスティックの制御速度を選択します。 ● 盤面にあるPAN/TILT SPEEDダイヤル相当のメニューです。

■ CTRL DIRECTION

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CTRL MODE	ALL CAM INDIVIDUAL	以下の各種制御方向の設定を適用するカメラを選択します。 ALL CAM : 本機に接続するすべてのカメラに適用します。 INDIVIDUAL : 次の[CAM SEL]で設定するカメラのみに適用します。
CAM SEL	CAM1 ~ CAM200	選択したカメラ番号に対して、以降の設定が行えます。
R-STICK PAN	NORMAL REVERSE	R-ジョイスティックのPAN操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : R-ジョイスティックを左側に倒すとリモートカメラが左方向に動作し、右側に倒すと右方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。
R-STICK TILT	NORMAL REVERSE	R-ジョイスティックのTILT操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : R-ジョイスティックを奥側に倒すとリモートカメラが上方向に動作し、手前側に倒すと下方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。
L-STICK PAN	NORMAL REVERSE	L-ジョイスティックのPAN操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : L-ジョイスティックを左側に倒すとリモートカメラが左方向に動作し、右側に倒すと右方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。
L-STICK TILT	NORMAL REVERSE	L-ジョイスティックのTILT操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : L-ジョイスティックを奥側に倒すとリモートカメラが上方向に動作し、手前側に倒すと下方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。
R-ROCKER ZOOM	NORMAL REVERSE	R-ロッカーのZOOM操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : ロッカーの下側を押すとズーム動作が望遠側に動作し、上側を押すと広角側に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。

項目	設定値	設定内容
R-ROCKER FOCUS	NORMAL REVERSE	R-ロッカーのFOCUS 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : ロッカーの上側を押すとフォーカス動作が遠距離側に動作し、下側を押すと近距離側に動作します。 REVERSE : NORMAL と逆方向に動作します。
L-ROCKER ZOOM	NORMAL REVERSE	L-ロッカーのZOOM 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : ZOOM ボタンの TELE 側を押すとズーム動作が望遠側に動作し、WIDE 側を押すと広角側に動作します。 REVERSE : NORMAL と逆方向に動作します。
F-DIAL FOCUS	NORMAL REVERSE	FOCUS ダイアルのFOCUS 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとフォーカスが遠距離側に動き、反時計方向に回すとフォーカスが近距離側に動きます。 REVERSE : NORMAL と逆方向に動作します。
F-DIAL IRIS	NORMAL REVERSE	FOCUS ダイアルのIRIS 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとレンズ絞りが開く方向に動き、反時計方向に回すとレンズ絞りが閉じる方向に動きます。 REVERSE : NORMAL と逆方向に動作します。
I-DIAL FOCUS	NORMAL REVERSE	IRIS ダイアルのFOCUS 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとフォーカスが遠距離側に動き、反時計方向に回すとフォーカスが近距離側に動きます。 REVERSE : NORMAL と逆方向に動作します。
I-DIAL IRIS	NORMAL REVERSE	IRIS ダイアルのIRIS 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとレンズ絞りが開く方向に動き、反時計方向に回すとレンズ絞りが閉じる方向に動きます。 REVERSE : NORMAL と逆方向に動作します。

NOTE

- 「本機の操作のカスタマイズ」（34 ページ）も併せてご参照ください。

■ MAINTENANCE

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
FACTORY RESET	NO YES	ネットワークの設定を含む、本機で管理している設定を、すべて工場出荷状態に戻します。
MENU RESET	NO YES	ネットワークの設定を除く、本機で管理しているメニュー設定を、すべて工場出荷状態に戻します。
WEB PASS RESET	NO YES	Web 画面へログインするときのアカウント情報の設定を工場出荷状態に戻します。「Web 画面の表示」（122 ページ）を併せて参照してください。
FW UPDATE	NO YES	本機のソフトウェアをアップデートします。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
SYSTEM VERSION	—	本機システムのバージョンを表示します。
SOFT VERSION	—	ソフトウェアのバージョンを表示します。
FPGA VERSION	—	FPGA のバージョンを表示します。
ALARM1	—	本機のアラームを一覧表示します。
ALARM2	—	[ALARM1] から [ALARM4] には、重要度の高い順番にアラーム情報が表示されます。通知がない場合は「—」が表示されます。
ALARM3	—	
ALARM4	—	

■ GPI TALLY

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
GPI0 MODE	MODE1 MODE2 MODE3	DSUB1 と DSUB2 の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(156ページ)を参照してください。
TALLY OUT	OFF ON ____	GPIO 1 端子のポートに TALLY が入力された場合に、カメラ側に TALLY 通知を行うかを設定します。 ON : 通知する OFF : 通知しない
TALLY1	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN1 もしくは、G_TALLY_IN1 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY2	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN2 もしくは、G_TALLY_IN2 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY3	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN3 もしくは、G_TALLY_IN3 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY4	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN4 もしくは、G_TALLY_IN4 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY5	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN5 もしくは、G_TALLY_IN5 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY6	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN6 もしくは、G_TALLY_IN6 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY7	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN7 もしくは、G_TALLY_IN7 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY8	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN8 もしくは、G_TALLY_IN8 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY9	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN9 もしくは、G_TALLY_IN9 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY10	CAM1 : CAM200	GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_IN10 もしくは、G_TALLY_IN10 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。

NOTE

- TALLY の通知は、現在選択されているカメラグループに該当するカメラが存在する場合に通知します。現在選択されていないカメラグループに対する TALLY の入力があっても、カメラには通知されません。

■ GPIO CAM SEL

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
GPIO MODE	MODE1 MODE2 MODE3	DSUB1 と DSUB2 の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」（156 ページ）を参照してください。
IN1	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN1 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN2	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN2 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN3	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN3 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN4	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN4 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN5	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN5 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN6	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN6 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN7	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN7 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN8	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN8 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN9	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN9 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN10	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_IN10 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
OUT1	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT1 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT2	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT2 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT3	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT3 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT4	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT4 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT5	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT5 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT6	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT6 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT7	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT7 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT8	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2 端子のポートの CAMERA_SELECT_OUT8 に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。

項目	設定値	設定内容
OUT9	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT9に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT10	CAM1 ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT10に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。

NOTE

- GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_INに対する動作において、現在選択中のカメラグループ以外のカメラ番号が指定されたときには、カメラグループ切り替えが発生します。この場合、カメラの選択に時間がかかります。
- GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUTに対する動作は、現在選択中のカメラグループに該当するカメラ番号に対しての動作となります。

■ GPO CAM GROUP

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
GPIO MODE	MODE1 MODE2 MODE3	DSUB1とDSUB2の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(156ページ)を参照してください。
OUT1	GROUP1 ⋮ GROUP20	GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_1に出力します。
OUT2	GROUP1 ⋮ GROUP20	GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_2に出力します。
OUT3	GROUP1 ⋮ GROUP20	GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_3に出力します。
OUT4	GROUP1 ⋮ GROUP20	GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_4に出力します。
OUT5	GROUP1 ⋮ GROUP20	GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_5に出力します。

■ GPI PMEM

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
GPIO MODE	MODE1 MODE2 MODE3	DSUB1 と DSUB2 の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(156 ページ) を参照してください。
IN1	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN1 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN2	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN2 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN3	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN3 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN4	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN4 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN5	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN5 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN6	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN6 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN7	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN7 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN8	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN8 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN9	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN9 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。
IN10	PMEM1 ⋮ PMEM100	GPIO 2 端子において、PRESET_SELECT_IN10 が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。

■ GPI PMEM GROUP

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
GPIO MODE	MODE1 MODE2 MODE3	DSUB1 と DSUB2 の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(156 ページ) を参照してください。
PMEM GRP IN SEL	IN1 ⋮ IN4	GPIO 1 端子の PRESET_MEM_GROUP_IN1 ～ 4 への各入力に対して、最大で 10 台のカメラのプリセットメモリー再生を指示できるようにします。
PMEM MODE	OFF SEPARATE ALL	GPIO 1 端子の PRESET_MEM_GROUP_IN1 ～ 4 への各入力に対して、動作モードを設定します。 OFF : PRESET_MEM_GROUP_IN1 ～ 4 に入力があってもプリセットメモリーの再生は行いません。 SEPARATE : PRESET_MEM_GROUP_IN1 ～ 4 に入力があった場合に、以降の SEL1 ～ SEL10 までの設定に従って、プリセットメモリーの再生指示を行います。 ALL : PRESET_MEM_GROUP_IN1 に入力があったときに、接続しているすべてのカメラに対して、SEL1 PMEM で設定されたプリセットメモリー番号の再生指示を行います。
SEL1 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。

項目	設定値	設定内容
SEL1 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL1 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 ただし、[PMEM MODE] が [ALL] のときには、接続しているすべてのカメラに再生指示するための プリセットメモリー番号を設定します。
SEL2 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL2 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL2 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL3 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL3 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL3 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL4 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL4 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL4 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL5 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL5 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL5 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL6 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL6 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL6 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL7 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL7 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL7 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL8 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL8 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL8 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL9 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL9 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL9 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。
SEL10 CAM	CAM1 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL10 PMEM	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL10 CAM で選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。

■ RP BACKUP

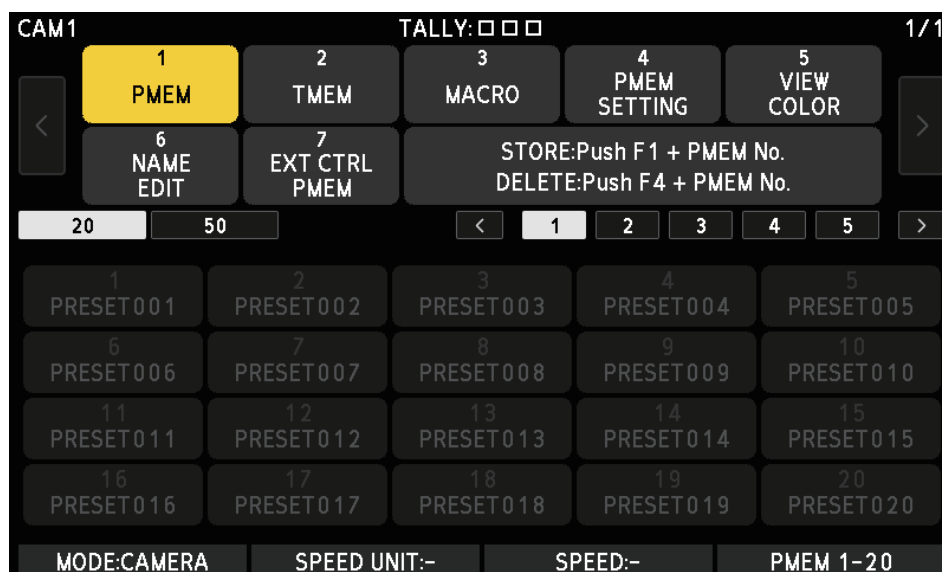
項目	設定内容
MODE	本機の設定データをUSBメモリーに保存 (STORE) するか、USBメモリーから読み込む (LOAD) かを選択します。 メモリーをフォーマットする場合には、「FORMAT」を選択します。 [MODE] が [LOAD] または [STORE] のとき → [SELECT] : ALL・RP SETTING・TMEM・MACRO・CONN SETTING・STREAM DECK・CAM CTRL INFO [MODE] が「FORMAT」のとき → [SELECT] : ---
SELECT	下記いずれかのデータの種類を選択します。 ALL : 本機のほぼすべてのデータ RP SETTING : [ALL] から主に CONNECT 関連のメニューを抜いたデータ TMEM : 本機に登録した TMEM のデータ MACRO : 本機に登録した MACRO 関連のデータ CONN SETTING : 本機に登録した CONNECT SETTING のデータ STREAM DECK : 本機に登録した Stream Deck 関連のデータ CAM CTRL INFO : 本機に登録したカメラ制御関連のデータ
USB DEVICE SELECT	操作する USB メモリーを選択します。
FILE	[MODE] が [STORE] のとき、保存するデータのファイル番号を選択します。 [SELECT]=[ALL] のときのみ有効です。
FILE NAME	[MODE] が「LOAD」のとき読み込むファイル名を選択します。
EXECUTE	[MODE] が [LOAD] のとき、「YES」を選択すると、ファイルを読み出します。 [MODE] が「STORE」のとき、「YES」を選択すると、ファイルを保存します。 [MODE] が「FORMAT」のとき、「YES」を選択すると、USBメモリーの初期化を行います。

NOTE

- 詳細は、「各種データのバックアップについて」(73 ページ) を参照してください。

PMEM/TMEM/MACRO

- カメラのプリセットメモリー、トレーシングメモリー、マクロに関する設定を行います。
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



■ プリセットメモリー (PMEM) を操作する

本機から、リモートカメラのプリセットメモリーを操作することができます。
プリセットメモリーには、事前に調整しておいた下記設定を登録することができます。

- パン/チルト位置
- ズーム位置
- フォーカス位置
- レンズ絞り (マニュアルアイリスのみ)
- ホワイトバランス設定
- ゲイン

NOTE

- プリセットメモリーを登録できる数は、リモートカメラによって異なります。詳しくは、該当機種の取扱説明書を確認してください。
- プリセットメモリーとトレーシングメモリーの動作開始位置は、カメラのプリセットメモリーの1番～10番を共有しています。
先にプリセットメモリーの登録が実施されている場合に、トレーシングメモリーの登録が行われると上書きされますのでご注意ください。

■ トレーシングメモリー（TMEM）を操作する

本機には、接続しているリモートカメラに対して行った一連の操作を記録するトレーシングメモリー（TMEM）を内蔵しています。リモートカメラが動作した軌跡を再現することができます。

<トレーシングメモリー>

記録対象	カメラ番号 CAM1 ～ CAM10
記録可能な機能	パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、ホワイトバランスモード
記録時間	最大5分/各カメラ
記録メモリー数	最大10個/各カメラ

NOTE

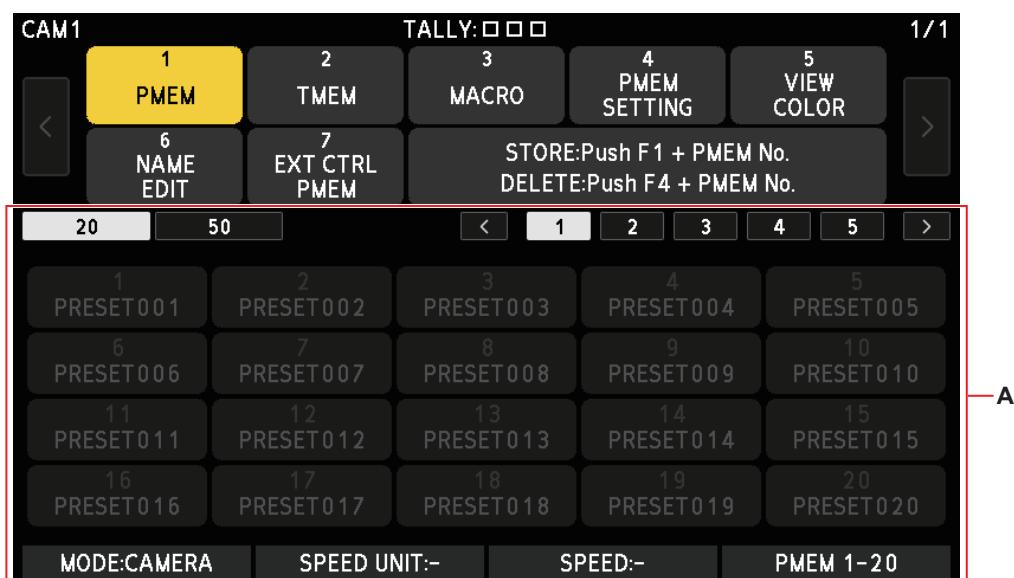
- トレーシングメモリーの動作開始位置は、プリセットメモリーと共有しています。
したがって、トレーシングメモリーの1番～10番の開始位置は、カメラのプリセットメモリーの1番～10番に記憶されます。
先にプリセットメモリーの登録が実施されている場合に、トレーシングメモリーの登録が行われると上書きされますのでご注意ください。
なお、トレーシングメモリーを登録したあとに、プリセットメモリーの登録を実施すると、トレーシングメモリーの開始位置は、プリセットメモリーとして登録された位置に置き換わります。
- リモートカメラの動きの誤差により、トレーシングメモリー再生時の最終点が、記録時と合わないことがあります。
以下のような注意をすることで誤差を軽減することができます。
 - ・レンズのズームをWIDE側（広角側）で使う
 - ・パン・チルト、ズーム、フォーカスをゆっくり動かす
 - ・記録時間を短くする
 トレーシングメモリーの再生を数回実行し、リモートカメラの動作を十分確認したうえで、運用を開始してください。

■ PMEM

- 選択中のリモートカメラのプリセットメモリーの登録状態の確認と、プリセットメモリー番号を選択するとプリセットメモリーの操作が行えます。
※プリセットメモリーの再生は「オペレーションモード」（49ページ）のモード2、モード3または「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」（60ページ）から行えます。
- Aの部分の仕様は「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」（60ページ）を参照してください。
- 本画面では、プリセットメモリーの登録・削除も行うことができます。
 - ・プリセットメモリーの登録：F1ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする
 - ・プリセットメモリーの削除：F4ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする

NOTE

- [PMEM SETTING]>[STORE MODE]が[NO OVERWRITE]のときはすでに登録済みのプリセットメモリーには上書き登録できなくなります。



■ TMEM

- 選択中のリモートカメラのトレーシングメモリーの登録状態の確認と、トレーシングメモリーの操作が行えます。

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CTRL MODE	RECALL STORE RE-EDIT DELETE DELETE ALL	トレーシングメモリーに対する操作を選択します。 RECALL : 選択されている番号のトレーシングメモリーの再生を行います。 STORE : 選択されている番号にトレーシングメモリーの登録を行います。 RE-EDIT : 選択されている番号にトレーシングメモリーが保存されている場合、トレーシングメモリーを再編集して登録します。 ① 保存されているトレーシングメモリーを再生 ② ユーザーからの操作があれば、再生しているトレーシングメモリーを停止し、以降ユーザー操作を記憶 ③ ②で中断されるまでのトレーシングメモリー + ユーザー操作を再保存 DELETE : 選択されている番号のトレーシングメモリーの削除を行います。 DELETE ALL : すべてのトレーシングメモリーの削除を行います。
EXECUTE	NO YES	[CTRL MODE] で指定された操作を TMEM で選択されているトレーシングメモリー番号に対して実行します。
TMEM	1 ~ 10	現在選択されているトレーシングメモリー番号を表示します。
REMAINING TIME	記録可能な残り時間を表示	トレーシングメモリーの記録可能な残り時間を表示します。
1 ~ 10	1 ~ 10	登録されているトレーシングメモリー番号をオレンジ色で表示します。
DURATION	選択されているトレーシングメモリーの記録時間を表示	グレーで表示されます。(未登録の場合は 0m00s 表示)

● 登録手順



● トレーシングメモリー開始位置

トレーシングメモリー開始位置は対応するプリセットメモリーに上書き登録されます。

例) No.1 を再生

→ 開始点は [PRESET001] の位置

No.1 に登録

→ [PRESET001] が登録済み → 上書き登録

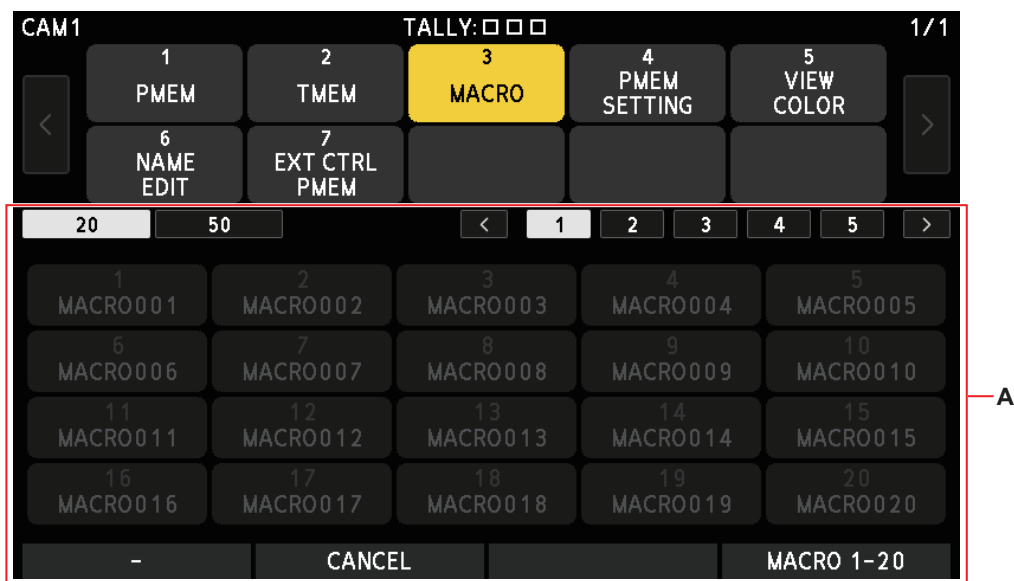
→ [PRESET001] が未登録 → [PRESET001] に登録される

NOTE

- トレーシングメモリーの操作を行うときは、複数のリモートカメラコントローラーから操作しないでください。
同じリモートカメラに対して、複数のリモートカメラコントローラーからトレーシングメモリーの操作を行うと、正しく動作しません。
- トレーシングメモリー再生中でも [RP MENU]>[CONTROL I/F]>[L-STICK]=[2nd CAM PT] を割り当てている場合、L-ジョイスティック・L-ロッカーを用いてトレーシングメモリー再生中以外のカメラを操作できます。
- トレーシングメモリー再生中にトレーシングメモリー再生を中断したい場合は、メインLCDに表示されているポップアップ画面の「STOP」を押してください。

■ MACRO

- マクロの登録状態の確認と、マクロ番号を選択するとマクロの操作が行えます。
※マクロの再生は「オペレーションモード」（49ページ）のモード4、モード5または「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリ制御・マクロ制御」（60ページ）からも行えます。
- Aの部分の仕様は「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリ制御・マクロ制御」（60ページ）を参照してください。
- マクロ機能については、「マクロ機能について」（33ページ）を参照してください。



■ PMEM SETTING

- プリセットメモリに関する基本設定を行います。

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
PMEM SCOPE	*1	プリセットメモリに登録されている項目に対して、再生する対象を指定します。
RECALL SPD SEL	CAMERA RP	プリセットメモリを再生するためのプリセットメモリスピードの再生モードを設定します。 CAMERA : リモートカメラに設定されているプリセットメモリスピードで再生します。 RP : プリセットメモリ登録時に登録されたプリセットメモリスピードで再生します。
SMART COMP	*1	プリセットメモリを再生したときの映像遷移方法を設定します。
RETURN TO HOME	NO YES	選択されたカメラをホームポジションに戻します。
SPEED UNIT	*1	プリセットメモリを再生するスピードのモードを設定します。
SPEED TABLE	*1	プリセットメモリ再生時のスピードのモードを設定します。
SPEED		プリセットメモリ位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 [SPEED UNIT] が "STEP" のときには、プリセットメモリ位置までの移動速度を表示します。 "TIME" のときには、プリセットメモリ位置までの移動時間を表示します。
DIGITAL EXT	*1	プリセットメモリの登録時に、Digital ExtenderのON/OFFの設定を含めるかを設定します。
ZOOM OP MODE	*1	プリセットメモリを再生したときのズーム動作を選択します。
CROP	*1	プリセットメモリを再生したときに、「CROP」の各メニューで設定していた内容を再現させるかどうかをOFF/ONします。
IRIS	*1	プリセットメモリを再生したときに、「IRIS」に関する各メニューで設定していた内容を再現させるかどうかをOFF/ONします。
FREEZE IMAGE	*1	プリセットメモリを再生中に、映像をフリーズさせる機能をOFF/ONします。
STORE MODE	NO OVERWRITE OVERWRITE	プリセットメモリの登録方法を選択します。マルチセレクトスイッチでの登録およびメインLCDでの登録両方に有効な設定です。 NO OVERWRITE : 登録済プリセットメモリに上書き登録不可 OVERWRITE : 登録済プリセットメモリに上書き登録可

項目	設定値	設定内容
RECALL MODE	STORED ONLY ANY NUMBER	プリセットメモリーの再生方法を選択します。 STORED ONLY : 登録済プリセットメモリーにのみ本機からプリセットメモリー再生コマンドを送信します。 ANY NUMBER : プリセットメモリーが登録されているかどうかにかかわらず、本機からプリセットメモリー再生コマンドを送信します。
PMEM G. RECALL	GROUP 1 : GROUP 4	RP MENU ボタン>[GPI PMEM GROUP]のメニューで設定した、[PMEM GRP IN SEL]の設定内容を実行します。 目的のグループを選択して、F1 ダイアルを押すと実行します。 GROUP1 : PMEM GRP IN SEL の IN1 GROUP2 : PMEM GRP IN SEL の IN2 GROUP3 : PMEM GRP IN SEL の IN3 GROUP4 : PMEM GRP IN SEL の IN4
PMEM ACC	*1	プリセットメモリー再生の開始/停止時の加減速等の詳細設定を行うかどうかを設定します。
RISE S-CURVE	*1	パン・チルトの加速動作におけるS字カーブを設定します。(数字が大きいほどS字の程度が強くなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより加速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]のときに有効です。
FALL S-CURVE	*1	パン・チルトの減速動作におけるS字カーブを設定します。(数字が大きいほどS字の程度が強くなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより減速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]のときに有効です。
RISE ACC	*1	パン・チルトの加速動作における加速度を設定します。(数字が大きいほど加速度は大きくなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[STEP]のときに有効です。
FALL ACC	*1	パン・チルトの減速動作における減速度を設定します。(数字が大きいほど減速度は大きくなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[STEP]のときに有効です。
RISE RAMP TIME	*1	プリセットメモリー再生時の時間指定動作で加速時間を設定します。 [PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[TIME]のときに有効です。
FALL RAMP TIME	*1	プリセットメモリー再生時の時間指定動作で減速時間を設定します。 [PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[TIME]のときに有効です。
PMEM DELETE	RANGE ALL	プリセットメモリーを一括して削除する方法を選択します。 RANGE : 指定する範囲のプリセットメモリーを削除します。 ALL : 登録済みのすべてのプリセットメモリーを削除します。
START	1 ~ 100	プリセットメモリーを削除する範囲の最初のプリセットメモリー番号を指定します。 [PMEM DELETE]で[RANGE]を選択したときに有効です。
END	1 ~ 100	プリセットメモリーを削除する範囲の最後のプリセットメモリー番号を指定します。 [PMEM DELETE]で[RANGE]を選択したときに有効です。
EXECUTE	NO YES	プリセットメモリーを[PMEM DELETE]に応じて削除します。

*1：詳細はカメラの取扱説明書を参照してください。

■ VIEW COLOR

- メインLCD上でのプリセットメモリー・マクロ・カメラ選択時に表示されるプリセットメモリー・マクロ・カメラの登録済み表示の色を設定します。

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MODE	CAM PMEM MACRO	登録済み表示色を変更する項目を選択します。 CAM : カメラ選択の色を変更します。 PMEM : プリセットメモリー制御の色を変更します。 MACRO : マクロ制御の色を変更します。
CAM NUMBER	カメラ番号	プリセットメモリーの登録済みの色設定を行うカメラ番号を選択します。[MODE] が [PMEM] のときのみ有効です。
UPLOAD	(push)	設定した内容を本機に保存します。保存するまで編集内容は反映されません。
1 ~ 100 ([MODE] が [CAM] のときは 1 ~ 200)	STANDARD RED ORANGE YELLOW GREEN BLUE INDIGO PURPLE	表示色を 7 色 (赤、橙、黄、緑、青、藍、紫) から選択します。「STANDARD」を選ぶと、標準色 (濃灰) になります。

■ NAME EDIT

- メインLCD上でのプリセットメモリー制御・マクロ制御で表示されるプリセットメモリー・マクロの名前を編集します。

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
PMEM/MACRO	PMEM MACRO	プリセットメモリー / マクロの名前を編集します。 PMEM : 選択中のカメラのプリセットメモリーの名前を編集します。 MACRO : マクロの名前を編集します。
PMEM NAME GET	NO YES	プリセットメモリーの名前を選択中のカメラから読み出します。
1 ~ 100		プリセットメモリーまたはマクロの名前を編集します。 名前の入力にはソフトウェアキーボードを使用します。編集をしたいプリセットメモリーまたはマクロをメインLCD上で選択してください。

NOTE

- プリセットメモリーの名前をカメラから読み出した場合、文字の種類によって、本機で正しく表示できない場合があります。

■ EXT CTRL PMEM

- CONNECT ボタン>[EXT CONTROL]で登録した機器に対して、プリセットメモリー指示を行えるメニューについて以下の制御とします。
_____ は、工場出荷時の設定です。

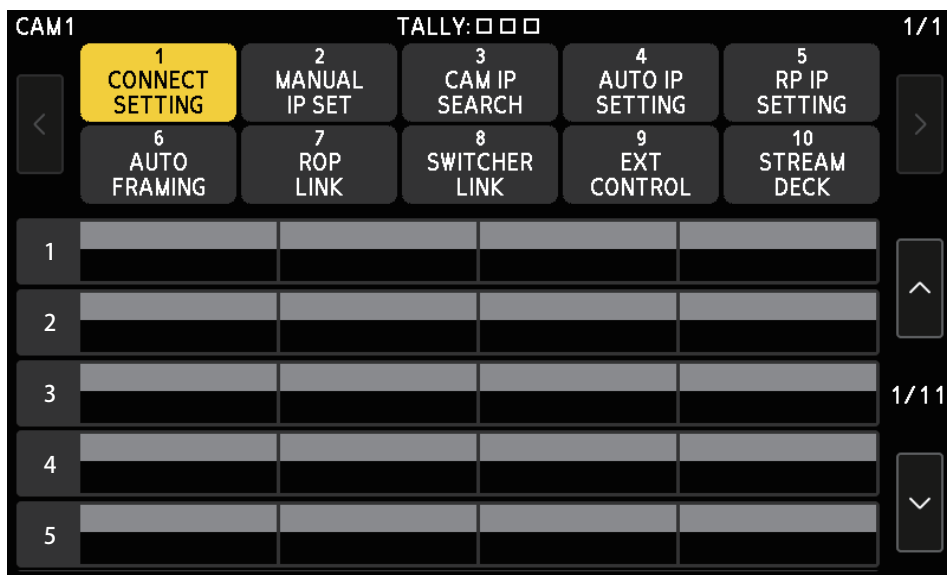
項目	設定値	設定内容
A1 ~ A25 B1 ~ B25 C1 ~ C25 D1 ~ D25	START STOP CUT STATUS <u>NONE</u>	START : シーケンス開始 STOP : シーケンス停止 CUT : シーケンス開始位置に移動 STATUS : 現在のステータスの取得

NOTE

- 100 個のプリセットメモリーシーケンスを制御できます。
- 登録・削除には非対応です。
- 定期的な表示ステータスの更新は非対応です。

CONNECT

- 本機とカメラ等の接続設定・連携機能に関する設定を行います。
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



本機とカメラ等の接続設定関連

- 本機とカメラ等の接続設定について以下で設定します。
- 詳細は、「リモートカメラとの接続設定を行う」（41 ページ）を参照してください。

■ CONNECT SETTING

項目	設定値	設定内容
CAM SEL	CAM1 ～ CAM200	設定変更するカメラ番号を選択します。 選択したカメラ管理番号のネットワーク設定が、以降の画面に表示されます。
CONTROL TYPE	SERIAL LAN NO ASSIGN	カメラの接続方式を選択します。
CAM1 ～ 200	SERIAL LAN NO ASSIGN	カメラ 1 ～カメラ 200 の接続方式を表示します。(SERIAL が選択できるのはカメラ 1 ～ 3 のみです)

■ MANUAL IP SET

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CAM SEL	CAM1 ～ CAM200	設定変更するカメラ番号を選択します。 選択したカメラ番号のネットワーク設定が、以降の画面に表示されます。
CONTROL TYPE	SERIAL LAN NO ASSIGN	カメラの接続方式を選択します。
CAM IP		カメラの IP アドレスを設定します。 (工場出荷時：CAM1 を 192.168.0.10 とし、順に割り振っています)
CAM PORT	1 ～ 80 ～ 65535	カメラのポート番号を設定します。
AUTH SETTING		カメラのユーザー名とパスワードが登録済みかを表示します。 タッチするとキーボードが開きカメラのユーザー名とパスワードを入力できます。
UPLOAD	(push)	カメラの IP アドレス、ポート番号の設定を本機に反映します。 ● 設定変更したときには、[UPLOAD] を実行しないと反映されません。

■ CAM IP SEARCH

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CAM SEARCH	NO YES	カメラのネットワーク検索を実行します。
DETECTED UNITS		検索結果の総数を表示します。
UPLOAD	(push)	[CAM SEL]、[CONTROL TYPE]、[AUTH SETTING] で設定した内容を保存します。 複数のカメラ番号の設定をしていた場合は全て保存されます。 [UPLOAD] を実行せずにメニューを抜けたときは、取得した情報がクリアされます。その際は接続設定はもとの状態のままです。
NUM SELECT		検索結果の内、設定変更対象を選択します。
CAM SEL	CAM1 ～ 200	検索の結果アサインされていないカメラに対しては "NO ASSIGN"、設定済の場合は、現在の設定値を表示します。 カメラ番号を 1 ～ 200 で設定できます。設定後は [UPLOAD] を行ってください。
CONTROL TYPE	SERIAL LAN NO ASSIGN	カメラの接続方式を設定します。設定後は [UPLOAD] を行ってください。
AUTH SETTING	DONE NONE	カメラのユーザー名とパスワードが登録済みかを表示します。 タッチするとキーボードが開きカメラのユーザー名とパスワードを入力できます。設定後は [UPLOAD] を行ってください。
DHCP	OFF ON	カメラの DHCP 設定を表示します。
CAM IP		カメラの IP アドレスを表示します。
MODEL		カメラのモデル名を表示します。
CAM TITLE		カメラの Camera Title を表示します。
MAC ADDRESS		カメラの MAC アドレスを表示します。

■ AUTO IP SETTING

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
AUTO SET	NONE RENEW KEEP	NONE : リモートカメラを検索しません。 RENEW : 本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、検出した各リモートカメラを順にカメラ番号に割り当てます。 このとき、各リモートカメラの IP アドレスを、本機の各カメラ番号に対して設定されていた接続先 IP アドレスの値に書き替えます。 KEEP : 本機は、まず同一サブネット内を検索します。 その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NO ASSIGN」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、リモートカメラに設定されている IP アドレスがそのまま保持され、本機に設定されている接続先 IP アドレスを書き替えます。
NEW		新しく検出されたカメラの台数を表示します。
TOTAL		現在本機が管理している台数 + 新規に検出された台数を表示します。
EXECUTE	NONE RETRY SETTING	NONE : IP アドレスの設定操作を行いません。 RETRY : 再度、[AUTO SET] の [RENEW] もしくは [KEEP] の処理を実行します。 SETTING : [AUTO SET] の [RENEW] もしくは [KEEP] の結果を反映します。 [RENEW] の場合、カメラ側の IP もこのタイミングで変更されます。

■ RP IP SETTING

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
IP	192.168.0.9	本機のIPアドレスを設定します。 ● [DHCP]=[ON]の場合は無効です。
SUBNET	255.255.255.0	本機のサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	192.168.0.1	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。
DHCP	OFF ON	本機のIPアドレスの設定を、DHCPサーバーから取得するかどうかを選択します。
UPLOAD	(push)	ファンクションダイヤルを押すとカメラのIPアドレス、ポート番号が設定されます。 ● 設定変更したときには、[UPLOAD]を実行しないと反映されません。
MAC ADDRESS		本機のMACアドレスが表示されます。(表示のみ)
CAM1 ~ 20 PORT		カメラ選択ボタンごとに、受信用のポート番号を割り当てることができます。

■ AUTO FRAMING

項目	設定値	設定内容
A. FRAME ACTIVE	DISABLE ENABLE	AUTO FRAMING 機能の DISABLE/ENABLE を切替えます。
FRAMING S/S	STOP START	AUTO FRAMING による追尾の START/STOP を切替えます。
AUTO ZOOM SW	OFF ON	AUTO ZOOM 機能の ON/OFF を切替えます。
FRAMING STATUS	TRACKING SEARCHING STOPPED LOST	AUTO FRAMING 機能の STATUS を表示します。 TRACKING：追尾しています。 SEARCHING：追尾対象が画面に映るのを待っています。 STOPPED：停止しています。 LOST：追尾対象が画面内に映っていません。
A. F. SENSITIVITY	-2 ~ 2	AUTO FRAMING 機能の感度を設定します。
A. F. PT SPEED	-2 ~ 2	AUTO FRAMING 動作時の Pan・Tilt の動作速度を設定します。
A. F. ZOOM SPEED	-2 ~ 2	AUTO FRAMING 動作時の Zoom の動作速度を設定します。
TARGET FRAME	1 ~ 20	[TARGET FRAME] の呼出しを行います。
A. FACE SEARCH	DISABLE ENABLE	[AUTO FACE SEARCH] の機能の DISABLE/ENABLE を切替えます。

NOTE

- Media Production Suite の取扱説明書も参照してください。

本機とカメラ・その他機器との連携機能の設定関連

- 本機とカメラ・その他機器との連携機能の設定します。
- 詳細は、「各種連携機能について」(81 ページ) を参照してください。

■ ROP LINK

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
ROP LINK MODE	OFF ON	連動機能の ON/OFF を設定します。OFF の場合はカメラ選択は連動しません。
ROP IP	192.168.0.130	接続先の ROP の IP アドレスを設定します。
ROP PORT	1 ~ 80 ~ 65535	接続先の ROP のポート番号を設定します。
UPLOAD	(push)	[ROP IP] および [ROP PORT] の設定を本機に保存します。
RP CAM SEL	CAM1 ~ CAM200	ROP と連動させたい、本機で設定しているカメラ番号を選択します。
LINKED ROP CAM	NONE 1 ~ 99	[RP CAM SEL] で設定したカメラ番号に対応する ROP でのカメラ番号を選択します。割り当てを行わないカメラ番号は NONE に設定します。

■ SWITCHER LINK

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
LINK MODE	OFF ON	スイッチャーとの連携 ON/OFF を設定します。
SWITCHER IP	192.168.0.8	接続先のスイッチャーの IP アドレスを設定します。
SWITCHER PORT	1 ~ 62000 ~ 65535	接続先のスイッチャーのポート番号を設定します。
RP PORT	1 ~ 60031 ~ 65535	本機能の、本機の受信ポート番号を設定します。
UPLOAD	(push)	設定内容を保存します。
BUS CTRL	OFF ON	本機からスイッチャーのバス素材の切り替えの有効／無効を設定します。
BUS SEL (MAIN)	AUX1 ~ 16 ME1PVW ME1KEY1-F ME1KEY1-S ME1KEY2-F ME1KEY2-S ME1KEY3-F ME1KEY3-S ME1KEY4-F ME1KEY4-S ME2PVW ME2KEY1-F ME2KEY1-S ME2KEY2-F ME2KEY2-S ME2KEY3-F ME2KEY3-S ME2KEY4-F ME2KEY4-S DSK1-F DSK1-S DSK2-F DSK2-S DSK3-F DSK3-S DSK4-F DSK4-S	[BUS CTRL] が ON のときに本機で通常制御しているカメラ選択に追従するバスを設定します。

項目	設定値	設定内容
BUS SEL (2nd)	AUX1 ~ 2 ~ 16 ME1PVW ME1KEY1-F ME1KEY1-S ME1KEY2-F ME1KEY2-S ME1KEY3-F ME1KEY3-S ME1KEY4-F ME1KEY4-S ME2PVW ME2KEY1-F ME2KEY1-S ME2KEY2-F ME2KEY2-S ME2KEY3-F ME2KEY3-S ME2KEY4-F ME2KEY4-S DSK1-F DSK1-S DSK2-F DSK2-S DSK3-F DSK3-S DSK4-F DSK4-S	[BUS CTRL] が ON のときに本機の [RP MENU]>[CONTROL I/F]>[L-STICK] に [2nd CAM PT] を設定している場合、[RP MENU]>[CONTROL I/F]>[2nd CAM NUM] で設定しているカメラ選択に追従するバスを設定します。
CAM NUM	1 ~ 200	使用したいカメラ番号を割り当てます。
SW INPUT	NO ASSIGN 1 ~ 34	[CAM NUM] に対応するスイッチャーのバス番号を割り当てます。
FOCUS ASSIST	OFF ON	スイッチャーの AUX バスを制御して、マルチビューと選択中のカメラ映像の切り替えを行います。 [MV1] ~ [MV4] で設定した AUX にマルチビューの 1 ~ 4 を出力します。[MV1] ~ [MV4] のいずれかの AUX を [BUS SEL(MAIN)] の AUX と一致させることで、[FOCUS ASSIST] を OFF/ON することにより、マルチビューとカメラ映像の切り替えが行えます。
MV1 ~ MV4	OFF AUX1 ~ 16	MV1 ~ MV4 と AUX バスの割り当てを行います。
TALLY IP	OFF ON	スイッチャーからのタリー受信の ON/OFF を設定します。

■ EXT CONTROL

____ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
EXT CTRL MODE	DISABLE ENABLE	外部制御機能の有効／無効を設定します。
R-ROCKER CTRL	NONE HORIZONTAL VERTICAL	R-ロッカーで制御するロボティクス操作を設定します。 NONE : 制御なし HORIZONTAL : 水平方向の制御のみ VERTICAL : 垂直方向の制御のみ 本項目で設定した場合、[LINKED CAM] で設定したカメラ以外は、RP MENU ボタン>[CONTROL I/F]>[R-ROCKER] の項目で選択されている制御になります。
L-STICK CTRL	NONE HORIZONTAL VERTICAL HOR&VER	L-ジョイスティックで制御するロボティクス操作を設定します。 NONE : 制御なし HORIZONTAL : 水平方向の制御のみ VERTICAL : 垂直方向の制御のみ HOR&VER : 水平および垂直方向の制御 本項目で設定した場合、[LINKED CAM] で設定したカメラ以外は、RP MENU ボタン>[CONTROL I/F]>[L-STICK] の項目で選択されている制御になります。
CTRL SPEED	1 ~ <u>3</u> ~ 6	[R-ROCKER CTRL]、[L-STICK CTRL] の操作のスピードを設定します。
Set the EXT device IP address on the next page		外部機器のIPアドレスは2ページ目で設定してください。
LEFT/RIGHT	(push)	外部機器の水平方向 (左右) の制御を行います。ファンクションダイヤル押下で左右方向に制御します。
SPEED	1 ~ 49	[LEFT]・[RIGHT] で左右移動に対するスピードを設定します。
UP/DOWN	(push)	外部機器の垂直方向 (上下) の制御を行います。ファンクションダイヤル押下で上下方向に制御します。
SPEED	1 ~ 49	[UP]・[DOWN] で上下移動に対するスピードを設定します。
EXT CTRL NUM	1 ~ 20	外部機器の制御番号を設定します。
IP(EXT-HOR)	<u>192.168.0.20</u>	水平方向に制御する外部機器のIPアドレスを設定します。
IP(EXT-VER)	<u>192.168.0.20</u>	垂直方向に制御する外部機器のIPアドレスを設定します。
PORT(EXT-HOR)	1 ~ 80 ~ 65535	水平方向に制御する外部機器のポート番号を設定します。
PORT(EXT-VER)	1 ~ <u>80</u> ~ 65535	垂直方向に制御する外部機器のポート番号を設定します。
RSV PORT(RP)	1 ~ <u>60501</u> ~ 65535	本機能で使用する本機の受信ポートを設定します。
LINKED CAM	<u>CAM1</u> ~ 200	外部機器と同時に制御したいカメラ番号を設定します。
PMEM CTRL	CAM ONLY CAM&E-PMEM CAM&EXT DEVICE	外部機器のプリセットメモリー関連の設定を本機で実行するかを設定します。 CAM ONLY : 本機ではカメラのプリセットメモリーのみ操作します。 CAM & E-PMEM : 本機ではカメラのプリセットメモリーおよび外部機器のプリセットメモリーをPMEM/TMEM/MACRO ボタン>[EXT CTRL PMEM] のみを用いて操作します。(対応していない機器もあります) CAM&EXT DEVICE : 本機ではカメラのプリセットメモリーおよび外部機器のプリセットメモリーをオペレーションモード2、3やメインLCD上で操作します。(PMEM/TMEM/MACRO ボタン>[EXT CTRL PMEM] は使用できません) オペレーションモードの詳細については、「オペレーションモード」(49ページ)を参照してください。 メインLCD上での操作については、「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(60ページ)参照してください。(対応していない機器もあります)
UPLOAD	(push)	[EXT CTRL NUM] 以降の設定内容を反映させます。

■ STREAM DECK

項目	設定値	設定内容
STREAM DECK		接続されている機種を表示します。
FILE	1 ～ 5	編集するファイルを選択します。
PAGE	1 ～ 3	編集するページを選択します。
KEY SEL	1 ～ XX	編集するボタンの番号を選択します。
ASSIGN TYPE		割り当てる機能の区分を選択します。
KEY FUNCTION		割り当てる機能を選択します。
LCD LEVEL	1 ～ 5	画面の明るさを調整します。
RESET	PAGE FILE ALL	STREAM DECK の設定の初期化を行います。

Web 画面の表示

本機とパーソナルコンピューターをつないで、各種の設定を行うことができます。

パーソナルコンピューターのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

NOTE

- IPアドレスとサブネットマスクを変更する場合は、必ず販売店にお申し付けください。

本機のIPアドレスとサブネットマスク(工場出荷時)

IPアドレス：192.168.0.9

サブネットマスク：255.255.255.0

必要なパーソナルコンピューターの環境については、「必要なパーソナルコンピューターの環境」(8ページ)を参照してください。

パーソナルコンピューターによるWeb画面の表示

本書では、Windows (Microsoft Edge) の画面をもとに説明しています。それ以外のブラウザーの場合、画面上の表示が一部異なりますが、同様の手順となります。

1. パーソナルコンピューターのWebブラウザーを起動する

パーソナルコンピューターに搭載のOSに応じて、それぞれ下記のWebブラウザーを使用してください。

対応OSとWebブラウザー	【Windows】 Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge (最新版) Google Chrome
	【Mac】 macOS15 macOS14 macOS13 Safari Google Chrome

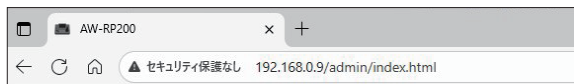
2. 本機のIPアドレスを、Webブラウザーのアドレスボックスに入力する

(CONNECT ボタン>[RP IP SETTING] 等で本機のIPアドレスを設定できます)

IPv4アドレスの入力例：

http://IPv4アドレスで登録したURL

http://192.168.0.9/



NOTE

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合
http://192.168.0.9:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Webブラウザー (メニューバーの「その他のツール」-「インターネットオプション」) からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3. 初期アカウントを設定する

初期状態で、Web画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを設定してください。

NOTE

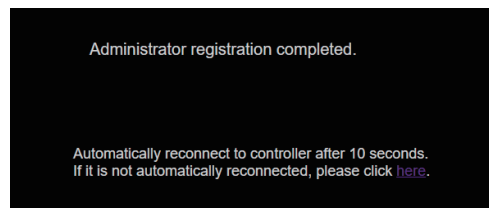
- 第三者に容易に推測されやすい文字列は設定しないでください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パスワードは下記4つの文字種類から少なくとも3つを含めて8文字以上で設定してください。
アルファベット大文字
アルファベット小文字
数字
特殊記号 (! \$ % ' () * + , - . / ? @ [] ^ _ ` ~)
- 上記ポリシーを守らないパスワードを設定する場合、設置環境などのセキュリティ上のリスクを十分考慮したうえ、使用者の責任のもと運用してください。
- 設定したパスワードが推奨設定ポリシーに反する場合は、警告が表示されます。パスワードを変更する場合は [Back] ボタンをクリックして再度パスワードを設定してください。セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は [Continue] をクリックして設定を完了してください。

- 設定したアカウント情報を忘れた場合、RP MENU ボタン>[MAINTENANCE]>[WEB PASS RESET] を使用して、ネットワーク接続用のユーザー情報をリセットしてください。

4. 初期アカウントの登録完了

初期アカウントの登録が完了後、以下のような登録完了画面が表示されます。

以上で初期アカウント登録操作は完了となります。



Web 画面へのログイン

本機の Web メニューへログインするためには、ユーザー名とパスワードの入力が必要となります。

NOTE

- アカウント入力画面は Web ブラウザーからポップアップウィンドウで表示されます。
- あらかじめ登録したユーザー名とパスワードを正しく入力してください。
- パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

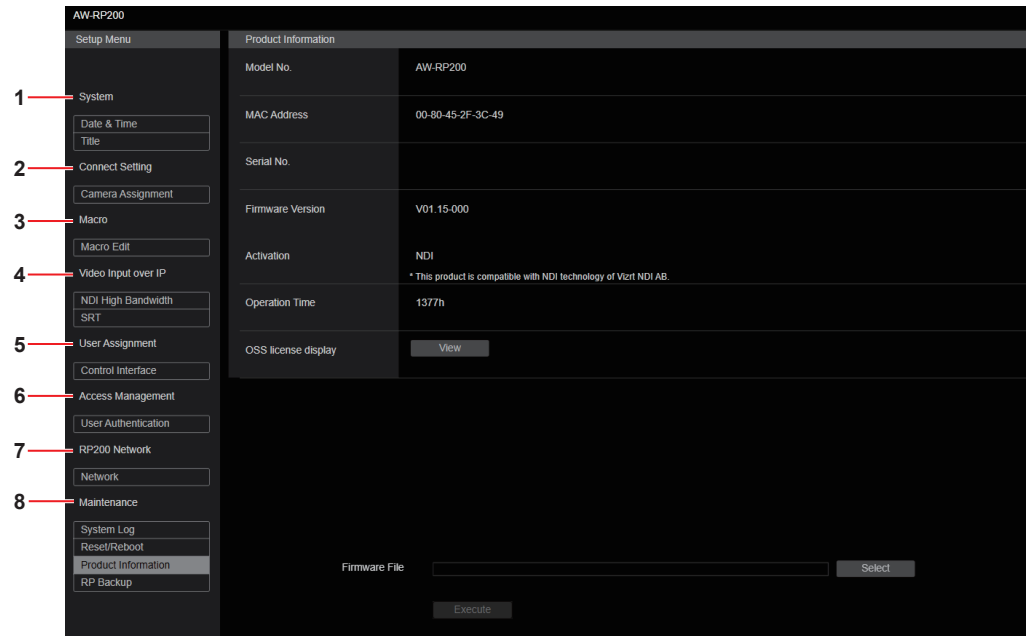
Web 画面からの設定

Web 設定画面 [Setup Menu]

本機に対して各種設定を行います。

NOTE

- 設定メニュー表示中に、OSDメニューや他のWebブラウザから設定値を変更した場合、設定値と表示値が一致しないことがあります。その場合、Webブラウザの設定メニュー表示画面を更新してください。



1 System

時計設定ボタン [Date&Time]

ボタンをクリックすると、時計設定画面 [Date&Time] が表示されます。

⇒「時計設定画面 [Date&Time]」(125 ページ)

Title 編集ボタン [Title]

ボタンをクリックすると、Title 編集画面 [Title] が表示されます。

⇒「Title 編集画面 [Title]」(125 ページ)

2 Connect Setting

カメラの接続登録設定ボタン [Camera Assignment]

ボタンをクリックすると Camera Assignment 設定画面が表示されます。

⇒「Camera Assignment」(126 ページ)

3 Macro

マクロ編集ボタン [Macro Edit]

ボタンをクリックすると [Macro Edit] 設定画面が表示されます。

⇒「Macro Edit」(137 ページ)

4 Video Input over IP

NDI High Bandwidth 設定ボタン [NDI High Bandwidth]

ボタンをクリックすると NDI High Bandwidth 設定画面が表示されます。

⇒「NDI High Bandwidth」(140 ページ)

SRT 設定ボタン [SRT]

ボタンをクリックすると SRT 設定画面が表示されます。

⇒「SRT」(141 ページ)

5 User Assignment

本体操作のカスタマイズボタン [Control Interface]

ボタンをクリックすると Control Interface 設定画面が表示されます。

⇒「Control Interface」(143 ページ)

6 Access Management

Web 認証設定ボタン [User Authentication]

ボタンをクリックすると User Authentication 設定画面が表示されます。

⇒「User Authentication」(144 ページ)

7 RP200 Network

本機のネットワーク設定ボタン [Network]

ボタンをクリックすると Network 設定画面が表示されます。
⇒「Network」(144 ページ)

8 Maintenance

システムログボタン [System Log]

ボタンをクリックすると System Log 設定画面が表示されます。
⇒「System Log」(147 ページ)

設定リセット・再起動ボタン [Reset/Reboot]

ボタンをクリックすると Reset/Reboot 設定画面が表示されます。
⇒「Reset/Reboot」(148 ページ)

製品情報ボタン [Product Information]

ボタンをクリックすると Product Information 設定画面が表示されます。
⇒「Product Information」(149 ページ)

ファイルバックアップボタン [RP Backup]

ボタンをクリックすると RP Backup 設定画面が表示されます。
⇒「RP Backup」(150 ページ)

System

■ 時計設定画面 [Date&Time]

時計の設定を行います。
[Auto]、[Manual] の 2 種類の方法を設定できます。

● Auto

PC Synchronization

[Execute] ボタンをクリックすると、接続しているパーソナルコンピュータの日付時刻に本機を同期させて設定します。

NOTE

- パーソナルコンピュータのタイムゾーンは、本機に反映されません。タイムゾーンは、本機で設定してください。

● Manual

Date/Time

「月」、「日」、「年」の設定と「時」、「分」、「秒」の設定を行います。

NOTE

- 時刻は、24 時間表示です。

Time Zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定：

(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

NOTE

- 設定した日付時刻は、一度電源を切って、再起動したあとに反映されます。
- 本機の時計設定は電源起動中のみ保持されます。一度電源を切ると、前回電源を切ったところから日付時刻が開始されますので、必要に応じて都度設定してください。

■ Title 編集画面 [Title]

本機の名称を入力します。
[Set] ボタンをクリックすると、入力した名称が RP タイトル表示部に表示されます。

- 工場出荷時の設定は本機の製品品番です。
- 半角 0 ～ 20 文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[]_`{ }~

Connect Setting

■ Camera Assignment

本機へのカメラの接続登録関連の設定を行います。

カメラ未登録時 (または [All Clear] 押下後)

スクロールで 200 台 (C001 ~ C200) まで表示します。

CAM No.	Control Type	IPv4 Address	Port	Model	Title	Type	DHCP	MAC Address	Auth Setting
C001	Serial								
C002	No Assign								
C003	No Assign								
C004	No Assign								
C005	No Assign								
C006	No Assign								
C007	No Assign								
C008	No Assign								
C009	No Assign								
C010	No Assign								
C011	No Assign								
C012	No Assign								
C013	No Assign								
C014	No Assign								
C015	No Assign								
C016	No Assign								
C017	No Assign								
C018	No Assign								
C019	No Assign								
C020	No Assign								
C021	No Assign								
C022	No Assign								

Web メニューからの本機へのカメラの接続設定方法はユースケースに応じて 3 種類あります。

- (1) 小規模運用向け設定 (マニュアル設定)
- (2) 大規模運用向け設定 (すでにネットワーク上にあるカメラの設定)
- (3) 大規模運用向け設定 (運用前に設定を行う等の本機単独での設定)

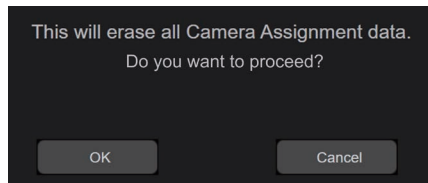
(1) 小規模運用向け設定 (マニュアル設定)

Aの画面でカメラ番号 [CAM No.] ごとに、下記を設定することで手動で簡単にカメラの接続設定ができます。

- **Control Type** : 本機とカメラとの接続種別を [LAN]、[Serial]、[No Assign] からドロップダウンで選択します。
- **IPv4 Address** : 直接アドレスを入力可能です。
- **Port** : 直接 Port 番号を入力可能です。

入力後 [Save] を実行すると、登録確認のポップアップが表示されますので、設定が問題ない場合は [OK] を選択してください。

また、[All Clear] でカメラとの接続設定をすべて消去可能です。[All Clear] を実行すると、下記のようなポップアップが表示されますので、全接続情報を消去して問題ない場合は、[OK] を選択してください。



CAM No. Swapping

また、すでにカメラが登録されている状態のときにカメラ番号を入れ替えたい場合は、カメラ番号をドラッグアンドドロップで入れ替えることも可能です。

本機にカメラ接続情報がある場合は、下記のように接続情報が表示されます。(例：C001 ～ C003 にカメラが接続されている状態)

Camera Assignment				
NW Search & Assign	CAM No. Auto Assign	CAM No. Swapping		
CAM No.	Control Type	IPv4 Address	Port	Model
C001	LAN	192.168.0.10	80	
C002	LAN	192.168.0.11	80	
C003	LAN	192.168.0.12	80	
C004	No Assign			
C005	No Assign			

このとき、[CAM No. Swapping] ボタンを押すとドラッグ&ドロップでカメラ番号を入れ替えられます。

例えば、C001 (192.168.0.10) を C003 (192.168.0.12) と入れ替えようとしたとき、まず、選択した行が緑色にハイライトされます。

その後、C001 を C003 までドラッグアンドドロップすると、下記のように C001 (192.168.0.12) ・ C003 (192.168.0.10) と入れ替えが完了します。(入れ替えた行が両方とも緑色にハイライトされます)

Camera Assignment				
NW Search & Assign	CAM No. Auto Assign	CAM No. Swapping		
CAM No.	Control Type	IPv4 Address	Port	Model
C001	LAN	192.168.0.12	80	
C002	LAN	192.168.0.11	80	
C003	LAN	192.168.0.10	80	
C004	No Assign			
C005	No Assign			

設定に問題がなければ、「Save」を実行して登録情報を保存します。

もう一度 [CAM No. Swapping] を押すことで通常の編集状態に戻ります。

NOTE

- [Control Type] については、「リモートカメラとの接続種別 (シリアル/IP/ 接続なし) を設定する」(42 ページ) を参照してください。
- [IPv4 address] ・ [Port] については、「接続先 IP アドレス (リモートカメラ) とポート番号を手動で設定する」(48 ページ) を参照してください。
- [Control Type] を [LAN]、[IPv4 Address] ・ [Port] を手動で入力・設定した場合、それだけでは [Model] や [Title] 等の情報は表示されません。[Save] を実行することでネットワークで情報を検索して情報が表示されるようになります。
- 間違って設定を行った場合は、[Save] 前であればブラウザを更新していただくと、Web 画面を開いた最初の状態に戻ります。再度設定をし直してください。

(2) 大規模運用向け設定 (すでにネットワーク上にあるカメラの設定)

本機とカメラがすでにネットワーク上につながっている状態のとき、ネットワークの検索機能を用いてカメラの接続設定が一括で簡単にできます。最初に、Aの画面で [NW Search & Assign] を選択し、ネットワーク上の機器を検索し、その後、その情報を用いてカメラの接続設定を行います。

NW Search & Assign

[NW Search & Assign] ボタンを押すと、ポップアップに本機と同一ネットワーク上にあるカメラ・リモートコントローラーが表示されます。(①の部分)

No.	IPv4 Address	Model	Title	CAM No.	Control Type	Type	DHCP	MAC Address	Auth Setting	User ID	Password
1	192.168.0.160	AW-UE160	UE160_ES1_38...	C001	LAN	PTZ	OFF	00:80:45:2F:35:4B	Done		

①-1 Camera No. Auto Assignment: ☒ Disable ☐ Enable

①-2 Assignment Mode: ☒ No Overwrite ☐ Overwrite

①-3 Starting Camera No.: -

②-1 Control Type Assignment: ☒ Individual ☐ All Selected

②-2 Assignment Mode: ☒ No Overwrite ☐ Overwrite

②-3 Control Type: LAN

③-1 User ID & Password: ☒ Individual ☐ All Selected

③-2 User ID:

Password:

Save Cancel

NOTE

- ①の部分で、[CAM No.]/[Control Type]/[User ID]/[Password] はマニュアル設定可能です。直接入力して、[Save] をクリックすることで、ネットワーク上のカメラの本機への接続設定の登録が可能です。

Web 画面からの設定 (つづき)

一括登録を実施する際に便利な機能として、[IPv4 Address]、[Model]、[Title]、[CAM No.]、[Type]の項目はフィルタリング・ソート機能があります。適切なフィルタリング・ソートを選択することで、設定したいカメラのみ抽出することが可能となり、一括設定を容易にします。本機能を使用するためには、各項目の右端にある  を選択してください

フィルタリング・ソート機能

- [IPv4 address]、[CAM No.]のときは、 を押すことでソート機能が利用できます

Ascending(A-Z)
Descending(Z-A)

Ascending(A-Z) : 昇順に並び替えます
Descending(Z-A) : 降順に並び替えます

- [Model] のときは、 を押すことでフィルタリング機能が利用できます。

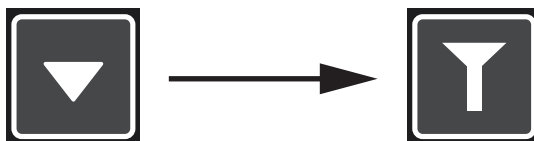
Filtering

- ☒ AV-HSW10
- ☒ AW-UE100
- ☒ AW-UE158
- ☒ AW-UE160
- ☒ AW-UE40
- ☒ RP150
- ☒ UE4

赤枠の部分に文字を入力するまたは、☐に✓することでフィルタリング機能を使用できます。

NOTE

- フィルタリングを適用したときは、アイコンが下記に変わります (他の項目も同様です)



(例) UE160と入力し、フィルタリングしたとき

Filtering

UE160

- ☒ AW-UE160

No.	IPv4 Address	Model	Title	CAM No.	Control Type	Type
1	192.168.0.160	AW-UE160	AW-UE160	C001	LAN	PTZ

DHCP	MAC Address	Auth Setting	User ID	Password
OFF		Done	admin	*****

- [Title] のときは、 を押すことでソート機能・フィルタリング機能が利用できます。

Ascending(A-Z)
Descending(Z-A)

Filtering

- ☒ AV-HSW10
- ☒ AW-UE100
- ☒ AW-UE158
- ☒ AW-UE160
- ☒ AW-UE4
- ☒ AW-UE40

Ascending(A-Z) : 昇順に並び替えます
Descending(Z-A) : 降順に並び替えます

赤枠の部分に文字を入力するまたは、☐に✓することでフィルタリング機能を使用できます。

- [Type] のときは、 を押すことでフィルタリング機能が利用できます。

Filtering

- ☒ CAM
- ☒ PTZ
- ☒ RP
- ☒ SWITCHER

赤枠の部分に文字を入力するまたは、☐に✓することでフィルタリング機能を使用できます。

● 一括設定方法

⑩の部分に表示されたカメラについて、本機への各種登録設定を行います。

左端の□に✓を入れたカメラが設定対象です。

以下の項目がリアルタイムで表示されます。

① -1 Camera No. Auto Assignment

Disable : カメラ番号の自動割り付けを行いません。

Enable : 対象のカメラ (① -2 [Assignment Mode] に従う) に ① -3 [Starting Camera No.] で指定した No. から順番にカメラ番号を割り付けます。

① -2 Assignment Mode

No Overwrite : すでに登録済みの CAM 番号はそのまま、それ以外を ① -3 [Starting Camera No.] から順に Auto で割り付けます。

Overwrite : すでに登録済みの CAM 番号も上書きして ① -3 [Starting Camera No.] から順に Auto で割り付けます。

① -3 Starting Camera No.

自動でカメラ番号を割り付けるときの先頭 No. を指定します。

② -1 Control Type Assignment

Individual : カメラごとに接続種別を指定します。⑩の部分に直接入力してください。

All Selected : 対象のカメラ (② -2 [Assignment Mode] に従う) の ② -3 [Control Type] で指定した方法に一括設定します。

② -2 Assignment Mode

No Overwrite : すでに登録済みの接続種別はそのまま、それ以外を ② -3 [Control Type] で指定した方法に設定します。

Overwrite : すでに登録済みの接続種別も上書きして ② -3 [Control Type] で指定した方法に設定します。

② -3 Control Type

LAN : 対象のカメラの接続種別を [LAN] にします。

Serial : 対象のカメラの接続種別を [Serial] にします。

③ -1 User ID & Password

Individual : カメラごとに User ID、Password を指定します。⑩の部分に直接入力してください。

All Selected : ③ -2 [User ID] ・ [Password] で指定した User ID、Password に一括設定します。

③ -2 User ID : 対象のカメラの User ID

Password : 対象のカメラの Password

[Save] を実行すると上記内容が保存されます。

一括設定方法例

(例 1) ①の画面で上書き禁止モード [No Overwrite] で C002 から 4 台のカメラを一括設定

1. 上から 4 台のカメラにチェックを入れる

No.	IPv4 Address	Model	Title	CAM No.	Control Type	Type	DHCP	Mac Address	Auth Setting	User ID	Password
✓ 1	192.168.0.10	AW-UE150A	01-CENTER	C001	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
✓ 2	192.168.0.11	AW-UE160	04-UP	-	No Assign	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
✓ 3	192.168.0.12	AW-UE160	02-LEFT	-	No Assign	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
✓ 4	192.168.0.14	AW-UE160	05-RIGHT	C004	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
5	192.168.0.15	AW-UE150	03-DOWN	C003	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		

2. ① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Disable] にしたまま、① -2・② -2 の [Assignment Mode] を [No Overwrite] にし、② -1・③ -1 を一括設定用に [All Selected] に設定する

① -1 Camera No. Auto Assignment ☒ Disable ☐ Enable

① -2 Assignment Mode ☒ No Overwrite ☐ Overwrite

Starting Camera No.

② -1 Control Type Assignment ☐ Individual ☒ All Selected

② -2 Assignment Mode ☒ No Overwrite ☐ Overwrite

Control Type

③ -1 User ID & Password ☐ Individual ☒ All Selected

User ID

Password

Save Cancel

3. ① -3 [Starting Camera No.] を [C002]、② -3 [Control Type] を [LAN]、③ -2 の [User ID] と [Password] を設定する

Camera No. Auto Assignment ☒ Disable ☐ Enable

Assignment Mode ☒ No Overwrite ☐ Overwrite

① -3 Starting Camera No.

Control Type Assignment ☐ Individual ☒ All Selected

Assignment Mode ☒ No Overwrite ☐ Overwrite

② -3 Control Type

User ID & Password ☐ Individual ☒ All Selected

③ -2 User ID

Password

Save Cancel

4. 最後に ① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Enable] にすると下記ようになる (変化点は黄色表示)。[Save] を押すと設定内容が本機に保存される

(すでに登録済みのカメラ番号 (C001・C003・C004) は上書き禁止のため、[Title] が 02-LEFT のカメラは C005 となる)

No.	IPv4 Address	Model	Title	CAM No.	Control Type	Type	DHCP	Mac Address	Auth Setting	User ID	Password
✓ 1	192.168.0.10	AW-UE150A	01-CENTER	C001	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
✓ 2	192.168.0.11	AW-UE160	04-UP	C002	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
✓ 3	192.168.0.12	AW-UE160	02-LEFT	C005	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
✓ 4	192.168.0.14	AW-UE160	05-RIGHT	C004	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		
5	192.168.0.15	AW-UE150	03-DOWN	C003	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxxxx	Done		

(例2) ①の画面で上書きモード [Overwrite] で C002 から 4 台のカメラを一括設定

1. 上から 4 台のカメラにチェックを入れる

No.	IPv4 Address	Model	Title	CAM No.	Control Type	Type	DHCP	Mac Address	Auth Setting	User ID	Password
✓ 1	192.168.0.10	AW-UE150A	01-CENTER	C001	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
✓ 2	192.168.0.11	AW-UE160	04-UP	-	No Assign	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
✓ 3	192.168.0.12	AW-UE160	02-LEFT	-	No Assign	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
✓ 4	192.168.0.14	AW-UE160	05-RIGHT	C004	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
5	192.168.0.15	AW-UE150	03-DOWN	C003	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		

2. ① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Disable] にしたまま、① -2・② -2 の [Assignment Mode] を [Overwrite] にし、② -1・③ -1 を一括設定用に [All Selected] に設定する

① -1 Camera No. Auto Assignment ☒ Disable ☐ Enable

① -2 Assignment Mode ☐ No Overwrite ☒ Overwrite

Starting Camera No.

② -1 Control Type Assignment ☐ Individual ☒ All Selected

② -2 Assignment Mode ☐ No Overwrite ☒ Overwrite

Control Type

③ -1 User ID & Password ☐ Individual ☒ All Selected

User ID

Password

3. ① -3 [Starting Camera No.] を [C002]、② -3 [Control Type] を [LAN]、③ -2 の [User ID] と [Password] を設定する

Camera No. Auto Assignment ☒ Disable ☐ Enable

Assignment Mode ☐ No Overwrite ☒ Overwrite

① -3 Starting Camera No.

Control Type Assignment ☐ Individual ☒ All Selected

Assignment Mode ☐ No Overwrite ☒ Overwrite

② -3 Control Type

User ID & Password ☐ Individual ☒ All Selected

③ -2 User ID

Password

4. 最後に ① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Enable] にすると下記ようになる (変化点は黄色表示)。[Save] を押すと設定内容が本機に保存される

(C003 はもともと [Title] が 03-DOWN のカメラだったが、上書き設定により、04-UP のカメラとなる。その影響で 03-DOWN のカメラは [No Assign] に変更)

No.	IPv4 Address	Model	Title	CAM No.	Control Type	Type	DHCP	Mac Address	Auth Setting	User ID	Password
✓ 1	192.168.0.10	AW-UE150A	01-CENTER	C002	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
✓ 2	192.168.0.11	AW-UE160	04-UP	C003	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
✓ 3	192.168.0.12	AW-UE160	02-LEFT	C004	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
✓ 4	192.168.0.14	AW-UE160	05-RIGHT	C005	LAN	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		
5	192.168.0.15	AW-UE150	03-DOWN	-	No Assign	PTZ	OFF	xxxxxxxxxx	Done		

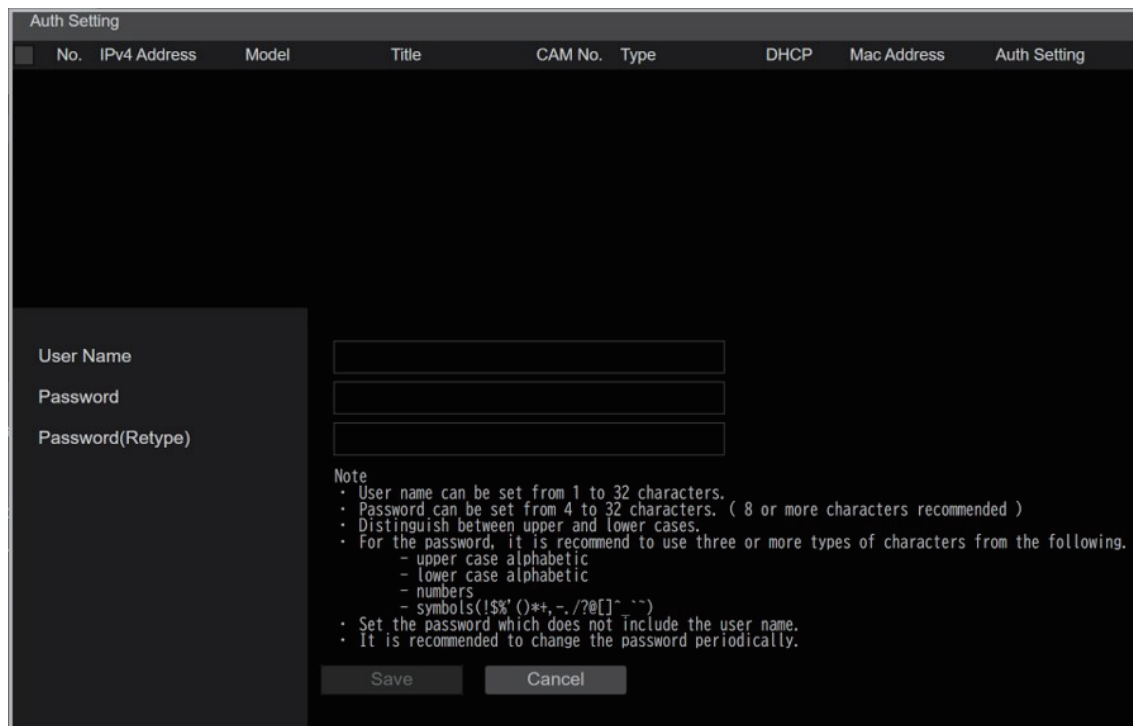
NOTE

- 間違っ て設定を行った場合は、[Save] 前であれば [Cancel] を押すと設定を反映せずに前画面に戻ります。必要に応じて再度設定をし直してください。

カメラを本機に登録の際に、必要に応じてカメラのネットワーク設定を本機から行うことも可能です。カメラのネットワーク設定を行う際は、あらかじめカメラの [Auth Setting] を実施しておく必要があります。

CAM Auth Setting

カメラの [Auth Setting] を実施したい場合は、⑩の画面で [Auth Setting] が [None] のものをチェックし、[CAM Auth Setting] ボタンを押します。下記ポップアップが表示されるので、[User Name] と [Password] を入力します。
[Save] 実行で設定が反映されます。



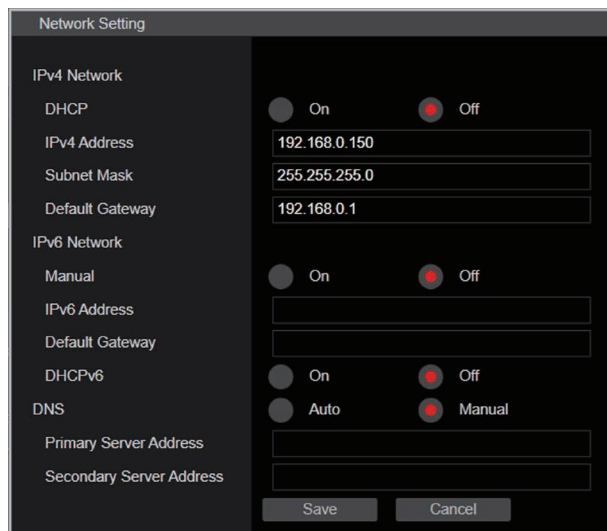
The dialog box titled "Auth Setting" contains a table with columns: No., IPv4 Address, Model, Title, CAM No., Type, DHCP, Mac Address, and Auth Setting. Below the table, there are three input fields labeled "User Name", "Password", and "Password(Retype)". To the right of these fields is a "Note" section with the following text:

- User name can be set from 1 to 32 characters.
- Password can be set from 4 to 32 characters. (8 or more characters recommended)
- Distinguish between upper and lower cases.
- For the password, it is recommend to use three or more types of characters from the following.
 - upper case alphabetic
 - lower case alphabetic
 - numbers
 - symbols(!\$%'()*+,-./?@[]^_`~)
- Set the password which does not Include the user name.
- It is recommended to change the password periodically.

At the bottom of the dialog box are two buttons: "Save" and "Cancel".

Network Setting

カメラのネットワーク設定を変更したい場合は、⑩の画面で該当のカメラをチェックし、[Network Setting] ボタンを押します。下記ポップアップが表示されるので、IPv4 アドレスやサブネットの設定等、各種設定を入力します。
[Save] 実行で設定が反映されます。



The dialog box titled "Network Setting" has a left sidebar with categories: IPv4 Network, IPv6 Network, DHCPv6, and DNS. Under "IPv4 Network", there are radio buttons for "On" (selected) and "Off", and input fields for "IPv4 Address" (192.168.0.150), "Subnet Mask" (255.255.255.0), and "Default Gateway" (192.168.0.1). Under "IPv6 Network", there are radio buttons for "Manual" (selected) and "Off", and input fields for "IPv6 Address" and "Default Gateway". Under "DHCPv6", there are radio buttons for "On" and "Off" (selected). Under "DNS", there are radio buttons for "Auto" (selected) and "Manual", and input fields for "Primary Server Address" and "Secondary Server Address". At the bottom are "Save" and "Cancel" buttons.

NOTE

- [Auth Setting] が [None] の場合は、[Network Setting] は設定できません。必ず、[CAM Auth Setting] でアカウント情報を設定してください。

(3) 大規模運用向け設定 (運用前に設定を行う等の本機単独での設定)

運用前に設定を行う等、運用本番前の準備の段階で本体単独でカメラの接続設定を簡単に一括で行うことも可能です。
最初に、Aの画面で[CAM No. Auto Assign]を選択して、カメラの接続設定を行います。

CAM No. Auto Assign

ネットワーク上につながっていないカメラも含めて一括で接続(カメラ番号とIPアドレスの一括の紐づけ)を行います。
[CAM No. Auto Assign]のボタンを押すとポップアップが表示されます。

① Assignment Mode

No Overwrite : すでに設定済みのカメラ番号のIPアドレスは避けてカメラ番号を連番設定します。

Overwrite : すでに登録済みのカメラ番号のIPアドレスも上書きしてカメラ番号を連番設定します。

② Starting Camera No. ③ Ending Camera No.

②から③までのカメラNo.を設定します。

※ [Assignment Mode] で [No Overwrite] が選ばれている場合は設定済みカメラ番号は飛ばして設定します。

④ Starting IP Address

ここで指定したIPアドレスの設定値から順にIPアドレスを設定します。

※ [Assignment Mode] で [No Overwrite] が選ばれている場合は設定済みIPアドレスは飛ばして設定します。

⑤ Port

設定するPort番号を入力します。

⑥ Control Type

LAN : 対象のカメラの接続種別を [LAN] にします。

Serial : 対象のカメラの接続種別を [Serial] にします。

⑦ User ID & Password

カメラの⑧ [User ID]と⑨ [Password]を設定します。

※ ②から③までのカメラはすべて同一のUser IDとPasswordを想定しています。

[Execute]を実行することで、接続設定が行われます。

NOTE

- 本機に設定されているIPアドレスが、[Starting IP Address]・[Starting Camera No.]・[Ending Camera No.]の関係で重複する場合は、そのIPアドレスは避けて連番設定されます。
- IPアドレスの連番設定は第4オクテットのみ有効です。(例：[Starting IP Address]を192.168.0.253としたときの最大連番設定可能カメラ台数は3台(192.168.0.255)までです)

一括設定方法例

Aの画面で下記のような状態だったとしたとき

Camera Assignment										
CAM No.		Control Type	IPv4 Address	Port	Model	Title	Type	DHCP	Mac Address	Auth Setting
C001		LAN	192.168.0.10	80	AW-UE150A	01-CENTER	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C002		LAN	192.168.0.11	80	AW-UE160	04-UP	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C003		LAN	192.168.0.15	80	AW-UE150	03-DOWN	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C004		LAN	192.168.0.14	80	AW-UE160	05-RIGHT	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C005		LAN	192.168.0.12	80	AW-UE160	02-LEFT	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C006		No Assign								
C007		No Assign								
C008		No Assign								
C009		No Assign								
C010		No Assign								

(例1) 上書き禁止モード [No Overwrite] で C001 ~ C010 のカメラを一括設定

1. [Assignment Mode] を [No Overwrite]、[Starting Camera No.] を C001、[Ending Camera No.] を C010、[Starting IP Address] を 192.168.0.10 と設定する (その他の設定は下記参照)

CAM No. Auto Assignment

CAM No. Auto Assignment

Assignment Mode

☒ No Overwrite
☐ Overwrite

Starting Camera No.

C001

Ending Camera No.

C010

Starting IP Address

192.168.0.10

Port

80

Control Type

LAN

User ID & Password

User ID

admin

Password

Execute

Cancel

2. [Execute] を実行すると、Aの画面で下記のようになり、設定内容が本機に保存される (変化点は黄色表示)

(C001 ~ C005はすでに登録済みのため、C006から連番設定開始。C001 ~ C005で使用されているIPアドレスは避けて設定される)

Camera Assignment										
CAM No.		Control Type	IPv4 Address	Port	Model	Title	Type	DHCP	Mac Address	Auth Setting
C001		LAN	192.168.0.10	80	AW-UE150A	01-CENTER	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C002		LAN	192.168.0.11	80	AW-UE160	04-UP	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C003		LAN	192.168.0.15	80	AW-UE150	03-DOWN	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C004		LAN	192.168.0.14	80	AW-UE160	05-RIGHT	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C005		LAN	192.168.0.12	80	AW-UE160	02-LEFT	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C006		LAN	192.168.0.13	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C007		LAN	192.168.0.16	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C008		LAN	192.168.0.17	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C009		LAN	192.168.0.18	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C010		LAN	192.168.0.19	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done

(例2) 上書きモード [Overwrite] で C002 ~ C010 のカメラを一括設定

1. [Assignment Mode] を [Overwrite]、[Starting Camera No.] を [C002]、[Ending Camera No.] を [C010]、[Starting IP Address] を 192.168.0.10 と設定する (その他の設定は下記参照)

2. [Execute] を実行すると、A の画面で下記のようになり、設定内容が本機に保存される (変化点は黄色表示)

(C002 から順番に IP アドレスとカメラ番号を設定。C001 はすでに登録済みだったが、192.168.0.10 が C002 に上書きされたため、[No Assign] となる)

Camera Assignment										
CAM No.		Control Type	IPv4 Address	Port	Model	Title	Type	DHCP	Mac Address	Auth Setting
C001		No Assign								
C002		LAN	192.168.0.10	80	AW-UE150A	01-CENTER	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C003		LAN	192.168.0.11	80	AW-UE160	04-UP	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C004		LAN	192.168.0.12	80	AW-UE160	02-LEFT	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C005		LAN	192.168.0.13	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C006		LAN	192.168.0.14	80	AW-UE160	05-RIGHT	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C007		LAN	192.168.0.15	80	AW-UE150	03-DOWN	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C008		LAN	192.168.0.16	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C009		LAN	192.168.0.17	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done
C010		LAN	192.168.0.18	80	AW-UE160	AW-UE160	PTZ	OFF	XX:XX:XX:XX:XX:XX	Done

Macro

■ Macro Edit

本機で実行するマクロを編集することができます。

マクロ機能についての概要は「マクロ機能について」(33 ページ)を参照してください。

マクロの編集方法については以下の2種類があります。

- (1) 本機のWeb 画面の [Macro Edit] から編集する方法
- (2) ユーザー自身でファイルを編集する方法

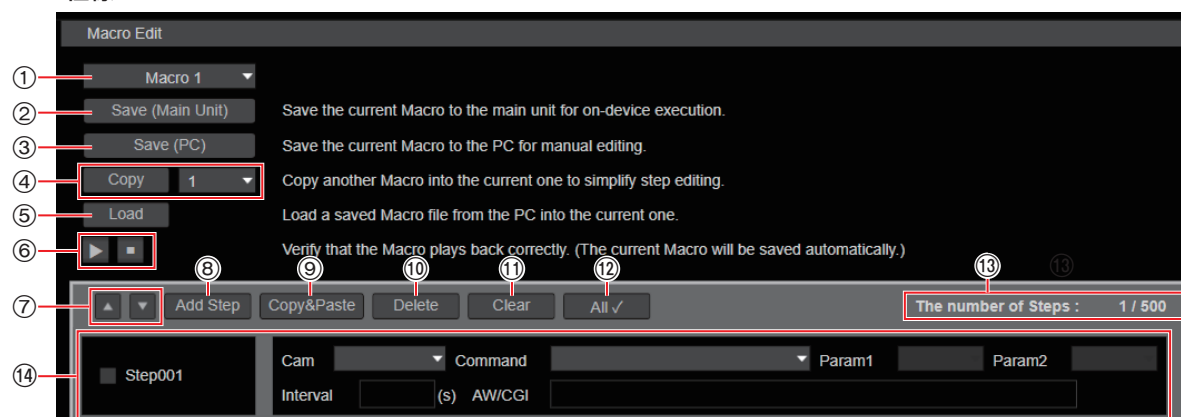
以下では、(1)の方法について紹介します。(2)については、当社の下記ページより「【RP200】マクロ仕様書」を参照してください。
(日本語)

<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/guide/JP/top.html>

(英語)

<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/guide/EN/top.html>

● UI 仕様



設定関連

① マクロ番号

設定するマクロ番号をプルダウンより選択します。

番号を変更したタイミングで本機内のデータを読み込みます。

※マクロ番号変更前のマクロが、編集後保存されていない場合は破棄して問題ないかポップアップが出ます。

② Save (Main Unit)

設定中のマクロを本機の該当のマクロ番号に保存します。本設定を実施しないと本機から該当マクロを実行できません。

※必要項目が入力されていないStepがある場合は警告文が出ます。

③ Save (PC)

設定中のマクロをPCのダウンロードフォルダーに保存します。ご自身でファイルを直接編集されたい場合に使用します。

※必要項目が入力されていないStepがある場合は警告文が出ます。

④ Copy

コピーしたいマクロ番号を [Copy] で選択して、現在の編集中のマクロ番号 (①) にコピー展開します。

すでに編集中の場合は、編集中のマクロを破棄して問題ないかポップアップが出ます。

⑤ Load

PCから現在編集中のマクロ番号 (①) にマクロファイルを読み込みます。(本機または別の本体で、③で保存したファイルが対象になります)

⑥ ▶ (マクロの再生)・■ (マクロの停止)

表示しているマクロの再生・停止を行います。(マクロ動作確認用)

マクロの再生を行うことで本機に自動的に編集中のマクロが保存されます。

⑦ ▲ (上)・▼ (下)

"✓" の入っている Step を上下に移動します。

連続する複数の Step をまとめて移動することも可能です。

⑧ Add Step

"✓" の入っている Step の上に新規の Step を追加します。

※複数の Step にチェックが入っている場合は一番上の Step の上に追加します。

"✓" の入っている Step が 1 つもない場合は一番下に追加します。

※ Step 数がすでに最大の場合はエラーを表示します。(最下段の Step が未入力の場合は、これを削除して指定箇所に新規 Step を追加します)

⑨ Copy & Paste

“√” の入っている Step をコピーして、すぐ次の Step 番号に貼り付けます。

連続する複数の Step をまとめてコピーして、“√” が入っている一番下の Step 以降に貼り付けることも可能です。

※貼り付け後に、Step 数が最大を超える場合はエラーを表示します。

⑩ Delete

“√” の入っている Step をすべて削除し、Step 番号を詰めます。

⑪ Clear

“√” の入っているすべての Step の [Cam]、[Command]、[Param1]、[Param2]、[Interval]、[Other] を削除します。

⑫ All √

すべての Step にチェックを入れます。

1 つでも “√” が入っている Step がある場合は、すべてのチェックを外します。

⑬ Step 数表示

登録されているマクロのステップ数を表示します。

⑭ ステップ・シーケンス関連

● Cam

1 ～ 200 : 本機で設定されているカメラ番号に対応します。

SELECTED : 固定のカメラ番号ではなく、実行時に選択されているカメラに対して通信します。

● Command

プルダウン形式で選択します。選択肢は「対応コマンド表」を参照してください。

● Param

プルダウン形式で選択します。選択肢は「対応コマンド表」を参照してください。

パラメーターが不要な [Command] が選択されている場合は入力できなくなります。

● Interval

コマンドを送信したあとの次の Step 開始までの待ち時間を秒単位で入力します。

設定範囲は整数で 0 ～ 36000 秒

※同一カメラに連続して Step を作る (コマンドを連続して送る) 場合、0 以外を設定してください。

● AW/CGI

ユーザーが送信するコマンドを直接入力します。([Command] で [Other AW Commands]、[CGI(POST)]、[CGI(GET)] が選択されているときのみ有効化されます)

パラメーターまで含めて送信する内容をそのまま入力します。

詳細は「【RP200】マクロ仕様書」を参照してください。

対応コマンド表

Command	[Param1] 表示値	[Param2] 表示値	備考
AWB	—	—	
Pan Speed Control	LEFT, STOP, RIGHT	1 ～ 49 (STOP のときは 0)	
Tilt Speed Control	UP, STOP, DOWN	1 ～ 49 (STOP のときは 0)	
Zoom Speed Control	TELE, STOP, WIDE	1 ～ 49 (STOP のときは 0)	
Recall Preset	1 ～ 100	—	
Preset Speed	1 ～ 30	—	
Preset Time	1 s ～ 99 s	—	
Preset Speed Table	SLOW, FAST	—	
Wait User Trigger	—	—	メイン LCD 上で都度次の Step を実行するか、スキップをするか確認時に使用
Recall Macro	1 ～ 100	—	1 つのマクロの中で自身を含む他のマクロの呼び出し時に使用 (1 つのマクロの中に呼び出せるマクロは 1 つのみ)
Other AW Commands			[AW/CGI] に制御内容を記述
CGI(POST)			[AW/CGI] に制御内容を記述
CGI(GET)			[AW/CGI] に制御内容を記述

● 使用方法

1. ⑭のステップで以下を実施します

- コマンドを送るカメラ番号を選択
- 使用したいコマンドを選択
- コマンドに応じたパラメーターを選択
- 次の Step 開始までの待ち時間を設定

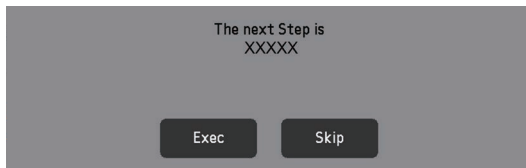
このとき、カメラ番号を指定せずにコマンドのシーケンスのみを組みたい場合は、[Cam] で [SELECTED] を選択してください。

この場合は、マルチセレクトスイッチ等で現在選択されているカメラに対してマクロで設定されている一連のシーケンスを実施します。マクロはユーザーボタンにもアサイン可能なので、ユーザーボタンの拡張としても使用可能です。

ユーザーボタンへの割り当て方法としては、「本機の操作のカスタマイズ」(34 ページ) を参照してください。

また、コマンドの送信順は決まっているが、送信タイミングが決まっていない場合は、メインLCD 上でコマンドの送信タイミングを決定することも可能です。

この場合は、[Command] で [Wait User Trigger] を選択してください。マクロ実行中は下記のようなポップアップがメインLCD 上に表示され、コマンドの送信タイミングを自由に決められます。



2. マクロが完成したら、[Save (Main Unit)] (②) で本体に保存してください。これにより、本体からマクロを操作することが可能です。

マクロの実行方法については、「マクロ機能について」(33 ページ) を参照してください。⑥ でマクロをプレビューすることも可能です。

Video Input over IP

■ NDI High Bandwidth

NDI の映像受信設定を行います。

● Status Information

NDI 映像受信の以下のステータス表示を行います。

Status Information	
Source	
Device Name	
Source Name	
Stream	
Format	No Signal
Sampling Rate	0
Audio Channel	0
Frame Data	-
Status	Not Detect
Settings	
Protocol	RUDP
Group	Disable
Group Name	
Use Discovery Server	Disable
Discovery Server IP	

● Source

Device Name : 入力信号のデバイス名を表示します

Source Name : 入力信号のソース名を表示します

● Stream

Format	入力されている NDI 信号の映像フォーマット情報を表示します。
Sampling Rate	入力されている NDI 信号のサンプルレート情報を表示します。
Audio Channel	入力されている NDI 信号のサラウンド情報を表示します。
Frame Data	入力されている NDI 信号の色情報を表示します。
Status	Detect : 本機のシステムフォーマットに適合した入力信号フォーマットです。 Unsupported : 本機のシステムフォーマットに適合していない入力信号フォーマットです。 Not Detect : 本機に映像信号が入力されていません。

● [Settings] に関しては、後述の「Source Select Settings」参照

● Source Select

[Scan] の実行で、ソースの一覧が表示されます。

受信したいソースの [Select] を選択してください。

Source Select		
 Scan		
Device Name	IP Address	Status
none		Select
AV-HSW10 (NDI Device 1)	192.168.0.210:5961	Select

NOTE

- その他映像受信に関する本機の設定は、「本機の映像入出力とそれをを用いた機能」(68 ページ) を参照してください。

● Source Select Settings

① Protocol

NDI 受信プロトコルを設定します。

- **RUDP** : NDI 送出機器とのプロトコルを RUDP に設定します。
- **TCP** : NDI 送出機器とのプロトコルを TCP に設定します。
- **UDP** : NDI 送出機器とのプロトコルを UDP に設定します。

② Group

NDI の sender/receiver がそれぞれ属するグループを設定することで、機器探索時に探索対象となるグループを指定することができます。

グループの指定は、カンマ区切りで複数の設定をすることも可能です。

- **Enable** : グループ探索機能を有効にします。
- **Disable** : グループ探索機能を無効にします。

③ Group Name

グループ名称を入力します。

④ Use Discovery Server

NDI 素材の自動探索機能を、外部サーバーが一元登録できるように設定することができます。大量の NDI 素材がネットワーク上に存在していて、トラフィックが増大することを避けたい場合や、マルチキャスト通信が不可能、または望ましくない場合にこの設定を行うと効果的です。

- **Enable** : 外部サーバー設定を有効にします。
- **Disable** : 外部サーバー設定を無効にします。

⑤ Discovery Server IP

外部サーバーの設定の IP アドレスを入力します。

■ SRT

SRT の映像受信設定を行います。

● Status Information

SRT 映像受信の以下のステータス表示を行います。

Status Information	
Stream	
Format	No Signal
Sampling Rate	0
Audio Channel	0
Codec	-
Level	-
Status	Not Detect
Settings	
Mode	Caller
Server URL	
Server Port	2020
Stream ID	
Encryption	Disable

● Stream

Format	入力されている SRT 信号の映像フォーマット情報を表示します。
Sampling Rate	入力されている SRT 信号のサンプルレート情報を表示します。
Audio Channel	入力されている SRT 信号のサラウンド情報を表示します。
Codec	入力されている SRT 信号の圧縮形式情報を表示します。
Level	H.264/H.265 の解像度やフレームレートの上限を示すレベルを表示します。
Status	Detect : 本機のシステムフォーマットに適合した入力信号フォーマットです。 Unsupported : 本機のシステムフォーマットに適合していない入力信号フォーマットです。 Not Detect : 本機に映像信号が入力されていません。

- [Settings] に関しては、後述の「Settings」参照

● Settings

Settings

Mode: ☒ Caller ☐ Listener

① Server URL:

① Server Port:

② Stream ID:

③ Encryption: ☒ Disable ☐ Enable

④ Passphrase:

Set

● [Caller] の場合

① Server URL ・ Server Port

サーバー URL および配信元のポート番号を設定します。

② Stream ID

Stream ID を設定します。

③ Encryption

受信される映像の暗号化方式を設定します。

- **Disable** : 受信した映像を復号しません。非暗号の映像を取り扱います。
- **Enable** : 受信した映像を復号します。

④ Passphrase

受信した映像を復号するためのフレーズを設定します。

Settings

Mode: ☐ Caller ☒ Listener

① Port:

② Encryption: ☒ Disable ☐ Enable

③ Passphrase:

Set

● [Listener] の場合

① Port

本機の待ち受けポート番号を設定します。

② Encryption

受信される映像の暗号化方式を設定します。

- **Disable** : 受信した映像を復号しません。非暗号の映像を取り扱います。
- **Enable** : 受信した映像を復号します。

③ Passphrase

受信した映像を復号するためのフレーズを設定します。

NOTE

- その他映像受信に関する本機の設定は、「本機の映像入出力とそれをを用いた機能」(68ページ)を参照してください。

User Assignment

■ Control Interface

本機の操作のカスタマイズを行います。

● User Button/Function Dial

ユーザー割り当て可能なボタン、ダイヤルの設定を行います。

[RP MENU] ボタン>[USER ASSIGN] と同等の MENU になります。

詳細は、「本機の操作のカスタマイズ」(34 ページ) も参照してください

User Button/Function Dial	
User Button	
USER1	ONE TOUCH AF
USER2	FOCUS PEAK
USER3	NIGHT MODE
USER4	MACRO01
USER5	MACRO02
USER6	NONE
USER7	NONE
USER8	NONE
USER9	NONE
USER10	NONE
R-Stick Button	NONE
Function Dial	
F1	SCENE
F2	L-STICK
F3	2nd CAM NUM
F4	PAGE SWITCHING

● Rocker/Joystick/Dial

ロッカー、ジョイスティック、ダイヤルの設定を行います。

[RP MENU] ボタン>[CONTROL I/F] ・ [RP MENU] ボタン>[CTRL DIRECTION] と同等の MENU になります。

詳細は、「本機の操作のカスタマイズ」(34 ページ) も参照してください

Rocker/Joystick/Dial			
Assignment			
R-Stick		Direction(Pan) NORMAL	Direction(Tilt) NORMAL
L-Stick	MENU	Direction(Pan) NORMAL	Direction(Tilt) NORMAL
2nd Camera Number	0001		
Speed			
R-Rocker	ZOOM	Direction NORMAL	
L-Rocker	ZOOM	Direction NORMAL	
Focus Dial	FOCUS	Direction NORMAL	
Iris Dial	IRIS	Direction NORMAL	

Access Management

■ User Authentication

パーソナルコンピューターから本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。

● Change User

① User Name

② Password

Retype Password

Access Level: Administrator

Set

Note

- User name can be set from 1 to 32 characters.
- Password can be set from 4 to 32 characters. (8 or more characters recommended)
- Distinguish between upper and lower cases.
- For the password, it is recommend to use three or more types of characters from the following.
 - upper case alphabetic
 - lower case alphabetic
 - numbers
 - symbols([!\$%()*+,-./?@[]^_`~{}|;#])
- Set the password which does not include the user name.
- It is recommended to change the password periodically.

① User Name

(半角 1 ～ 32 文字)

ユーザー名を入力します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9
半角英字 (大文字／小文字)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
半角記号	! \$ % ' () * + , - . / ? @ [\] ^ _ ` { } ; # \

② Password

Retype Password

(半角 4 ～ 32 文字)

パスワードを入力します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

RP200 Network

■ Network

本機のネットワーク設定を行います。

● Setting Status

本機で有効となっているネットワーク設定 (IPv4) 情報を確認できます。

Setting Status	
LAN	
IPv4	
IP Address(IPv4)	192.168.0.9
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1

● LAN

本機のネットワーク設定 (IPv4) を行います。

The screenshot shows the 'LAN' configuration page with the 'IPv4 Network' section active. It features a table with four rows: 'DHCP' with a toggle switch set to 'Off', 'IP Address(IPv4)' with the value '192.168.0.9', 'Subnet Mask' with '255.255.255.0', and 'Default Gateway' with '192.168.0.1'. A 'Set' button is located at the bottom right of the form.

以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ (ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合)
- HTTP ポート

IPv4 Network

DHCP [On、Off]

IP アドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定：Off

IP Address(IPv4)

DHCP 機能を使用しない場合、本機の IP アドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定した IP アドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定：192.168.0.9

NOTE

- DHCP 機能を使用する場合でも、複数の IP アドレスは使用できません。DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet Mask

DHCP 機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定：255.255.255.0

Default Gateway

DHCP 機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定：192.168.0.1

NOTE

- DHCP 機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数の IP アドレスは使用できません。DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

● Common

本機のネットワーク設定 (HTTP Port・Easy IP 関連設定) を行います。

Common

Common

HTTP Port

(1-65535)

Easy IP Setup Accommodate Period

☒ 20min

☐ Unlimited

Set

HTTP Port [1 ～ 65535]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定：80

Easy IP Setup Accommodate Period

[20min、Unlimited]

当社統合ソフトウェア (Media Production Suite) の EasyIP 機能からネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから [20min] / [Unlimited] のどちらかに設定します。

20min	Media Production Suite の EasyIP Setup Tool Plus 機能での設定操作を、本機起動後 20 分間のみに有効にします。
Unlimited	Media Production Suite の EasyIP Setup Tool Plus 機能での設定操作を常時有効にします。

工場出荷時の設定：20min

Maintenance

■ System Log

本機の内部メモリに最大 1000 件のイベントログと最大 100 件のエラーログを保存できます。

保存できるログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。本機の電源を切っても、ログは保存されます。ログの内容は [Download] ボタンでファイルに出力可能です。

イベントログ

イベントコード	Web 表示説明文	意味
W0001	<Power> System start.	本機が起動を開始した場合に表示されます。
W0005	<Power> PoE++ (Hardware) is working.	PoE++ 給電がハード的に確認できた場合に表示されます。
W0006	<Power> PoE++ (Software) is working.	PoE++ 給電のソフト認証が完了した場合に表示されます。
W0007	<Power> PoE+ (Hardware) is working.	PoE+ 給電がハード的に確認できた場合に表示されます。
W0008	<Power> PoE+ (Software) is working.	PoE+ 給電のソフト認証が完了した場合に表示されます。
W0100	<System> Reached the processing limit. [CPU No]	CPU 使用率が上限に達した場合に表示されます。
W1003	<Maintenance> Succeeded OSD Menu initialization.	メニュー初期化が成功した場合に表示されます。
W1005	<Maintenance> Succeeded firmware update.	ファームウェアアップデートが成功した場合に表示されます。
W1006	<Maintenance> Backup firmware is working.	ファームウェアアップデートが失敗した場合に表示されます。
W1008	<Maintenance> Reboot.	再起動した場合に表示されます。
W1009	<Maintenance> Succeeded configuration data upload.	設定データアップロードが成功した場合に表示されます。
W1203	<Date&time> Date&time exchanged.	日付時刻を設定した場合に表示されます。
W1300	<Stream> NDI Start. [IP address]	NDI の受信を開始した場合に表示されます。
W1301	<Stream> NDI Stop. [IP address]	NDI の受信を停止した場合に表示されます。
W1302	<Stream> SRT Start. [IP address]	SRT の受信を開始した場合に表示されます。
W1303	<Stream> SRT Stop. [IP address]	SRT の受信を停止した場合に表示されます。

エラーログ

エラーコード	Web 表示説明文	意味
0x01	System crash(EVM)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x02	System crash(OPM)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x03	System crash(RSC)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x04	System crash(CGW)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x05	System crash(STM)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x06	System crash(VDC)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x07	System crash(SYS)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x08	System crash(MCR)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x09	System crash(Other)	プロセスの異常終了を検知しました。
0x20	PoE++ Software auth. Error	PoE++ のソフト認証が完了しません。
0x25	Fan error	ファンが故障している可能性があります。
0x26	High Temp	機体が高温になっています。
0x27	Low Temp	機体が低温になっていて凍り付いている可能性があります。
0x30	Update Firmware Error	アップデートファイルが正しくない可能性があります。
0x36	Video clock error at 148.35 MHz.	59.94 Hz 系の映像クロックが故障している可能性があります。
0x37	Video clock error at 148.50 MHz.	50 Hz 系の映像クロックが故障している可能性があります。

■ Reset/Reboot

本機の設定内容の初期化や再起動が行えます。

Default Reset	
Reset to the Default (Except for the Network Settings)	Execute
Reboot	Execute

Reset to the Default (Except for the Network Settings)

[Execute] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、本機を再起動しますので、約 1 分間は操作できません。

NOTE

- ネットワーク関連の設定項目は初期化されません。

Reboot

[Execute] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。
再起動後は、本機の電源を ON したときと同様、約 1 分間操作できません。

■ Product Information

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。[Model No.], [MAC Address]、[Serial No.], [Firmware Version] など本機の各情報が表示されます。

Product Information	
Model No.	AW-RP200
MAC Address	00-80-45-2F-3C-58
Serial No.	
Firmware Version	V01.00-000-1
Activation	NDI * This product is compatible with NDI technology of Vizrt NDI AB.
Operation Time	711h
OSS license display	View

Firmware File

Model No.

本機の品番が表示されます。

MAC Address

本機のMACアドレスが表示されます。

Serial No.

本機の製造番号が表示されます。

Firmware Version

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

Activation

アクティベーションされている機能についての情報が表示されます。

Operation Time

本機が動作した時間を表示します。

OSS license display

[View] ボタンを押すと、OSS ライセンスを表示します。

OSS ライセンスの表示画面を閉じるときは [Close] ボタンを押してください。

Firmware File

ファームウェアのバージョンアップを行います。

バージョンアップの方法については、以下を参照してください。

ファームウェアバージョンアップ方法

1. 最新のファームウェアをパーソナルコンピュータにダウンロードする。

NOTE

- 保存ディレクトリー名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。
- バージョンアップ用ソフトウェアは、下記の Web サイトの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。
(日本語)
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>
(英語)
<https://pro-av.panasonic.net/en/>
アップデートの手順は、ダウンロードサイトに掲載されている手順書も参照して行ってください。

2. [Select] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する。

3. [Execute] ボタンをクリックする。

バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。

バージョンアップを行ったあとは、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

■ RP Backup

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存したり、パーソナルコンピュータに保存してある設定を本機に適用することができます。
データの種類については、「各種データのバックアップについて」(73 ページ) を参照してください。

The screenshot shows the 'RP Backup' screen with two main sections: 'Download' and 'Upload'. Each section has a 'Config Data Type' dropdown menu set to 'RP SETTING', a 'Download' or 'Upload' button, and a 'Select' button next to a text input field for 'Config Data'.

Download

Config Data Type

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存する際の設定データの種別を指定します。

Download

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存します。
[Download] ボタンを押すとダウンロードが始まります。

NOTE

- 本機の状態によっては、設定ファイルをダウンロードできないことがあります。

Upload

Config Data Type

パーソナルコンピュータに保存した設定データを本機に反映するときの、設定データの種別を指定します。

Upload

ダウンロード機能でパーソナルコンピュータに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[Select] ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Upload] ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。

NOTE

- アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
- ダウンロード／アップロード中は、本機の電源を切らないでください。
- ダウンロード／アップロード中は、ダウンロード／アップロードが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約 1 分かかります。

メッセージ一覧

■ アラーム表示

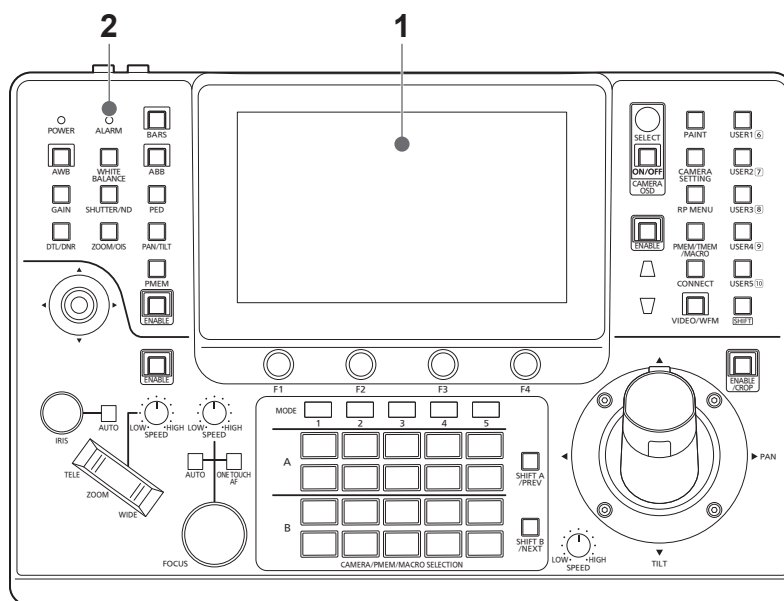
本機では、本機および接続されたカメラのアラーム表示に対応しています。

アラーム発生時は、

- メインLCD (1) 上に赤字でアラーム表示 (「ステータス画面」(30ページ) も参照してください)
- アラーム発生が本機の場合は、[RP MENU]>[MAINTENANCE]>[ALARM1] ~ [ALARM4] に内容を表示
- アラーム発生がカメラの場合は、[CAMERA SETTING]>[MAINTENANCE]>[ALARM1] ~ [ALARM5] に内容を表示
- ALARM ランプ [ALARM] (2) が赤点灯となります。

なお、メインLCD 上での表示は1つのみとなり、2つ以上発生している場合は末尾に「+」が表示されます。詳細は上記メニュー内のALARMをご確認ください。

	メインLCD 上の表示	メニュー画面での表示	発生内容
本機で アラーム発生	[RP]PoE POWER	PoE POWER	ソフト認証を使用して、本機にPoE で電源供給の際に、スイッチングハブ等から本機の定格未満かつ25 W以上の電力要求がきた場合に表示されます。PoE++ 対応品をご使用ください。
	[RP]FWUP FAIL	FWUP FAIL	本機のファームウェアアップデート中に電源断等でアップデートが失敗に終わって起動した場合に表示されます。再度ファームウェアのアップデートをお願いします。
	[RP]FAN	FAN	本機のファンにエラーが発生している場合に表示されます。販売店にご相談ください。
	[RP]H.TEMP	HIGH TEMP	本機が高温状態の場合に表示されます。涼しい環境でご使用ください。
	[RP]VIDEO FMT	VIDEO FORMAT	本機が対応していないフォーマットの映像が入力された、または [RP MENU]>[BASIC CONFIG]>[VIDEO FREQ] の設定周波数が入力映像と異なる場合に表示されます。詳細は「本運用の前に」(25ページ) を参照してください。
カメラで アラーム発生	[CAM]FAN	FAN	接続されているカメラのファンにエラーが発生している場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。
	[CAM]H.TEMP	HIGH TEMP	接続されているカメラが高温状態の場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。
	[CAM]LENS	LENS	接続されているカメラのレンズにエラーが発生している場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。
	[CAM]PAN/TILT	PAN/TILT	接続されているカメラのパン・チルト駆動部にエラーが発生している場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。
	[CAM]TEMP SEN	TEMP SENSOR	接続されているカメラの温度センサーが壊れている可能性がある場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。



トラブルシューティング

症 状	原因・対策	参照ページ
本機の電源が入らない	● 外部DC電源は動作していますか？	—
	● 外部DC電源のDCプラグは本機に確実に接続されていますか？	—
ご購入後、最初に電源を投入したときにポップアップが表示される	● 最初に本機に入力する映像の周波数を設定する必要があります。	P.25
ALARMランプが赤点灯し、メインLCDに「[RP]PoE POWER」のアラーム表示がされる	● PoE++対応のインジェクターまたはイーサネットハブを使用されていますか？	P.9～P.10 P.151
ALARMランプが赤点灯し、メインLCDには何も表示されない	● PoE++対応のインジェクターまたはイーサネットハブを使用されていますか？	P.9～P.10
リモートカメラの操作ができない	● リモートカメラの電源は確実に接続されていますか？	—
	● リモートカメラと本機は正しく接続されていますか？	P.20～P.24
	● 接続設定は正しいですか？	P.41～P.48
	● リモートカメラがスタンバイ状態になっていませんか？ → リモートカメラの電源を入れてください。	P.71
	● リモートカメラは正しく選択されていますか？	P.50
	● ENABLEボタンは点灯していますか？	P.11～P.15
	● リモートカメラでユーザー認証が設定されている場合、本機との接続時に、リモートカメラのユーザー名とパスワードを本機に設定していますか？	P.126
R-ジョイスティックの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● リモートカメラに設置方法の設定はされていますか？ → 設置状態（据え置き／吊り下げ）に応じて設定を行う必要があります。 リモートカメラの取扱説明書を参照してください。	—
	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	P.38
L-ロッカー、FOCUSダイヤルの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	P.38

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品 [8年]

当社では、リモートカメラコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

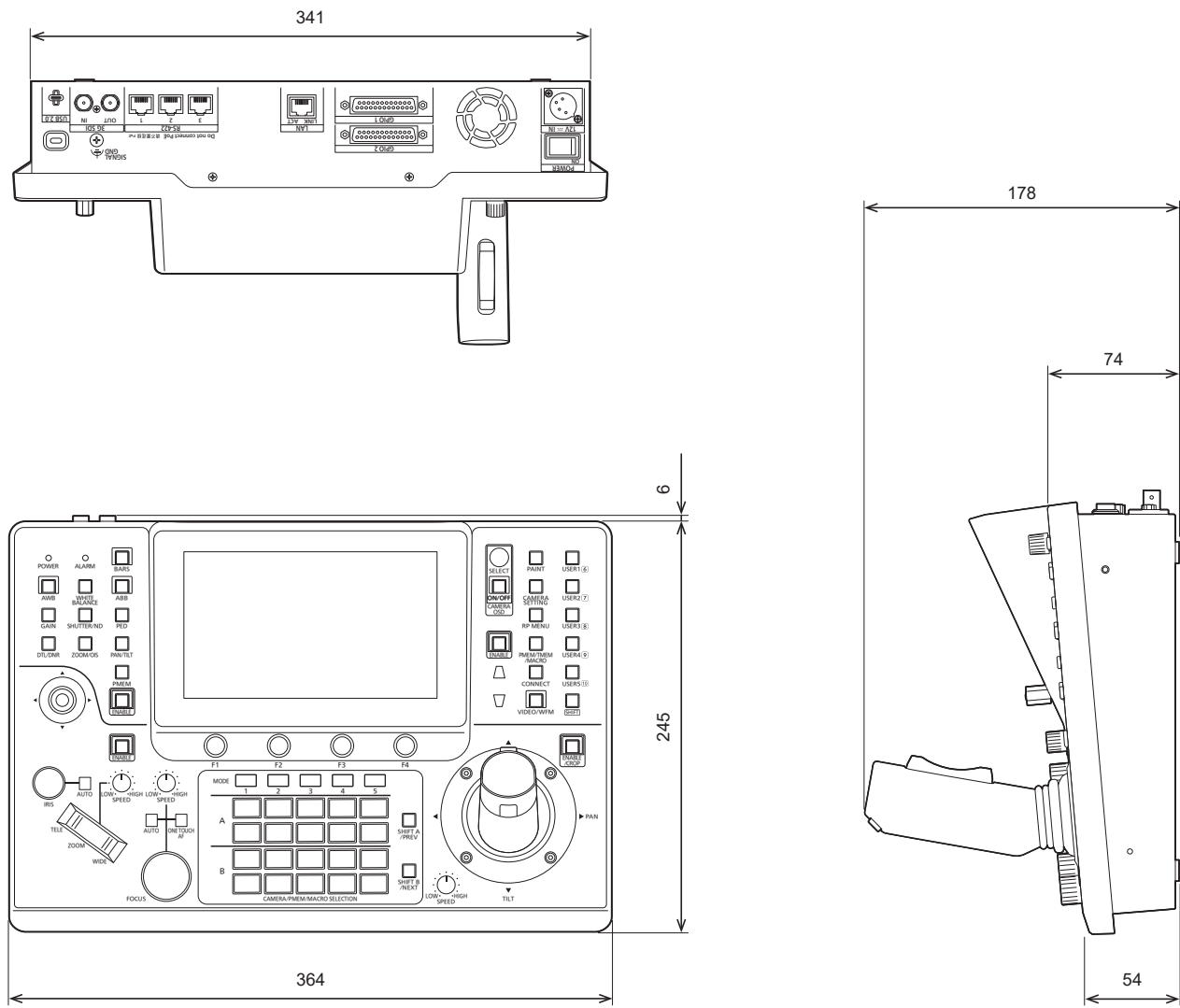
■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

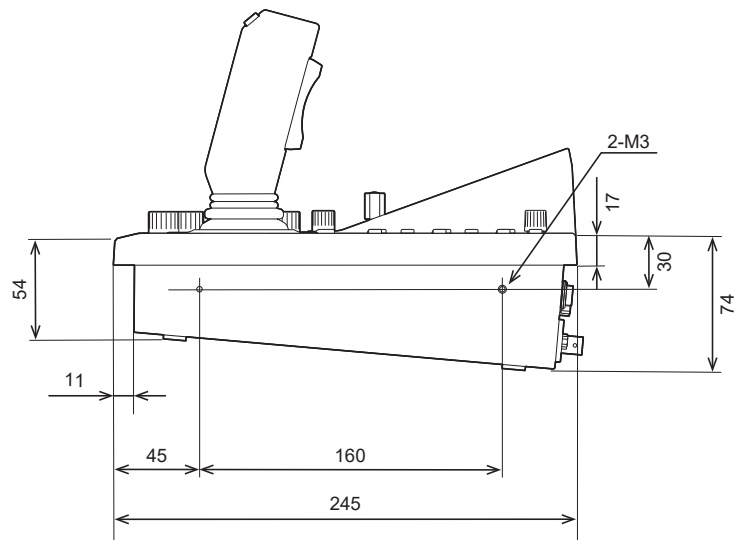
ご連絡いただきたい内容	
品 名	リモートカメラコントローラー
品 番	AW-RP200G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

外形寸法図

単位：mm



● マウントアングル取り付け位置



定格

電源電圧	: DC (==) 12 V (10.8 V - 17.0 V)
	DC (==) 42 V - 57 V (PoE++ 給電)
消費電流	: 3 A (DC 12 V 給電)
	1 A (PoE++ 給電)

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C
許容湿度 : 20% ~ 90% (結露なきこと)
質量 : 約 3.5 kg
寸法 (幅×高さ×奥行) : 364 mm × 178 mm × 245 mm (突起部含まず)

■ 入出力端子

DC 12 V IN (XLR 4ピン)

3G SDI IN / 3G SDI OUT :

SMPTE424M / SMPTE292M / 75 Ω

3G SDI IN : Level-A/B 自動判定

3G SDI OUT: Level-A のみに対応

対応フォーマット :

1080/59.94p、1080/59.94i、1080/29.97p、1080/23.98p、1080/50p、1080/50i、1080/25p

LAN (RJ-45) :

1000Base-T (IP 制御・映像受信用 LAN 端子)

PoE++ 入力

接続ケーブル : LAN ケーブル、最大 100 m

- スイッチングハブを経由して接続する場合 :
ストレートケーブルまたは、クロスケーブル (カテゴリー 5e ケーブル)、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨
- 機器を直接接続する場合 :
クロスケーブル (カテゴリー 5e ケーブル)、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨

RS-422 (RJ-45) :

RS-422 (リモートカメラ用制御信号)

接続ケーブル : ストレートケーブル (カテゴリー 5e 以上のシールドケーブル)、最大 1000 m

TALLY OUT : オープンコレクター出力 (負論理)、最大耐圧 DC 24 V、最大電流 50 mA

GPIO1 (D-sub 25ピン、メス、インチねじ) :

TALLY IN : 接点入力 (ステータス動作)

GPIO IN : 接点入力 (トリガ動作)

GPIO OUT : オープンコレクター出力 (負論理)、最大耐圧 DC 24 V、最大電流 50 mA

- メニューの設定により入力／出力を切り替え

GPIO 2 (D-sub 25ピン、メス、インチねじ) :

TALLY IN : 接点入力 (ステータス動作)

GPIO IN : 接点入力 (トリガ動作)

GPIO OUT : オープンコレクター出力 (負論理)、最大耐圧 DC 24 V、最大電流 50 mA

- メニューの設定により入力／出力を切り替え

USB2.0 (HOST) :

ファームウェアバージョンアップ・各種データバックアップ等に使用

Type-A × 1 : 定格 5.0 V、0.5 A

Type-C × 1 : 定格 5.0 V、0.5 A

本製品に表示の記号は以下を示しています。

== DC (直流)

外部機器の制御インターフェース

1. GPIO1・GPIO2（JST製：JBY-25S-1A3F(LF)(SN)）

MODEの切り替えについては、RP MENU ボタン>[GPI TALLY]・[GPIO CAM SEL]・[GPO CAM GROUP]・[GPI PMEM]を参照してください。

13

1

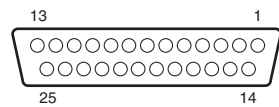
25

14

ピン番号		信号名	信号内容		
			MODE1	MODE2	MODE3
1		DSUB1_GPIO_1	R_TALLY_IN1	R_TALLY_IN1	R_TALLY_IN1
	14	DSUB1_GPIO_2	R_TALLY_IN2	R_TALLY_IN2	R_TALLY_IN2
2		DSUB1_GPIO_3	R_TALLY_IN3	R_TALLY_IN3	R_TALLY_IN3
	15	DSUB1_GPIO_4	R_TALLY_IN4	R_TALLY_IN4	R_TALLY_IN4
3		DSUB1_GPIO_5	R_TALLY_IN5	R_TALLY_IN5	R_TALLY_IN5
	16	DSUB1_GPIO_6	R_TALLY_IN6	R_TALLY_IN6	R_TALLY_IN6
4		DSUB1_GPIO_7	R_TALLY_IN7	R_TALLY_IN7	R_TALLY_IN7
	17	DSUB1_GPIO_8	R_TALLY_IN8	R_TALLY_IN8	R_TALLY_IN8
5		DSUB1_GPIO_9	R_TALLY_IN9	R_TALLY_IN9	R_TALLY_IN9
	18	DSUB1_GPIO_10	R_TALLY_IN10	R_TALLY_IN10	R_TALLY_IN10
6		DSUB1_GPIO_11	—	—	—
	19	DSUB1_GPIO_12	G_TALLY_IN1	PRESET_MEM_GROUP_IN_1	CAMERA_GROUP1_SELECT_IN
7		DSUB1_GPIO_13	G_TALLY_IN2	PRESET_MEM_GROUP_IN_2	CAMERA_GROUP2_SELECT_IN
	20	DSUB1_GPIO_14	G_TALLY_IN3	PRESET_MEM_GROUP_IN_3	CAMERA_GROUP3_SELECT_IN
8		DSUB1_GPIO_15	G_TALLY_IN4	PRESET_MEM_GROUP_IN_4	CAMERA_GROUP4_SELECT_IN
	21	DSUB1_GPIO_16	G_TALLY_IN5	MENU_ENABLE_BOTTOM	CAMERA_GROUP5_SELECT_IN
9		DSUB1_GPIO_17	G_TALLY_IN6		
	22	DSUB1_GPIO_18		—	—
10		DSUB1_GPIO_19	G_TALLY_IN7	GROUP_SELECT_OUT_1	CAMERA_GROUP1_SELECT_OUT
	23	DSUB1_GPIO_20	G_TALLY_IN8	GROUP_SELECT_OUT_2	CAMERA_GROUP2_SELECT_OUT
11		DSUB1_GPIO_21	G_TALLY_IN9	GROUP_SELECT_OUT_3	CAMERA_GROUP3_SELECT_OUT
	24	DSUB1_GPIO_22	G_TALLY_IN10	GROUP_SELECT_OUT_4	CAMERA_GROUP4_SELECT_OUT
12		DSUB1_GPIO_23		GROUP_SELECT_OUT_5	CAMERA_GROUP5_SELECT_OUT
	25	GND*1	GND*1	GND*1	GND*1
13		DSUB1_GPIO_24	ALARM	ALARM	ALARM

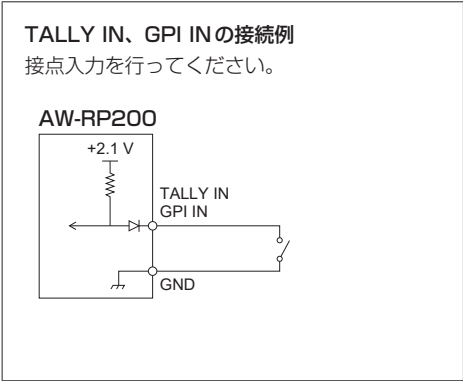
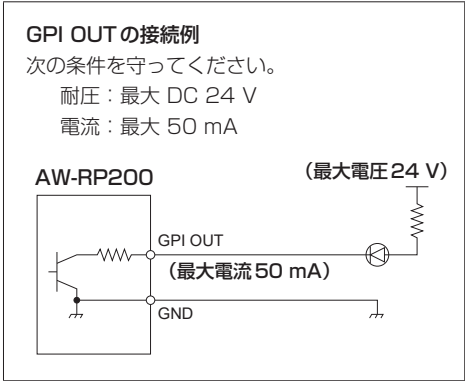
*1：25ピンのGNDは必ずシステムGNDに接続してください。（本機のGPIO1にはGNDは25ピンしかありません）

GPIO2



ピン番号	信号名	信号内容		
		MODE1	MODE2	MODE3
1	DSUB2_GPIO_1	CAMERA_SELECT_IN_1	PRESET_SELECT_IN_1	CAMERA_SELECT_BUTTON1_IN
	14	CAMERA_SELECT_IN_2	PRESET_SELECT_IN_2	CAMERA_SELECT_BUTTON2_IN
2	DSUB2_GPIO_3	CAMERA_SELECT_IN_3	PRESET_SELECT_IN_3	CAMERA_SELECT_BUTTON3_IN
	15	CAMERA_SELECT_IN_4	PRESET_SELECT_IN_4	CAMERA_SELECT_BUTTON4_IN
3	DSUB2_GPIO_5	CAMERA_SELECT_IN_5	PRESET_SELECT_IN_5	CAMERA_SELECT_BUTTON5_IN
	16	CAMERA_SELECT_IN_6	PRESET_SELECT_IN_6	CAMERA_SELECT_BUTTON6_IN
4	DSUB2_GPIO_7	CAMERA_SELECT_IN_7	PRESET_SELECT_IN_7	CAMERA_SELECT_BUTTON7_IN
	17	CAMERA_SELECT_IN_8	PRESET_SELECT_IN_8	CAMERA_SELECT_BUTTON8_IN
5	DSUB2_GPIO_9	CAMERA_SELECT_IN_9	PRESET_SELECT_IN_9	CAMERA_SELECT_BUTTON9_IN
	18	CAMERA_SELECT_IN_10	PRESET_SELECT_IN_10	CAMERA_SELECT_BUTTON10_IN
6	DSUB2_GPIO_11	—	—	—
	19	CAMERA_SELECT_OUT_1	CAMERA_SELECT_IN_1	CAMERA_SELECT_BUTTON1_OUT
7	DSUB2_GPIO_13	CAMERA_SELECT_OUT_2	CAMERA_SELECT_IN_2	CAMERA_SELECT_BUTTON2_OUT
	20	CAMERA_SELECT_OUT_3	CAMERA_SELECT_IN_3	CAMERA_SELECT_BUTTON3_OUT
8	DSUB2_GPIO_15	CAMERA_SELECT_OUT_4	CAMERA_SELECT_IN_4	CAMERA_SELECT_BUTTON4_OUT
	21	CAMERA_SELECT_OUT_5	CAMERA_SELECT_IN_5	CAMERA_SELECT_BUTTON5_OUT
9	DSUB2_GPIO_17	CAMERA_SELECT_OUT_6	CAMERA_SELECT_IN_6	CAMERA_SELECT_BUTTON6_OUT
	22	CAMERA_SELECT_OUT_7	CAMERA_SELECT_IN_7	CAMERA_SELECT_BUTTON7_OUT
10	DSUB2_GPIO_19	CAMERA_SELECT_OUT_8	CAMERA_SELECT_IN_8	CAMERA_SELECT_BUTTON8_OUT
	23	CAMERA_SELECT_OUT_9	CAMERA_SELECT_IN_9	CAMERA_SELECT_BUTTON9_OUT
11	DSUB2_GPIO_21	CAMERA_SELECT_OUT_10	CAMERA_SELECT_IN_10	CAMERA_SELECT_BUTTON10_OUT
	24	—	—	—
12	DSUB2_GPIO_23			
	25	GND *1	GND *1	GND *1
13	DSUB2_GPIO_24			

*1：25ピンのGNDは必ずシステムGNDに接続してください。（本機のGPIO2にはGNDは25ピンしかありません）



2. 3G SDI OUT

BNC 75 Ω

SDI INに入力された映像、またはIPで受信した映像を出力します。

- 本機の電源が入っていないと信号は、出力されません。

3. 3G SDI IN

BNC 75 Ω

[VIDEO/WFM] ボタンが点灯しているときに、入力した映像をメインLCDに表示します。(IP映像受信を選択時は、その映像がメインLCDに表示されます)

4. RS-422 1 ～ 3 (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。

ストレートケーブル (カテゴリー 5e以上のシールドケーブル) で接続してください。

ピン番号	信号名	信号内容
1	GND	フレームグラウンド
2	TALLY	タリー出力 (オープンコレクター)
3	TXD-	送信データ (-)
4	RXD-	受信データ (-)
5	RXD+	受信データ (+)
6	TXD+	送信データ (+)
7	NC	未使用
8	NC	未使用

- TALLY (ピン番号：2) の仕様

耐圧：最大DC 24 V

電流：最大50 mA

5. LAN (RJ-45)

1000BASE-T 準拠です。

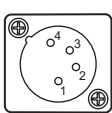
PoE++ 規格対応のネットワーク機器 (IEEE802.3bt 準拠) と接続できます。

6. 12V $\equiv$ IN (DC 12 V)

ITT キャノン製：XLR-4-32-F512

外部電源からのDC12 V入力端子です。

入力電圧範囲：10.8 V - 17.0 V

	ピン番号	機能
	1	GND
	2	NC
	3	NC
	4	+12 V

A		MACRO 111
Access Management 144		NAME EDIT 113
User Authentication 144		PMEM 109
C		PMEM SETTING 111
CAMERA SETTING 91		TMEM 110
BASIC CONFIG 91		VIEW COLOR 113
BUILT-IN AUTO TRACK 95		
CAM BACKUP 96		R
CAMERA MENU OPE 96		RP200 Network 144
CROP 94		Network 144
GROUP CAM CONTROL 92		RP MENU 97
HOUSING 95		BASIC CONFIG 98
LENS 93		CONTROL I/F 99
MAINTENANCE 96		CTRL DIRECTION 100
PAN TILT 94		GPIO CAM SEL 103
PT HEAD 96		GPI PMEM 105
REC 95		GPI PMEM GROUP 105
REMOTE BACK FOCUS 96		GPI TALLY 102
CONNECT 115		GPO CAM GROUP 104
AUTO FRAMING 117		MAINTENANCE 101
AUTO IP SETTING 116		RP BACKUP 107
CAM IP SEARCH 116		USER ASSIGN 99
CONNECT SETTING 115		
EXT CONTROL 120		S
MANUAL IP SET 115		System 125
ROP LINK 118		Date&Time 125
RP IP SETTING 117		Title 125
STREAM DECK 121		
SWITCHER LINK 118		U
Connect Setting 126		User Assignment 143
Camera Assignment 126		Control Interface 143
M		
Macro 137		V
Macro Edit 137		Video Input over IP 140
Maintenance 147		NDI High Bandwidth 140
Product Information 149		SRT 141
Reset/Reboot 148		
RP Backup 150		
System Log 147		
P		
PAINT 86		
AUTO EXPOSURE 87		
CHROMA 88		
COLOR CORRECTION 89		
CONTRAST 88		
DETAIL 88		
ELECTRICAL CC 87		
GAIN 87		
GAMMA 88		
HDR PAINT 90		
KNEE 88		
MATRIX 89		
PED 87		
SCENE 86		
SHUTTER 87		
WHITE BALANCE 86		
WHITE CLIP 88		
PMEM/TMEM/MACRO 108		
EXT CTRL PMEM 114		

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Corporation 2026